

次で昭和十三年四月一日附廳達第一〇號を以て本市役所常備人夫服務規程中左の通改正せられたるを以て本課所屬職工以下に對しても之に依らしむることにせり。

常備人夫服務規程

大正十一年二月一日設定
大正十五年六月二十三日改正
昭和十三年一月二十四日廳達第七號
昭和十三年四月一日廳達第一〇號

第一條 常備人夫ハ毎日左記時間中其ノ業務ニ服スヘシ但シ特ニ必要アル時ニ於テ係員ノ命ジタル場合ハ晝夜ニ拘ラス服務スヘシ

三月一日ヨリ六月三十日迄 午前七時ヨリ午後五時三十分ニ至ル

七月一日ヨリ八月三十一日迄 午前七時ヨリ午後六時ニ至ル

九月一日ヨリ十月三十一日迄 午前七時ヨリ午後五時ニ至ル

十一月一日ヨリ翌年二月末日迄 午前八時ヨリ午後四時三十分ニ至ル

七月二十一日ヨリ八月三十一日迄ハ正午ヨリ午後二時迄其他ハ正午ヨリ午後一時迄休憩スルコトヲ得

特殊ノ作業ニ從事スル者ノ服務ハ別ニ之ヲ定ム

第二條 業務ノ都合ニ依リ四大節春秋季皇靈祭竝一箇年十六日以内ノ公休日ヲ與フルコトヲ得

第三條 工夫ニ工夫長掃除夫ニ掃除夫長燒却夫ニ燒却夫長其ノ他之ニ準スル者ニ其ノ長各一人ヲ置クコトヲ得

第四條 疾病其ノ他止ムヲ得サル事故ニ依リ服務スルコト能ハサルトキハ其ノ旨直ニ係員ニ届出ツヘシ

第五條 出火、非常災害ノ場合ハ一宮市吏員警務規程第十六條ニ依リ相當ノ業務ニ服スヘシ

第六條 第三條ノ各長ハ別紙様式ノ日誌ニ毎日所屬備人ノ服務要領ヲ記入シ係員ニ檢印ヲ受クヘシ

附則
本改正規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第四節 給與諸規程

一宮市水道課職員特定旅費支給規程

昭和七年十二月二十三日
廳達第七號

上水道布設調査事務ニ從事スル本市吏員ニシテ左ノ地域ニ出張ヲ要スルトキハ特定旅費ヲ支給ス

資格	一日出張費	特	定	旅	費	地	域
技師	一圓二十錢						
書記技師	一圓						
書記技師補	八拾錢						
職員							

愛知縣葉栗郡草井村、宮田町、淺井町、葉栗村、
岐阜縣羽島郡川島村

一宮市水道顧問旅費支給額

昭和九年九月十五日決裁

資格	汽車賃	車馬賃	日當	宿泊料	摘
顧問	一等旅客運賃ノ實費	一里ニ付一圓二十錢	一日ニ付七圓	一夜ニ付十圓	

一宮市水道課職員月額旅費支給規程

昭和十年二月二十日
廳達第一號

水道布設工事現場監督ノ爲長期ニ亘リ同一地内ニ出張スルモノニハ普通旅費ヲ支給セス次表ノ月額手當ヲ支給ス

資格	水源工事	淨水場	送水工事	備
書記技師	月額 一五圓	月額 一三圓	月額 一四圓	
雇臨時雇工事	月額 一〇圓	月額 八圓	月額 九圓	
常備人	日額 二〇錢	日額 一八錢	日額 二〇錢	

第四節 給與諸規程

- 一、本表支給額一ケ月中七日以上出張セザル場合ニハ超過日數ニ應ジ日割計算ニ依リ減額支給ス
- 二、普通旅費ノ支給ヲ受クル場合ハ日割計算ヲ以テ前表ノ額ヲ控除ス

一宮市水道課備人特定旅費支給規程

昭和十年十二月二十七日
廳達第十一號

資格 一日出張費

特定旅費地域

工手 六 十 錢

愛知縣葉栗郡草井村、宮田町、淺井町、葉栗村、
岐阜縣羽島郡川島村

職工見習夫 五 十 錢

都市計畫區域内旅費支給規程

昭和十三年八月一日
訓令第二二號

第一條 市吏員並雇傭員ニシテ公務ノ爲一宮都市計畫區域内(一宮市内ヲ除ク)ニ出張シタルトキハ普通旅費ヲ支給セス別表第一號表ノ日額旅費ヲ支給ス但シ公務ノ都合ニ依リ宿泊ヲ要シタルトキハ別ニ定額ノ宿泊料ヲ支給ス

第二條 公務ノ爲常時前條ニ規定スル區域内ニ出張スル者ニハ別表第二號表ニ定ムル範圍内ニ於テ月額旅費ヲ支給スルコトヲ得但シ月額旅費ノ支給ヲ受クルモノ公舎ニ居住ヲ命セラレタル場合ハ其ノ半額ヲ減額ス

第三條 前條ニ規定スル月額旅費ノ支給ニ關シテハ一宮市諸給與條例第二十三條ノ規定ヲ準用ス

附則

本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
從前ノ規定ニシテ本規程ニ抵觸スルモノハ之ヲ廢止ス

別表第一號表

等級	職名	種別	往復一里未滿	往復二里未滿	往復二里以上
一	助役、收入役		五十錢	八十錢	一圓十錢
二	主事、視學、技師、掃除監督長		四十錢	六十五錢	九十錢
三	主事補、技師補、書記、技手、書記補、技手補、掃除監督、掃除巡視、事務員		三十錢	五十錢	七十錢
四	雇員		二十錢	三十五錢	五十錢
五	備員		十八錢	三十錢	四十錢

- 一 路程ハ本廳ヲ起點トシタル參謀本部陸地測量圖直線距離ヲ以テ計算ス
- 二 公用ノ船車馬ヲ供シタル場合ハ各其ノ半額トス

別表第二號表

職名	月額
主事、視學、技師、掃除監督長	金二十圓以內
主事補、技師補、書記、技手、書記補、技手補、掃除監督、掃除巡視、事務員	金十七圓以內
雇員	金十二圓以內
備員	金十圓以內

第五節 工事執行規程

一宮市工事執行規程

第五節 工事執行規程

大正十一年八月十八日規程第二十二號
大正十一年九月二十九日改正
大正十二年二月二十一日改正
昭和十年三月二十九日告示第三十一號改正

第一條

市費ヲ以テ支辨スル工事ノ執行ハ法令其ノ他別段ノ規定アルモノヲ除クノ外本規程ニ依ル

第二條

工事執行ノ方法ハ直營及請負トス

第三條

左ニ掲クル場合ハ直營ト爲スヘシ

- 一、請負ニ付スルヲ不適當ト認ムルトキ
 - 二、急施ヲ要シ請負ニ付スルノ暇ナキトキ
 - 三、請負契約ヲ締結スルコト能ハサルトキ
 - 四、特ニ直營ト爲スノ必要アリト認ムルトキ
- 第四條 左ニ掲クル場合ニ於テハ三人以上ヲ指名シ競争入札ニ付スルコトヲ得
- 一、一般競争入札ニ付スルヲ不適當ト認ムルトキ
 - 二、急施ヲ要シ一般競争入札ニ付スル暇ナキトキ
 - 三、一般競争入札ニ付スルモ入札人ナキトキ又ハ落札人ナキトキ
 - 四、特ニ指名競争入札ニ付スルノ必要アリト認ムルトキ

第五條

左ニ掲クル場合ニ於テハ隨意契約ニ依ルコトヲ得

- 一、特種ノ工事又ハ其ノ理由ニ因リ競争入札ニ付スルヲ不適當又ハ不利ト認ムルトキ
 - 二、競争入札ニ付スルモ入札人ナキトキ又ハ落札人ナキトキ
 - 三、豫定價格千圓未満ナルトキ
 - 四、急施ヲ要シ競争入札ニ付スル暇ナキトキ
 - 五、追加附帶又ハ其ノ他ノ工事ニシテ現請負人又ハ前請負人ニ請負ハシムル必要アルトキ
- 第六條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ入札人若クハ請負人又ハ其ノ代理人トナルコトヲ得ス
- 一、無能力者
 - 二、破産若クハ家資分散ノ宣告ヲ受ケ復權セサル者又ハ身代限ノ處分ヲ受ケ負債ノ辨濟ヲ了ヘサル者

三、六年ノ懲役又ハ禁錮ノ刑ニ處セラレタル者

四、六年ノ懲役又ハ禁錮ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終ラサル者又ハ執行ヲ受クルコトナキニ至ル迄ノ者

五、責付又ハ保釋中ノ者

六、入札又ハ請負ニ關シ不正ノ行爲アリタル後二年ヲ經過セサル者

第七條 一般競争入札ハ入札期間ヨリ五日前入札ニ必要ナル事項ヲ公告スヘシ但シ場合ニ依リ臨時變更シ又ハ取消スコトアルヘシ

第八條 入札人ハ左ニ掲クル要件ヲ具備スルコトヲ要ス但シ市長ニ於テ相當ト認ムル學識經驗ヲ有スル技術者ヲシテ工事ヲ擔當セ

シムルモノニ在リテハ此ノ限ニ在ラス

一、引續キ二年以上土木建築請負業ニ従事スルコト

二、其ノ他市長ノ定ムル要件

第九條 本市外居住者ニシテ入札セムトスル者ハ其ノ地元ノ市町村長ノ資格證明書ヲ提示スヘシ

第十條 入札ヲ爲サムトスル者ハ入札金額ノ百分ノ三以上ノ入札保證金ヲ納付スヘシ但シ指名競争入札又ハ豫定價格二千圓未満ノ

工事ニ付テハ之ヲ減免スルコトヲ得ス

第十一條 左ノ各號ノ一ニ該當スル入札ハ之ヲ無効トス

一、本規程又ハ市長ノ定ムル入札條件ニ違反シタルトキ

二、入札人又ハ其ノ代理人二以上ノ入札ヲ爲シタルトキ

三、入札人協定シテ入札ヲシタルトキ

四、入札ニ際シ不正ノ行爲アリタルトキ

第十二條 入札中豫定價格以內ニシテ豫定價格ノ三分ノ二以下ナル最低價格ノ入札ヲ爲シタル者ヲ以テ落札人トス落札人ナキ

トキハ直ニ再入札ニ付スルコトヲ得

第十三條 落札人ハ落札ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ五日以内ニ請負契約ヲ締結スヘシ落札人前項ノ期間内ニ請負契約ヲ締結セサルト

キハ落札ハ其ノ効力ヲ失フ

第十四條 左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ落札ヲ取消ス

一、同一價格ノ入札アリタルトキハ抽籤ヲ以テ落札人ヲ定ム

二、同一價格ノ入札アリタルトキハ抽籤ヲ以テ落札人ヲ定ム

第五節 工事執行規程

一、落札人ニ入札ノトキ必要トシタル入札要件ヲ缺キ又ハ欠缺アリタルコトヲ發見シタルトキ
 二、落札人ノ責ニ歸スヘキ事由ニ依リ他ノ契約ヲ解除セラレタルトキ
 第十五條 前條ノ規定ニ依リ落札ヲ取消シタルトキハ再入札ニ付スヘシ但シ場合ニ依リ第二位以下ノ入札中第十二條ノ規定ニ該當スル入札ヲ以テ落札人ト定ムルコトヲ得
 第十六條 請負人ハ請負金額ノ百分ノ十以上ノ契約保證金ヲ納付スヘシ但シ指名競争入札又ハ隨意契約ノ方法ニ依リ請負契約ヲ締結スル場合ニアリテハ之ヲ減免スルコトヲ得
 第十七條 入札保證金及契約保證金ハ國債證券地方債證券勸業債券農工債券拓植債券興業債券其他市長ニ於テ適當ト認ムル有價證券ヲ以テ代用スルコトヲ得
 前項ノ規定スル場合ニ於テ國債證券ハ其ノ額面金額ニ依リ其他ハ額面額ノ十分ノ八ヲ以テ之ヲ換算ス
 第十八條 入札保證金ハ入札終了後之ヲ還付ス但シ落札人ニ對シテハ契約保證金ニ振替充用スルコトヲ得
 第十九條 請負人ハ市長ノ承諾ヲ得シテ工事ノ執行ヲ委託スルコトヲ得ス
 第二十條 入札ニ依リ契約ヲ爲スヘキ者又ハ爲シタル者死亡シタルトキハ相續人其ノ義務ヲ繼承シタルモノト看做ス但シ場合ニ依リ落札又ハ契約ヲ解除スルコトアルヘシ
 第二十一條 請負人ハ工事執行ニ付テハ總テ市長ノ指揮監督ニ從フヘシ
 第二十二條 請負人ハ工事竣工シタルトキハ其ノ旨届出テ検査ヲ受クヘシ
 第二十三條 市長ニ於テ必要アリト認メタル場合ハ任意ニ契約ヲ解除又ハ變更若ハ工事ヲ中止スルコトアルヘシ
 契約變更ノ場合市長ニ於テ適當ノ事由アリト認ムルトキハ請負人ノ請求ニ依リ契約ヲ解除スルコトヲ得
 第二十四條 契約變更ノ爲メ金額ニ増減ヲ生シタルトキハ其ノ變更價格ニ應シ契約保證金ヲ増減ス但シ場合ニ依リ之ヲ増減セサルコトヲ得
 第二十五條 請負人天災事變其ノ他正當ノ事由ニ依リ契約期間内ニ工事ヲ竣工スルコト能ハサルトキハ市長ニ期間ノ延長ヲ求ムルコトヲ得
 契約變更ノ爲メ市長ニ於テ必要ト認ムルトキハ其ノ契約期間ヲ變更スルコトアルヘシ
 第二十六條 契約期間内ニ工事ヲ竣工セサルトキハ遅延日數一日ニ付請負金額千分ノ一ノ違約金ヲ徵收ス
 第二十七條 左ニ掲クル場合ニ於テハ市長ハ契約ヲ解除スルコトヲ得
 一、契約期間内ニ工事竣工ノ見込ナキトキ

二、工事ノ執行ニ付不正ノ行爲アリタルトキ
 三、正當ノ事由ナクシテ當該吏員ノ指揮監督ニ從ハサルトキ
 四、本規程及契約ニ違反シタルトキ
 第二十八條 入札ニ付不正ノ行爲アリタルトキ又ハ第十三條第二項ノ規定ニ依リ落札其ノ効力ヲ失ヒタルトキハ入札保證金ヲ沒收ス
 第二十七條ノ規定ニ依リ契約ヲ解除シタルトキハ契約保證金ヲ沒收ス請負人ノ責ニ歸スヘキ事由ニ依リ契約無効トナリタル場合亦同シ
 前二項ノ規定ニ依リ沒收シタル保證金ハ市ノ所得トス
 第二十九條 請負金ハ契約履行検査済ノ上之ヲ支拂フ但シ契約金高五百圓以上ナルトキハ請求ニ依リ其ノ工事ノ出來形十分ノ八ヲ限度トシ左ノ範圍内ニ於テ假拂ヲ爲スコトアルヘシ
 一、請負金高五百圓以上千圓未滿 假拂一回
 二、請負金高千圓以上三千圓未滿 假拂二回
 請負金高三千圓以上ハ市長ニ於テ適宜假拂回数ヲ定ム
 火災ノ虞アル工事ハ支拂ヲ受クヘキ金額以上ノ價格ヲ以テ市長ヲ保險金受取人トシ市ノ指定スル火災保險業者ト保險契約締結シタルモノニ非サレハ前項ノ支拂ヲナサス
 第三十條 契約履行中止ヲ命シタルトキ其ノ他市長ニ於テ特別ノ事由アリト認ムルトキハ第二十六條ノ制限ニ拘ハラズ假拂ヲ爲スコトアルヘシ
 第三十一條 契約保證金ハ左ノ場合ニ之ヲ還付ス
 一、契約ニ基ク義務ヲ履行シ了リタルトキ
 二、請負人ノ責ニ歸スヘカラサル事由ニテ市長ニ於テ契約ヲ解除シタルトキ
 第三十二條 第二十三條又ハ第二十七條ノ規定ニ依リ契約ヲ解除シタルトキハ工事既成部分ニ對シ検査ノ上契約事項ニ適合セリト認ムルモノニ限り認定價格十分ノ八以内ノ對價ヲ交付スルコトアルヘシ
 第三十三條 工事竣工検査前ニ生シタル損害ハ總テ請負人ノ負擔トス但シ天災事變ニ基因シ請負人ニ毫モ過怠ナシト認メタルトキハ其ノ損害金額ヲ査定シ幾部分市ニ於テ負擔スルコトアルヘシ
 第三十四條 本規程及契約事項ニ依リ指示認定又ハ處分ニ對シ入札人又ハ契約人ハ之ヲ拒ミ若クハ損害賠償ヲ市ニ請求スルコトヲ

得ス

第三十五條 本規程並入札及契約ニ關スル一切ノ文書圖面ニ付意見ヲ異ニスル時ハ入札人及契約人ハ總テ市長ノ認定ニ從フヘシ
第三十六條 請負人ノ負擔スヘキ賠償其ノ他負擔金額ハ催告ヲ要セス市長ハ任意ニ契約保證金又ハ請負人ニ對スル市ノ債務ト相殺スルコトヲ得

第三十七條 本規程ニ規程セサル細則ハ市長別ニ之ヲ定ム

第三十八條 本規程ハ工事ニ要スル物件ノ購入借入又ハ勞力其ノ他ノ供給又ハ不用物件ノ賣却ノ場合ニ之ヲ準用ス

附 則

本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本規程施行前ノ手續又ハ契約ニ就テハ本規程ニ依リ之ヲ行ヒタルモノト看做ス

一宮市工事執行規程細則

昭和十年六月十七日
告示 第六五號

第一條 市費ヲ以テ支辨スル工事ノ執行ニ關シテハ一宮市工事執行規程(以下單ニ執行規程ト稱ス)ニ規定スルモノノ外本細則ノ定ムル所ニ依ル

第二條 入札人ハ執行規程第八條第一項第一號ニ規定スル要件ノ外直接國稅五圓以上ヲ納ムル者ナルコトヲ要ス
市長ニ於テ必要ト認ムルトキハ前項納稅額ヲ増減シ又ハ特ニ入札人ノ資格ヲ定ムルコトヲ得

第三條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ爾後二ケ年間入札人若ハ請負人又ハ其ノ代理人タルコトヲ得ス
一、入札ニ際シ協定シテ入札ヲ爲シタル者
二、落札ノ通知ヲ受ケ正當ノ理由ナクシテ契約ヲ締結セサル者
三、正當ノ理由ナクシテ契約ヲ履行セザリシ者
四、入札ノ加入ヲ妨害シ又ハ落札人ノ契約締結若ハ契約ノ履行ヲ妨害シタル者
五、入札ノ執行又ハ工事ノ検査監督ニ際シ其ノ職務執行ヲ妨ケ若ハ妨ケシメタル者
六、執行規程第二十七條ノ規定ニ依リ契約ヲ解除セラレタル者

前項各號ノ一ニ該當スル行爲ヲ代理人トシテ爲シタルトキハ本人及代理人ニ就キ前項ノ規定ヲ適用ス

第四條 執行規程第七條ノ規程ニ依ル公告ハ新聞紙又ハ揭示等ニ依リ之ヲ爲スヘシ
前項ノ公告ニハ左ノ事項ヲ掲クヘシ

一、入札ニ付スル事項

二、入札及開札ノ場所日時

三、第二條第二項ノ規定ニ依リ特ニ入札者ノ資格要件ヲ定メタルトキハ其ノ事項

四、前各號ノ外必要ト認ムル事項

第五條 執行規程第四條ノ規程ニ依リ指名競争入札ニ付スル場合ハ前條第二項各號ニ掲クル事項ヲ各入札人ニ之ヲ通知スヘシ
但シ第二號中開札日時場所ハ省略スルコトヲ得

第六條 入札ニ加ハラントスル者ハ豫メ設計書仕様書圖面並實地ヲ熟覽シタル上別記第一號書式ノ入札書ニ保證金納付領收證ヲ添付シ入札人住所ノ最寄郵便局ヘ書留郵便ヲ以テ之ヲ差出スヘシ

前項ノ入札ハ時宜ニ依リ直接之ヲ差出サシムルコトアルヘシ此ノ場合ニ於テハ保證金納付證ヲ添付係員ニ差出スヘシ

第七條 執行規程第十二條ノ規定ニ依リ再入札ハ便宜其ノ場ニ在ル者ヲシテ入札セシムルコトヲ得

第八條 執行規程第十二條第二項ノ規定ニ依リ抽籤ヲ爲スニ當リ入札人其ノ場ニ在ラサルトキハ入札ヲ立會セル吏員之ヲ抽籤ス

第九條 落札定マリタルトキハ遲滞ナク其ノ旨本人ニ通知スヘシ

第十條 市ノ都合ニ依リ契約ノ必要ナキニ至リタルトキハ落札ヲ取消スコトアルヘシ

第十一條 請負人ハ市長ノ承諾ヲ得シテ工事ノ執行其他ノ權利義務ヲ他人ニ讓渡シ又ハ擔保ニ供スルコトヲ得ス

第十二條 執行規程第五條ノ規定ニ依リ隨意契約ニ依ラントスルトキハ可成二人以上ヨリ見積書ヲ徴スヘシ

前項ニ規定スル見積書ハ別記第二號書式ニ依ルヘシ

第十三條 工事請負契約書ハ別記第三號書式ニ依ルヘシ但シ場合ニ依リ別記第四號書式ノ請書又ハ其ノ他適當ノ方法ヲ以テ契約書ニ之ヲ代用スルコトヲ得

第十四條 入札又ハ契約保證金ハ納付書ヲ添ヘ現金ハ市金庫ニ有價證券ハ市收入役ニ之ヲ納付スヘシ

第十五條 入札保證金ヲ納付シタル後ニ於テハ之ヲ増減スルコトヲ得ス

第十六條 執行規程第二十三條ノ規定ニ依リ工事變更増減及中止ヲ爲シタル場合ニ於テ請負金額ハ請負金内譯書ノ單價ニ依リ之ヲ増減ス之ニ依ルヲ適當ト認ムルトキハ市長ノ認定ニ依ル

第十七條 前條ノ場合ニ於テ請負金額ノ増加額五百圓ヲ超過シタルトキハ契約保證金ヲ追納セシム

第十八條 本細則ニ規定セサル事項ニシテ必要アル場合ハ其ノ都度市長之ヲ定ム

第十九條 本細則ハ工事ニ要スル物件購入借入又ハ勞力其ノ他ノ供給又ハ不用物件ノ賣却ノ場合ニ之ヲ準用ス
本細則ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
本細則施行前ノ手續又ハ契約ニ就テハ本細則ニ依リ之ヲ行ヒタルモノト看做ス

水道工事請負契約書

愛知縣一宮市長森林右工門(以下單ニ甲ト稱ス)ハ左記工事ヲ請負ハシムルニ付

第一條 工事ノ名稱及場所、契約金額、竣工期限ヲ定ムルコト左ノ如シ

名 稱	
場 所	
契約金額	
竣工期限	昭和 年 月 日

第二條 乙ハ本契約ノ履行ヲ擔保スル爲メ契約保證金トシテ金

圓ヲ甲ニ提供シ本工事竣工目的物受渡完了トナルマテ甲ニ

於テ之ヲ保管ス

前項ノ保證金ハ數量變更ノ爲メ契約價格ニ増減ヲ生シタル場合ハ其ノ變更價格ニ應シ契約保證金ヲ増減ス、但シ時宜ニ依リ其ノ儘据置クコトアルヘシ

第三條 本工事ハ昭和 年 月 日着手シ本契約書ニ添付スル設計書、仕様書及圖面ニ從ヒ竣工スルモノトス

第四條 本工事ハ甲ノ提示セル文書、圖面ニ依リ甲ノ任命シタル監督員ノ指揮監督ヲ受ケ施行スルモノトス、乙ハ契約書並甲ノ指示シタル文書、圖面ニ記載セサル事項ト雖モ工作物ノ組織上必要ニシテ欠クヘカラサル些少ノモノハ契約金ヲ變更スルコトナク當然施行ノ義務アルモノトス

第五條 乙ハ常ニ現場ニアリテ工事ノ施行ヲ管理スヘシ但シ代理人ヲ派遣セントスルトキハ乙ハ其ノ住所氏名並ニ代理權限ヲ具シ甲ノ承認ヲ受クヘシ其ノ代理人ヲ變更シタルトキ亦同シ代理人ヲ不適當ト認メタルトキ又ハ不都合ノ所爲アリタルトキハ更替ヲ命スルコトアルヘシ

第六條 工事ニ使用スヘキ物件ハ別紙設計書、仕様書及圖面ニ記載シ本市ヨリ交付スルモノヲ外總テ乙ノ負擔トス

前項交付ノ物件ニ對シ乙ハ周到ナル注意ヲ以テ保管ノ責ニ任スルモノトス、若シ故意、過失ニ依リ之ヲ亡失、盜難、毀損等ヲナシタルトキハ甲ノ指定シタル現品若クハ價格ニ依リ其ノ損害ヲ賠償スルモノトス

第七條 工事ニ使用スヘキ物件及施工場所ハ其ノ使用又ハ施工前工事現場ニ於テ監督員ノ検査若クハ試験ヲ受クヘシ、調査又ハ加工ノ上使用スヘキモノ亦同シ

前項ノ場合ニ於テ甲ハ使用總量ノ一部若クハ全部ヲ數口ニ區分シ各口ノ一部ヲ検査又ハ試験シ其ノ成績ニ依リ總量又ハ各口總量ノ適否ヲ判定スルコトヲ得

第八條 乙ニ於テ前條ノ検査若クハ試験ヲ經スシテ材料ヲ使用シ又ハ工事ヲ施工シタルトキハ其ノ構造ノ全部若クハ一部ヲ解脱セシメ更ニ検査若クハ試験ヲ行フコトアルヘシ

第九條 工事從業員左ノ各號ノ一ニ該當スト認メタルトキハ監督員ハ乙ニ其ノ者ノ退場ヲ求ムルコトアルヘシ

- 一、作業拙劣ナルトキ
- 二、他人ノ作業ヲ妨害シタルトキ
- 三、工事作業ヲ粗雑ニ爲シタルトキ
- 四、監督員ノ指揮ニ從ハス又ハ其ノ職務執行ヲ妨ケタルトキ
- 五、前各號ノ外不都合ノ所爲アリタルトキ

第十條 甲ハ左ノ各號ノ一ニ該當スト認メタルトキハ監督員ノ検査若クハ試験ヲ經タルトキ否トニ拘ハラズ隨時期限ヲ定メ材料ノ引換又ハ工作物ノ改造補修ヲ求ムルコトアルヘシ

- 一、工作物ニ使用セル材料ヲ不良又ハ不適當ト認メタルトキ
- 二、工作物ノ作工力契約ニ適合セスト認メタルトキ
- 三、工作物ノ組織作工ノ拙劣又ハ粗雑ト認メタルトキ

第十一條 工事竣工シタルトキハ乙ハ監督員ヲ經テ其ノ旨甲ニ届出ツヘシ

前項ノ届出アリタルトキハ甲ハ期日ヲ定メ検査若クハ試験ヲ行ヒ契約ニ定メタル事項ニ適合セリト認メタルトキハ検査済證ヲ乙ニ交付シ之ヲ授受シ其ノ代金ヲ支拂フモノトス

第十二條 乙ハ甲ノ行フ竣工検査ニ立會スルモノトス、指定期日ニ立會ヲナササルトキハ甲ハ單獨ニ検査ヲ行フモノトス、此ノ場合乙ハ検査ノ方法其ノ他ノ理由ニ依リ異議ノ申立ヲナシ得サルモノトス

第十三條 前條ノ検査若クハ試験ニ必要アリト認メタルトキハ甲ハ工作物一部ノ構造ヲ解脱セシメ若クハ加工物ヲ分析シ又ハ其ノ他ノ方法ヲ用ヒ精密ナル検査若クハ試験ヲ行フコトアルヘシ但シ本條ニ於テ要スル費用ハ特ニ明記ナキモノノ外乙ノ負擔トス

第十四條 検査若クハ試験ノ結果契約ニ定メタル事項ニ適合セスト認メタルトキハ甲ハ期日ヲ定メ工作物ノ改造又ハ補修ヲ爲サシムルモノトス、而シテ之ニ要スル費用ハ一切乙ノ負擔トス

第十五條 甲ハ工事其ノ他ノ都合ニ依リ本契約ニ於ケル工作物ノ設計若クハ竣工期限ヲ變更シ又ハ契約ノ履行ヲ中止シ若クハ契約ヲ解除スルコトヲ得

前項ニ依リ變更又ハ中止シタルトキハ乙ハ指定期限内ニ承諾書若クハ工程書ヲ提出スルモノトス

第一項ニ依ル中止日數カ全契約期間ノ三分ノ二以上ニ至ルモ中止解除トナラサルトキハ乙ハ契約ノ解除ヲ求ムルコトヲ得但シ一部中止ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十六條 天災、地變其ノ他ノ不可抗力ノ障礙ニ依リ第一條ノ竣工期限内ニ竣工スルコト能ハサルトキハ甲ハ相當ト認ムル日數ノ延期ヲ與フルコトアルヘシ

前項ノ事由ナクシテ期限内ニ竣工セサルトキハ乙ハ其ノ遲滞日數一日ニ付當初契約シタル金額ノ千分ノ一ニ相當スル金額ヲ延滞料トシ甲ニ支拂フヘシ

第十七條 第十五條第一項ノ場合ニ依リ不用トナリタル材料又ハ工事ノ既済部分及現場ニ搬入シアル物件ハ第十一條乃至第十四條ノ例ニ依リ検査若クハ試験ヲ行ヒ契約ニ定メタル事項ニ適合セリト認メタルモノニ限本市工事執行規程ニ據リ其ノ代價ヲ支拂フコトアルヘシ

前項ノ場合ニ於テ代金ヲ支拂フトキハ契約内譯單價ヲ以テ精算スルモノトス

第十八條 検査若クハ試験ノ結果契約ニ定メタル事項ニ適合セスト認メタル物件アルトキハ乙ニ於テ甲ノ指定シタル期限内ニ之ヲ工事場以外ニ搬出スルモノトス、若シ乙ニ於テ搬出セサルトキハ甲ハ乙カ該物ニ對スル權利ヲ拋棄シタルモノト見做シ任意ニ之ヲ處分スルコトヲ得

第十九條 乙ハ請負ニ關スル權利義務ヲ甲ノ承認ヲ得シテ之ヲ他人ニ讓渡シ又ハ擔保ニ供スルコトヲ得ス

第二十條 目的物ノ受渡ヲ完了スル迄ノ一切ノ費用及受渡完了前ニ於テ生シタル一切ノ損害ハ總テ乙ノ負擔トス

第二十一條 左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ甲ハ何等ノ手續ヲ要セス且ツ何等ノ補償ヲ爲スコトナク本契約ノ全部又ハ其ノ一部ヲ解除スルコトヲ得

一、甲ニ於テ契約期限内ニ乙カ本契約ヲ履行セス若クハ履行ヲ爲シ能ハサルモノト認定シタルトキ

二、工事ノ執行ニ不正ノ行爲アリタルトキ

三、工事及物件ノ検査監督ニ際シ乙若クハ其ノ代理人使用人等ニ於テ掛員ノ指揮ニ從ハス又ハ其ノ職務執行ヲ妨ケ若クハ妨ケシメタルトキ

四、乙ノ居所不明ナルトキ又ハ工事ヲ放棄シ若クハ正當ノ理由ナクシテ工事ヲ休止シタルトキ

五、乙カ正當ノ理由ナクシテ本契約ノ解除ヲ請求シタルトキ

六、乙カ甲ヨリ發シタル命令又ハ契約ニ違反シタルトキ

七、入札又ハ契約締結ノトキ必要トシタル請負人ノ資格ニ欠陥ヲ生シ若クハ欠陥アリタルトキ

八、前各號ノ外甲ニ於テ乙カ當然ナスヘキコトヲ爲サス若クハ爲スヘカサルコトヲ爲シタルトキ

二十二條 前條ニ依ル契約ノ解除ヲ爲シタルトキハ甲ハ何等ノ手續ヲ用ヒス乙ヨリ提出シタル第二條ノ契約保證金ヲ違約金トシテ沒收シ本市ノ所得トス尙甲ニ損害ヲ及ボシタルトキハ乙ハ之ヲ賠償スル義務アルモノトス

第二十三條 本工事ノ爲附近ノ土地ヲ踏荒シ又ハ井水及灌漑用水ニ影響ヲ及ボシ其ノ他他人ノ生命財產等ニ對シテ生セシメタル損害ハ一切乙ニ於テ其ノ責任シ猶豫ナク適當ノ處置ヲナスモノトス

第二十四條 本契約ニ依リ甲又ハ監督員ノ爲ス指示、認定、處分ニ對シテ乙ハ之ヲ拒ミ又ハ異議ノ申立若クハ損害ノ賠償ヲ請求スルコトヲ得ス

第二十五條 甲ハ乙ヨリ延滞料、契約金若クハ損害賠償金ヲ徵收スヘキ場合ニ於テ乙ニ對シ未拂代金アルトキハ直ニ債務ノ相殺ヲ爲シ得ルモノトス

第二十六條 本契約及附屬ノ文書、圖面等ニ關シ所見ヲ異ニスルトキハ乙ハ甲ノ所見ニ從フモノトス

第二十七條 乙ハ前各條ニ明記セルモノノ外ハ總テ本市工事執行規程ヲ遵守スルノ義務アルモノトス

右契約ヲ證スル爲本書式通ヲ作製シ當事者記名調印ノ上各壹通ヲ所持ス

昭和 年 月 日

契約擔當者 一宮市長 森林右工門
請負者

第六節 鐵管検査所

水道布設事業着工に當り鐵管類弁類鉛塊等の重量物にして且大量なる材料の搬出入の便宜上市内梅ヶ枝通一丁目東海道線と名古屋鐵道名岐線との間に介在する土地を物色借地し茲に鐵管検査所を假設し昭和九年十月より同十二年十月に至る滿三年三箇月間水道新設材料の検査並に出納より引續き給水工事諸材料の検査出納に至る迄の事務並に作業を行ひたり而して昭和十二年末に至り水道布設事業大略終了するところとなり且將來經常部に屬する水道材料検査所並に給水工事事務所として規模に於て縮少を適當として然も永遠の設備を要するを以て同年末豫て同所用地として準備したりし配水塔隣接地に之か移轉をなせり。

第七節 水道布設工事並經常部關係職員

職名	氏名	就職年月日	退職年月日	擔當事項
水道顧問	米元晋一	昭和七、八、一 水道顧問ヲ囑託ス	昭和一三、三、三一 事業完了ニ付解囑託	
水道課長	足立藤一	昭和七、九、一 四水道布設調査ノ爲技師ヲ囑託ス 同九、七、二 技師ニ任シ水道課長ヲ命ス		
技師補	江頭兵作	昭和九、九、一 水道課勤務下水課兼務(技師)	昭和一三、五、九 依願退職	工事掛機械設備設計並ニ据付監督
書記	關場亮司	昭和九、四、二 五書記ニ任ス 同九、三、二 九主事補ニ任ス	昭和一二、二、九 事業完了ニ付解職	庶務掛一般事務
	加藤秀吉	昭和一二、二、二 三書記ニ任ス		庶務掛一般事務

同	大野錦作	昭和九、四、五 臨時雇ヲ命ス 同九、二、六、三〇 雇ヲ命ス 同九、六、三〇 書記ニ任ス		庶務掛計理事務並ニ文書編纂其他一般事務
同	西部護	昭和九、九、二 臨時雇ヲ命ス 同九、一〇、二〇 雇ヲ命ス 同九、一〇、二二 書記補ニ任ス 同九、一四、六、三〇 書記ニ任ス		工事掛淨水場工事設計並ニ施工監督
技手	中田子一郎	昭和九、一〇、八 技手ニ任ス	昭和一二、九、一 八事業完了ニ付解職	工事掛水場工事設計並ニ施工監督
同	加藤清一	昭和九、七、二 技手ニ任ス	昭和一二、六、二 三土木課へ轉勤	工事掛配水塔ニ給水工事設計其他雑務
同	永井義夫	昭和七、一〇、一 九水道布設調査ノ爲技師ヲ囑託ス 同九、四、一 技手ニ任ス	昭和一二、四、一 六病氣退職	工事掛水源淨水場及配水塔設計
同	西室義次	昭和七、一〇、一 九水道布設調査ノ爲技師ヲ囑託ス 同九、四、一 技手ニ任ス		工事掛配水塔工事監督及木造建築物設計並ニ工事監督
同	梶谷藤藏	昭和九、四、一 技手ニ任ス	昭和一二、八、一〇 事業完了ニ付解職	工事掛配水塔ニ給水工事施工監督
同	鈴木正二郎	昭和一〇、一、三一 技手ニ任ス	昭和一二、七、一 三事業完了ニ付解職	工事掛唧筒室配水塔及其他建築物設計
同	西村孝次	昭和九、九、一〇 技手ニ任ス	昭和一二、四、九、一 三依願退職	工事掛電氣設備設計並ニ施工監督
同	泉準	昭和九、八、一 技手ニ任ス	昭和一二、一〇、五 依願退職	工事掛配水塔ニ給水工事施工監督
同	清水政太郎	昭和九、一〇、二六 雇ヲ命ス 同九、一〇、二〇 技手補ニ任ス 同九、一〇、二〇 技手ニ任ス	昭和一二、一、一 九依願退職	工事掛配水塔ニ給水工事施工監督
同	柴田眞澄	昭和一二、二、二 三技手ニ任ス 同九、一、二、二 三技手ニ任ス		工務掛水質試験

第七節 水道布設工事並經常部關係職員

第九章 給水概要

第一節 給水條例

本市水道給水並に使用料條例は昭和八年十月四日市會の議決を經昭和九年三月十二日內務、大藏兩大臣宛之が設定の件許可稟請をなしたるところ昭和十年三月十一日日本縣總務部長より給水開始は昭和十一年度の豫定にして目下工事施行中に付ては財政計畫等相當變更せられるものと認めらるる趣を以て其の筋より書類返戻の旨通知あり曩に提出せる書類を返送されたり然るに其後水道布設工事は着々進行し昭和十一年に入り給水開始も目睫の間に迫りたるを以て同年四月二十四日市會に於て改正議決を經て同年五月七日更めて許可稟請をなし同年七月四日水道使用料設定の件許可せらるる次て同年七月七日日本縣知事宛水道給水條例設定許可申請をなし之亦同年七月十五日許可せらるる。

一宮市水道給水並使用料條例

昭和八年十月四日市會議決
昭和十一年四月廿四日改正議決
昭和十一年七月十七日條例第八號

第一章 總則

第一條 水道給水ヲ分チテ左ノ二種トス

- 一 放任給水
- 二 計量給水

第二條 放任給水ヲ分チテ專用給水、共用給水ノ二種トス

- 一 專用給水ハ一戸又ハ一個所ノ專用ニ屬シ普通家事用及特別營業用ノ爲水量ヲ計ラスシテ供給スルモノ
- 二 共用給水ハ建築面積四十平方メートル以下ノ家ニ居住シ一戸専用ノ裝置ヲ爲スコト能ハサル者ノ爲水量ヲ計ラスシテ供給スルモノ

第三條 計量給水ヲ分類シテ普通計量給水、特別計量給水ノ二種トス

- 一 普通計量給水ハ一戸又ハ一箇所ノ專用ニ屬シ多量ノ水ヲ使用シ水量ノ豫定シ能ハサルモノノ爲水量ヲ計リテ供給スルモノ、但シ營業用ニ供スルモノニシテ計量給水ノ必要ナシト認ムルモノハ專用給水又ハ共用給水ニ據ラシムルコトアルヘシ
- 二 特別計量給水ハ左ノ使用ニ充ツル爲水量ヲ計リテ供給スルモノ
 - (一) 噴水、泉池等ニ使用スルモノ
 - (二) 工用其ノ他臨時ニ使用スルモノ

第四條 計量給水ト放任給水トヲ併用スルコトヲ得ス、但シ特別計量給水ハ此ノ限ニアラス

第五條 給水口三個以上ノ占用者ハ計量給水トス

第六條 水槽及配管等ノ私設水道設備ヲ所持スル場合ハ之ニ連接ノ如何ニ拘ラス計量給水トス

第七條 防火用ノ爲私設消防栓ヲ設クルコトヲ得

第八條 給水ハ晝夜不斷トス、但シ變災又ハ水道ノ破損其ノ他避クヘカラサル場合ハ水量ヲ制限シ若クハ一時給水ヲ停止スルコトアルヘシ

前項ノ場合ニ於テ生スル損失ニ對シテハ本市ハ其ノ責ニ任セス特別計量給水ハ平時ト雖モ給水ヲ制限シ又ハ停止スルコトアルヘシ

第九條 給水使用者ノ門戸ニハ標識ヲ掲ク

第十條 給水管及給水用具ハ水道係員ノ外之ニ觸レ若クハ開閉スヘカラス

第十一條 計量給水ノ水量ハ量水器ヲ以テ之ヲ定ム

第十二條 本則ニ於テ人口ヲ算スルハ老幼婢僕ノ別ナク現在スル者ノ數ニ據ル

第二章 給水及裝置

第十三條 給水ヲ引用セントスル家屋所有者ハ市長ニ請求スヘシ、但シ止ムヲ得サル場合ニ於テハ給水設備ノ請求ヲ拒絶スルコトアルヘシ

第一節 給水條例

前項但書ノ場合請求者ニ於テ工費全部ヲ負擔スル者ハ此ノ限ニ在ラス

第十四條 公設共用栓ハ市長ニ於テ適宜其ノ位置ヲ定ム

第十五條 私設共用栓ハ二戸以上共同使用スルモノトス

第十六條 給水装置ハ市長ニ於テ之ヲ施行シ内徑二十五耗以下ノ細管ニシテ公道地下ニ屬スル費用ハ一戸一線ニ限り本市ノ負擔トシ其ノ他ハ請求者ノ負擔トス増設、變更、修繕又ハ撤去ヲ要スルトキ亦同シ、但シ市長ニ於テ特ニ必要ト認ムルトキハ請求者ノ負擔トスル工費ノ一部又ハ全部ヲ市ニ於テ負擔スルコトアルヘシ

第十七條 量水器ハ市長ニ於テ設置シ使用料金ヲ徴收シテ使用保管セシム

第十八條 計量給水使用者ニ於テ量水器ニ異狀アリト認ムルトキハ市長ニ試験又ハ修繕ヲ請求スヘシ

前項ノ請求ニヨリ試験ヲ行ヒタル結果其ノ差百分ノ四ヲ超ユルトキハ消費水量ハ市長ノ認定ニ依リ訂正シ百分ノ四以下ナルトキハ試験手数料及之ニ要シタル費用ヲ徴收ス

第十九條 給水使用者自ラ量水器ヨリ流末ノ装置ヲ爲シ又ハ水槽ヲ設ケ其ノ流末ノ装置ヲ爲サントスルトキハ市長ノ承認ヲ受クヘシ其ノ増設、變更ヲ要スルトキ亦同シ

第二十條 第十六條第二項及前條材料ノ検査ニ付テハ検査手数料ヲ徴收ス

第二十一條 給水管又ハ給水用具ニ破損ヲ生シ若クハ給水ニ異狀アリト認ムルトキハ速ニ市長ニ申出ツヘシ

第二十二條 私設消火栓ハ火災又ハ使用演習ノ外閉鎖スルコトヲ得ス、私設消火栓ノ使用演習ヲ爲サントスル時ハ市長ノ承認ヲ受クヘシ

私設消火栓ハ平時市長ニ於テ封緘ヲ附ス

第二十三條 左ノ場合ニ於テハ給水使用者ヨリ市長ニ請求スヘシ、但シ家屋所有者ニ非サル者ハ其ノ所有者ノ承諾書ヲ添付スヘシ

一 給水管又ハ給水用具ノ位置變更、改造、増設若クハ撤去セントスルトキ

二 給水ヲ中止シ又ハ廢止セントスルトキ

三 中止ニ係ルモノノ開栓ヲ要スルトキ

第二十四條 左ノ場合ニ於テハ給水使用者ヨリ直ニ市長ニ届出ツヘシ、但シ給水種類ヲ變更ノ場合家屋所有者ニ非サル者ハ其ノ所

有者ノ承諾書ヲ添付スヘシ

一 給水種類ヲ變更スルトキ

二 住所ヲ變更シタルトキ

第二十五條 共用給水ヲ使用スル者ニハ鑑札及鍵ヲ交付ス其ノ鑑札ハ汲水ノ際之ヲ携帯スヘシ

鑑札及鍵ヲ亡失毀損シタルトキハ所定ノ手数料ヲ徴收シ再交付ヲ爲スモノトス

亡失シタル鑑札及鍵ヲ發見シタルトキハ直ニ返納スヘシ

第二十六條 給水管及給水用具ヲ讓渡又ハ貸付セントスルトキハ關係者連署ノ上市長ニ届出ツヘシ此ノ場合ニ於テ工費及料金ノ未納アルトキハ引受者之ヲ負擔スルモノトス

第三章 給水工費

第二十七條 給水装置ノ新設、増設、變更、修繕又ハ撤去等ヲ要スル者ハ工費ノ一部トシテ請求ノ際金一圓ヲ添付スヘシ

前項ノ工費ハ設計着手後ニ於テ其ノ請求ノ取消ヲ爲スモ之ヲ還付セス、但シ修繕ニ限り時宜ニ應シ添付金ヲ廢シ又ハ市長ノ認定ニ依リ修繕費ヲ徴收セサルコトアルヘシ

第二十八條 給水請求者工費ノ通知書ヲ受取リタルトキハ直ニ市金庫ニ納付スヘシ但シ市長ニ於テ豫納ノ必要ヲ認メサルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ通知書ヲ受取リタル時ヨリ十五日以内ニ納付セサルトキハ其ノ請求ヲ取消シタルモノト看做ス

第二十九條 給水工費ヲ一時ニ納付スルコト能ハサル者ハ六ヶ月以内ノ月賦ヲ承認スルコトアルヘシ但シ修繕、變更、改築、増築、撤去等ニ係ル費用ハ此ノ限ニ在ラス

月賦ニ係ル給水工費ニハ毎月工費ノ百分ノ一ノ割増ヲ爲ス

第三十條 給水工費月賦納付ノ承認ヲ得タル者ハ證書ニ保證人連署シ市長ニ差出スヘシ此ノ場合ニ於テハ第一回ノ月賦額ヲ納付スルモノトス

保證人ハ本市内ニ居住シ土地又ハ家屋ヲ所有シ若クハ直接國税金三圓以上ヲ納ムル者トス

第三十一條 給水工費ノ月賦皆済前給水管及給水用具ヲ讓渡、撤去、廢止セントスルトキハ其ノ未納ニ係ル金額ヲ即納セシム

第四章 給水料金及徴收

第三十二條 普通専用給水料ハ一箇月ニ付左ノ割合ニ依リ徴收ス

一 一戸五人迄ヲ金一圓十錢トシ一人ヲ増ス毎ニ金二十錢ヲ遞加ス

- 二 給水口一個ヲ増ス毎ニ金三十錢ヲ遞加ス
 - 三 浴場一個ニ付金四十錢
 - 四 牛馬ヲ飼養スルモノ一頭ニ付金四十錢
 - 五 自家用自動車ハ一臺ニ付金五十錢
- 第一項第一號乃至第五號ノ要件ニ變化ヲ來シタルトキハ直ニ届出ツヘシ
- 第三十三條 特別専用給水料ハ前條第一號ノ給水料ニ百分ノ二十ヲ増加ス
給水口、浴槽竝ニ牛馬ニ係ル水料ハ前條第二號乃至第四號ノ例ニ依ル
- 第三十四條 共用給水料ハ一箇月ニ付左ノ割合ニ依リ徵收ス
- 一 一戸五人迄金五十錢トシ一人ヲ増ス毎ニ金五錢ヲ遞加ス
 - 二 營業用ニ充ツルモノハ金七十錢トシ一人ヲ増ス毎ニ金十錢ヲ遞加ス
 - 三 共用給水者ニシテ第三十二條第三號乃至第四號ニ該當スルモノハ其ノ三分ノ一ヲ徵收ス
- 第三十五條 普通計量給水料ハ左ノ區別ニ依リ之ヲ徵收ス
- 一 湯屋營業者ハ一箇月使用高百立方メートル迄ヲ金五圓トシ以上一立方メートル迄ヲ増ス毎ニ金四錢ヲ徵收ス
 - 二 官衙、公署、學校、病院、銀行、會社、集會所、劇場、寄席、遊覽所、諸市場、料理店、飲食店、旅人宿、待合製絲業、醸造業、魚類商、染物業、織物業、整理工業、營業用自動車、洗濯業、豆腐業其ノ他多量ノ水ヲ使用スト認ムル營業者ハ一箇月使用高十五立方メートル迄ヲ金二圓トシ十五立方メートル超過スル水量ニ對シテハ左ノ割合ニ依リ徵收ス
 - 十五立方メートルヲ超過シ三十立方メートル未滿 一立方メートルニ付キ 金八錢
 - 三十立方メートルヲ超過シ五十立方メートル未滿 同 金七錢
 - 五十立方メートルヲ超過シ百立方メートル未滿 同 金六錢
 - 百立方メートルヲ超過シ二百立方メートル未滿 同 金五錢五厘
 - 二百立方メートルヲ超過シ五百立方メートル未滿 同 金五錢
 - 五百立方メートルヲ超過シ一千立方メートル未滿 同 金四錢
 - 一千立方メートル以上 同 金三錢五厘
 - 三 第二號ニ該當セサルモノハ一月使用高十五立方メートル迄ヲ金一圓二十錢トシ以上一立方メートルヲ増ス毎ニ金六錢ヲ徵收ス

- 四 一人ニシテ數種ノ業務ヲ兼ネ自己ノ都合ニヨリ格別ニ計量器ノ裝置ヲナササルモノハ給水量ノ多額ナル分ヲ以テ徵收ス
 - 五 普通計量給水使用者ニシテ給水口一個ヲ増加スル毎ニ料金十錢ヲ遞加ス
- 第三十六條 特別計量給水料ハ左ノ區分ニ依リ之ヲ徵收ス
- 一 噴水、瀧、泉水又ハ庭園ノ撒水等ニ給スルモノハ一箇月使用高五立方メートル迄ヲ金二圓トシ以上五立方メートルヲ増ス毎ニ同額ヲ徵收ス其ノ五立方メートルニ滿タサルモノ亦同シ
 - 二 原動力ニ使用スルモノハ一箇月使用高五立方メートル迄ヲ金六十錢トシ以上五立方メートルヲ増ス毎ニ同額ヲ徵收ス五立方メートルニ滿タサルモノ亦同シ
 - 三 工事其ノ他ノ爲ニ一時使用ニ充ツルモノハ五立方メートル迄ヲ金二圓五十錢トシ以上五立方メートルヲ増ス毎ニ同額ヲ徵收ス其ノ五立方メートルニ滿タサルモノ亦同シ
- 第三十七條 量水器ノ使用料及検査竝ニ試験手数料ハ左ノ割合ニ依リ之ヲ徵收ス但シ量水器ノ使用料ハ量水器ノ裝置及撤去カ月ノ中途ナル場合ハ第四十二條第二項ニ準シ其ノ二分ノ一ヲ徵收ス
- 一 量水器使用料一箇月ニ付

内徑十三ミリメートル迄	金三十錢
内徑十六ミリメートル迄	金三十五錢
内徑二十ミリメートル迄	金四十錢
内徑二十五ミリメートル迄	金五十錢
内徑三十ミリメートル迄	金七十錢
内徑四十ミリメートル迄	金一圓
内徑七十五ミリメートル迄	金二圓
内徑百ミリメートル迄	金三圓五十錢
内徑百五十ミリメートル迄	金五圓
内徑二百ミリメートル迄	金八圓
 - 二 量水器検査竝ニ試験手数料一個一回ニ付

内徑二十五ミリメートル迄	金一圓
--------------	-----

内徑五十ミリメートル迄 金 二圓
 内徑百ミリメートル迄 金 四圓
 内徑二百ミリメートル迄 金 七圓
 内徑二百ミリメートルヲ超ユルモノ 金 十圓

第三十八條 給水装置請求者ノ提出スル給水用具ハ本市所定ノ検査ニ合格シタルモノニ限り其ノ検査手数料ハ左ノ割合ニ依リ之ヲ徴收ス

一 水栓類又ハ其ノ附屬品一個ニ付金三十錢
 二 内徑五十ミリメートル未滿ノ管類ハ其ノ一本又ハ其ノ延長十六メートル迄金五十錢、以上三メートルヲ増ス毎ニ金十錢ヲ加フ

三 内徑五十ミリメートル以上百ミリメートル以下ノ管類ハ其ノ一本ニ付金一圓、附屬品一個ニ付金一圓五十錢トス
 四 前記以外ノモノハ前各號ニ比例シテ増減シ其ノ都度市長ノ決定スル處ニ依ル

第三十九條 共用栓使用ノ鑑札及鍵ノ再交付手数料ハ左ノ割合ニ依リ之ヲ徴收ス

一 鑑札 金 十錢
 一 鍵 金 三十錢

第四十條 専用及共用給水ノ料金ハ一箇年ヲ左ノ四期ニ分テ毎期初月一日ノ現在數ニ依リ査定シ其ノ月末日限り之ヲ徴收ス但シ市長ニ於テ必要ト認メタル場合ハ毎月徴收スルコトヲ得

第一期 自四月一日 至六月三十日
 第二期 自七月一日 至九月三十日
 第三期 自十月一日 至十二月三十一日
 第四期 自一月一日 至三月三十一日
 前項各期間内ハ標準數ニ異動アルモ増減セズ
 第一項ノ各期間中ニ於テ使用ヲ開始シタルトキハ其ノ當時ノ現在數ニ依リ當該期間中ノ料金ヲ隨時徴收シ休止又ハ廢止ニ依リ既納料金ニ過納ヲ生シタルトキハ之ヲ還付ス
 第四十一條 計量給水ノ料金ハ毎月末日ノ使用高ニ依リ翌月十五日迄ニ徴收ス但シ第四十二條第二項ノ休止又ハ廢止ノ場合ニ於ケル使用料ハ隨時之ヲ徴收ス

第四十二條 専用及共用給水ハ其ノ使用開始カ月ノ十五日以前ナルトキハ一箇月分十六日以後ナルトキハ半月分休止又ハ廢止カ月ノ十五日以前ナルトキハ半月分十六日以後ナルトキハ一箇月分ヲ徴收ス

計量給水ノ使用開始カ月ノ十六日以後ナルトキハ一箇月分ヲ徴收ス
 ノ最低限度ハ二分ノ一トシテ其ノ二分ノ一ヲ超過スル水量ニ對シテハ超過料金ニ依リ計算ス

第四十三條 量水器ニ異狀ヲ生シタルトキハ前同ノ點檢ヨリ量水器改造迄ノ水料ハ前三箇月ノ平均額ニ依リ之ヲ定ム

第四十四條 貸付ノ量水器使用料金ハ給水料金ト共ニ徴收ス

第四十五條 慈善事業又ハ貧困者ト認ムル者ニ對シテハ規定ノ給水料ヲ減免スルコトアルヘシ

第五章 違背處分

第四十六條 給水装置ノ所有者、保管者、給水使用者左ノ各號ノ一ニ該當スル行爲アリタルトキハ給水ヲ停止スルノ外金五圓以下ノ過料ヲ科スルコトアルヘシ但シ既納ノ使用料及諸納付金アルモ之ヲ還付セス未納金アルトキハ之ヲ追徴ス

- 一 市長ノ承認ヲ經スシテ用具ヲ修繕、變更、改造シタルトキ
- 二 給水料ノ逋脱ヲ圖リタルトキ
- 三 鑑札、鍵ヲ貸與シ又ハ讓渡シ若クハ他人ヨリ借受ケ使用シ或ハ不正ノ鑑札、鍵ヲ使用シタルトキ
- 四 使用料、手数料及給水工費ノ月賦分納金其ノ他ノ費用ノ納付ヲ怠リタルトキ
- 五 給水ヲ濫用シ又ハ他ニ分與シ若ハ販賣シタルトキ
- 六 當該吏員ノ職務執行ヲ妨害シタルトキ
- 七 給水ノ種類ヲ變更スヘキ業態ニ轉シ之カ届出ヲ爲ササルトキ
- 八 指定共用栓以外ノ共用栓ヲ使用シタルトキ
- 九 故意ヲ以テ料金ノ標準トナルヘキ要件ヲ申告セス又ハ虚偽ノ申告ヲナシタルトキ
- 十 漏水ヲ放任シタルトキ
- 十一 前各號ノ外本條例ニ違背シタルトキ

附則

本條例ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
 本條例施行ニ關スル細則ハ市長之ヲ定ム

一宮市水道給水並使用料條例施行細則

昭和十一年七月十七日
告示第七五號

- 第一條 一宮市水道給水並使用料條例（以下單ニ條例ト稱ス）第二條第一號ニ規定スル普通家事用（普通専用）ト稱スルハ飲料水、炊爨、洗濯、洗滌、沐浴ノ類ニ使用スルモノヲ謂ヒ特別營業用ト稱スルハ（特別専用）計量給水ニ依ルノ必要ナシト認ムル營業者ノ使用スルモノヲ謂フ
- 第二條 條例第二條第二號ニ規定スル家屋建坪面積ハ左ノ方法ニ依リ之ヲ計算ス
 - 一 家屋各階ノ面積ハ之ヲ通算シ炊事場浴場及便所以外ノ附屬建物ハ算入セス
 - 二 一家屋内ニ二世帯以上居住スルトキハ各別ニ其ノ面積ヲ計算ス但シ共用ノ場合ハ之ヲ平分ス
- 第三條 放任給水使用者ニシテ同一構内ニ二戸以上ノ世帯アリテ同一給水栓ヲ使用スルトキハ世帯毎ニ一戸ト看做ス
- 第四條 共用栓使用ノ資格ナキ者一時之ヲ使用セントスルトキハ別記第一號様式ニ依リ承認ヲ受クヘシ但シ私設共用栓使用ノ場合ハ其ノ所有者ノ同意ヲ要ス
- 前項ニ規定スル使用料ハ其ノ用途ニ依リ市長之ヲ認定ス
- 第五條 條例第七條ノ規定ニ依ル防火用ノ爲私設消火栓ヲ設置セントスル者ハ別記第二號様式ニ依リ之ヲ請求スヘシ
- 第六條 條例第九條ノ規定スル給水使用者ノ門戸ニ掲クヘキ標識ハ別記第三號様式ニ依ル
- 第七條 條例第十條ノ規定スル水道係員證票及共用栓鑑札様式ハ別記第四號様式ニ依ル
- 第八條 條例第十三條第一項ノ規定ニ依ル給水引用ノ請求ハ別記第五號様式ニ依ルヘシ
- 第九條 給水工事ノ取消請求ハ別記第六號様式ニ依ルヘシ
- 第十條 公設共用栓ハ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキニ限り之ヲ設置ス
 - 一 私費ヲ以テ給水装置ヲ設備スルコト能ハサル者ニ給水ノ必要アリト認メタルトキ
 - 二 道路、公園其ノ他ニ於テ公衆ニ給水スル必要アリト認メタルトキ
 - 三 前各號ノ外市長ニ於テ必要ト認メタルトキ
- 第十一條 條例第十五條ノ規定ニ依リ私設共用栓ヲ設置セントスル者ハ別記第七號様式ニ依リ之ヲ請求スヘシ
- 第十二條 條例第十六條第二項ノ規定ニ依リ自己材料ヲ提供シ給水装置ヲ爲サントスル者ハ別記第八號様式ニ材料目錄書ヲ添ヘ市

ノ検査ヲ受クヘシ

- 第十三條 水道ノ使用ヲ廢止シタル既設装置ノ材料ヲ敷設ノ儘使用シ又ハ撤去後直ニ再用スルモノ若クハ水槽以下ノ流末装置ニ使用スルモノノ自己材料ニ對シテハ水壓試験ヲ省略スルコトアルヘシ
- 第十四條 他人ノ所有地内ニ給水管ノ布設ヲ要スルトキハ當該地主ノ承諾書ヲ添ヘ之ヲ請求スヘシ他人ノ給水管ニ接続シテ給水装置ヲ爲サントスルトキハ別記第九號様式ニ依ル本管所有者ノ支分引用承諾書ヲ添付之ヲ請求スヘシ
- 前項ニ規定スル給水本管撤去ヲ爲ス場合ハ支分引用者ハ直ニ配水管接続ノ手續ヲ爲スヘシ
- 第十五條 條例第十七條ノ規定ニ依リ量水器ヲ保管セシムル場合ハ別記第十號様式ノ保管證ヲ徵ス
- 第十六條 量水器ハ清潔ニ之ヲ保管シ量水器装置ノ場所ハ點檢、修理等ニ支障ヲ生スヘキ物件ヲ堆積シ若ハ工作物等ヲ設クルコトヲ得ス
- 工作物其ノ他障害アリト認メタルモノアルトキハ量水器ノ位置ヲ變更シ之ニ要スル費用ハ給水装置者ノ負擔トス
- 第十七條 自己量水器ヲ使用セントスルトキ及條例第十八條ノ規定ニ依ル試験又ハ修繕ノ請求ハ別記第十一號様式ニ依ルヘシ
- 前項ノ規定ニ依リ試験ノ結果ニ對スル公差ハ百分ノ四以下ヲ以テ合格トス
- 第十八條 條例第十九條ノ規定ニ依リ量水器以下ノ流末工事ヲ爲サントスル者ハ別記第十二號様式ノ申請書ニ設計書、圖面等ヲ添ヘ承認ヲ受クヘシ其ノ改造、増設、變更、修繕、撤去ノ場合亦同シ
- 前項工事ノ着手ハ三日以前ニ、竣工ハ三日以内ニ別記第十三號様式ニ依リ届出テ検査ヲ受クヘシ
- 第十九條 左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ流末工事ノ承認ヲ取消シ又ハ日時ヲ指定シテ改修若ハ一部ノ撤去ヲ爲サシムルコトアルヘシ
 - 一 検査ヲ受ケサル材料ヲ使用シタルトキ
 - 二 工事不完全ナルトキ
- 第二十條 條例第二十一條ノ規定ニ依ル給水管又ハ給水用具破損、修繕ノ請求ハ別記第十四號様式ニ依ルヘシ但シ緊急ヲ要シ其ノ暇ナキトキハ使用者ニ於テ本請求ヲ爲スコトヲ得
- 此ノ場合ニ於ケル修繕費ハ所有者ノ負擔トス
- 第二十一條 公設共用栓ノ修繕費ハ給水請求者ヨリ之ヲ徵收ス但シ特別ノ事由アル場合ハ此ノ限ニ在ラス
- 第二十二條 條例第二十二條ノ規定ニ依リ私設消火栓ノ演習使用ヲ爲サントスルトキハ前日迄ニ別記第十五號様式ニ依ル申請書ヲ差出スヘシ

演習ノタメ開栓ノ時間ハ連續三十分ヲ過クルコトヲ得ス

第二十三條 火災ノ爲私設消火栓ヲ使用シタルトキハ使用後三日以内ニ別記第十六號様式ニ依リ之ヲ届出ツヘシ

第二十四條 條例第二十三條ノ規定ニ依ル給水管又ハ給水用具ノ位置變更改築増築若ハ撤去ノ請求ハ別記第十七號様式ニ依リ給水中止、廢止若ハ開始ノ請求ハ別記第十八號様式ニ依ルヘシ

第二十五條 水道ヲ一時指定外用途ニ使用セントスルトキハ別記第十九號様式ニ依リ申請ノ上許可ヲ受クヘシ

第二十六條 條例第二十四條ノ規定ニ依ル給水種類ノ變更ノ届出ハ別記第二十號様式ニ依リ住所變更ノ届出ハ別記第二十一號様式ニ依ルヘシ

第二十七條 條例第二十五條ノ規定ニ依ル共用給水使用ノ鑑札及鍵ノ交付ヲ受ケントスル者ハ別記第二十二號様式ニ依リ之ヲ請求スヘシ、其ノ交付ヲ受ケタル鑑札及鍵ニシテ毀損又ハ亡失シタルトキハ第二十三號様式ニ依リ再交付ノ請求ヲ爲スヘシ

第二十八條 使用中ノトキ及亡失シタル共用給水鑑札又ハ鍵ヲ發見シタルトキハ別記第二十四號様式ニ依ル返納書ニ現品ヲ添ヘ之ヲ返納スヘシ此ノ場合ニ於テハ既納ノ再交付手数料ハ之ヲ還付ス

第二十九條 給水装置所有者死亡其ノ他ニ依リ給水用具ヲ相續又ハ讓渡セントスルトキハ別記第二十五號様式ノ相續届又ハ別記第二十六號様式ノ賣買讓渡届ヲ差出スヘシ

前項ノ規定ニ依ル届出ニシテ所定ノ様式ニ依リ難キトキハ其ノ立證スヘキ書類ヲ添付シ市長ノ認定ヲ受クヘシ

第三十條 條例第二十九條ノ規定ニ依リ給水工事費ノ月賦納入ヲ爲サントスルトキハ別記第二十七號様式ニ依リ保證人連署ノ上承認ヲ受クヘシ

第三十一條 前條ノ規定ニ依リ月賦納付ノ承認ヲ受ケタルトキハ別記第二十八號様式ノ月賦證書ヲ提出スヘシ

月賦證書ノ保證人ニシテ其ノ資格ヲ失ヒ若ハ他ニ更改ノ必要ヲ生シタルトキハ速ニ別記第二十九號様式ノ更改證書ヲ差出スヘシ

第三十二條 給水工事費月賦納付ノ承認ヲ受ケタルモノ、月賦金納付期日ハ毎月十日ヲ例日トス

第三十三條 分納金額ハ圓位ニ止メ概算工費ノ三分ノ一及端數ハ第一回分トシテ徵收シ第二回分以下ハ精算額中ヨリ第一回分納付額ヲ減シタル殘餘ヲ月賦ニ分割ス

第三十四條 給水管及用具ハ給水工事費皆納ニ至ル迄其ノ所有權ハ本市ニ歸屬シ請求者ハ其ノ管理ノ責ニ任スヘシ

第三十五條 給水工事費ヲ指定期限内ニ納付セサルトキハ給水装置ヲ撤去スルコトアルヘシ

前項規定ニ依リ撤去ノ場合ニ於テハ其ノ撤去シタル給水装置又ハ其ノ材料ヲ處分シ撤去ニ要シタル費用並ニ未納工事費ニ充當シ過不足アルトキハ之ヲ還付又ハ追徵ス

第三十六條 給水装置ノ撤去ヲ爲サントスルトキハ別記第三十號様式ニ依リ之ヲ請求スヘシ

前項ノ規定ニ依リ撤去シタル場合其ノ費用ハ分水栓ヨリノ計算ニ依リ徵收ス

本管所有者ニ於テ給水栓ノ撤去ヲ爲サントスルトキハ豫メ支分引用者ニ通知スヘシ此ノ場合ニ於テ支分引用者ハ本管取得ノ手續ヲ爲スカ或ハ本管新設ノ請求ヲ爲スヘシ萬一之カ手續ヲ爲サ、ルトキハ水道ヲ廢止シタルモノト看做ス

第三十七條 豫納シタル給水工事費ニシテ精算ノ結果金二十錢未滿ノ過不足ヲ生シタル場合ハ之ヲ追徵還付セス

第三十八條 給水工事施工ニ際シ家屋其ノ他ニ施サレタル工作物ニ加工ヲ爲シタル場合ニ於テ本市ハ必要ト認ムル程度ノ修補ヲ施スノ外之ヲ原形ニ復スルノ責ニ任セス

第三十九條 條例第三十二條第一項第三號ニ規定スル浴場料金ハ給水口ノ有無ニ拘ラス規定ノ料金ヲ徵收ス

第四十條 放任給水ニシテ料金算定標準ニ異動ヲ生シタルトキハ專用栓ニ在リテハ別記第三十一號様式共用栓ニ在リテハ別記第三十二號様式ニ依リ之ヲ届出ヘシ

第四十一條 放任給水ノ使用料標準ハ每期第一日ノ現在數ニ依ル

前項ノ規定ニ依ル標準數ニシテ一期間中異動アルモ料金ハ之ヲ増減セス但シ市長ニ於テ必要アリト認メタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第四十二條 水道使用料算定ノ標準トナルヘキ人口、浴槽牛馬及家屋ノ建坪其ノ他ニシテ事實ニ一致セスト認メタルトキハ市長ノ認定ニ依リ使用料ヲ算定スルコトアルヘシ

第四十三條 條例第三十五條第一項第二號ノ規定ニ依ル十五立方米ヲ超過スル水量ニ對シ給水料金算出ハ遞加計算方法ニ依ル

第四十四條 條例第三十九條ノ規定ニ依ル共用給水鑑札、鍵再交付手数料ハ左ノ場合ニ於テハ之ヲ徵收セス

一 毀損ノ鑑札鍵ニシテ其ノ原形ヲ認メ得ヘキモノヲ返納シタルトキ

一 鑑札又ハ鍵ヲ不可抗力ニ因リ亡失シタルモノト認メタルトキ

第四十五條 給水工事又ハ量水器ノ點檢ハ日出ヨリ日没迄ノ間ニ之ヲ行フ但シ緊急ヲ要スル修繕工事ハ此ノ限ニ在ラス

第四十六條 量水器ノ點檢ハ毎月例日之ヲ行フ但シ止ムヲ得サル事由アルトキハ例日ヲ變更スルコトアルヘシ量水器ヲ點檢シタルトキハ其ノ都度點檢表ノ一片ニ使用量ヲ記入シ使用者ニ之ヲ提示ス異狀其ノ他ノ事故ニ因リ示點明確ナラスト認ムルトキハ其ノ事由ヲ併記ス

第四十七條 給水装置所有者又ハ使用者量水器ノ點檢及試驗ニ立會ハサルノ故ヲ以テ其ノ結果ニ對シ異議ヲ唱フルコトヲ得ス

第四十八條 條例ノ規定ニ依リ一箇月ト稱スルハ量水器ニ依リ計量スルモノニ在リテハ量水器點檢ノ時ヨリ次ノ點檢時ニ至ル期間

ヲ謂ヒ其ノ他ニ在リテハ歷月ヲ謂フ

第四十九條 量水器ヲ修理又ハ試験等ノ爲取外シタル場合ニ於テ其ノ代用トシテ口径ノ異ナル量水器ヲ取付クルコトアルモ從前ノ量水器使用料ハ之ヲ増減セス

第五十條 條例第四十三條ニ規定スル前三箇月ノ平均額豫定シ能ハサルトキハ市長ノ認定ニ依ル

第五十一條 條例第四十六條ノ規定ニ依リ給水ヲ停止スル場合ハ給水使用者ハ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得ス

第五十二條 共用栓ハ一栓ヲ以テ一組合トシ一人ノ總代人ヲ選定シ別記第三十三號様式ニ依リ之ヲ届出ツヘシ

新ニ組合ニ加ハリタル者ハ總代人ヲ是認シタルモノト看做ス總代人ハ組合員ノ水道使用上ニ關スル一切ノ事項ヲ處辨スヘシ市長ニ於テ總代人ヲ不適當ト認メタルトキハ之ヲ變更セシムルコトアルヘシ

第五十三條 給水装置所有者所在不明等ノ場合ニ於テ其ノ装置ヲ保管セントスルトキハ別記三十四號様式ニ依リ之ヲ届出ツヘシ

第五十四條 給水装置所有者ニシテ本市ニ居住セサルトキハ代理人ヲ選定シ別記第三十五號様式ニ依リ之ヲ届出ツヘシ變更シタルトキ亦同シ

前項ニ規定スル代理人ヲ不適當ト認メタルトキハ之ヲ變更セシムルコトアルヘシ

第五十五條 保管者及代理人ノ處辨スヘキ事項ノ概目左ノ如シ

一 工費、使用料、辨償金ノ納付及還付金ノ請求領收

二 給水装置ノ修繕、加工及量水器ノ取付、取外並試験ノ請求、共用栓ノ鑑札、鍵ノ請求返納

三 水道ノ使用開始、中止等一切ニ關スル事項

附 則

本細則ハ一宮市水道給水並使用料條例施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(第一號様式)

共用栓一時使用申請書

一、水栓所在 一宮市 町通 丁目 番地

一、共用栓番號 設第 號

一、使用者

一、使用目的

一、期間 自昭和 年 月 日 至昭和 年 月 日 日間

右一宮市水道給水並使用料條例ニ依リ使用致度候間許可ノ上鑑札及鍵交付相成度候也

昭和 年 月 日

一宮市長 殿

一宮市 町通 丁目 番地 請求者 氏 名 印

一宮市 町通 丁目 番地 共用栓總代 氏 名 印

右 氏 名 印

昭和 年 月 日

備考 一、此ノ申請書ニハ所有者ノ同意ヲ要シマス

(第二號様式)

私設消火栓新設工事請求書

一、設置場所 一宮市 町通 丁目 番地

一、個數 屋內 單口 個 屋外 雙口 個

一、附屬品 個

一宮市水道給水並使用料條例ニ依リ給水相受度候間工事施行相成度候也

昭和 年 月 日

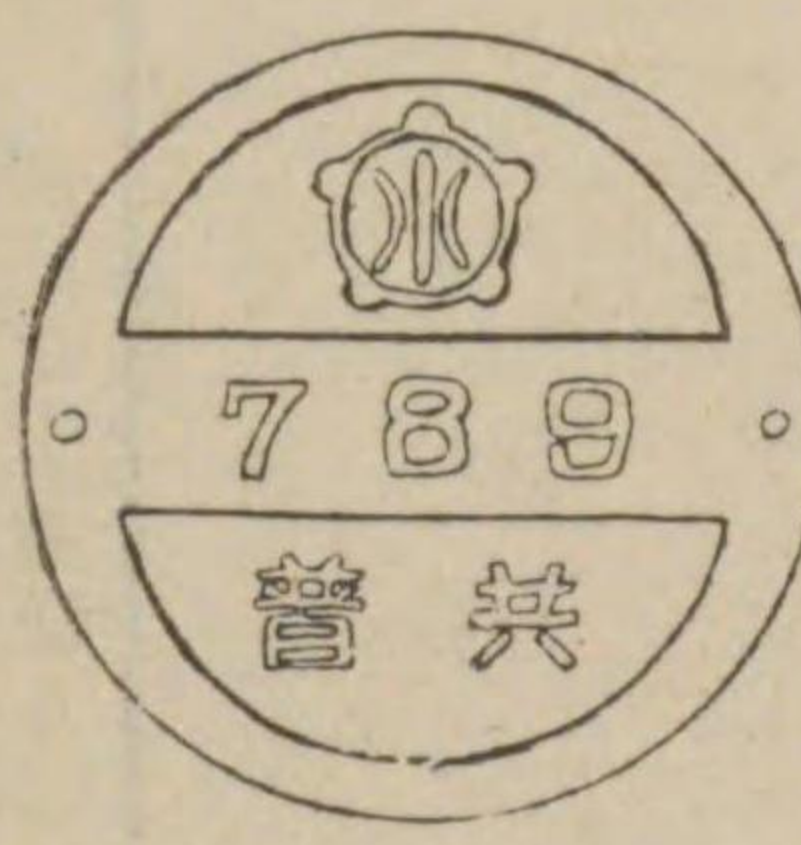
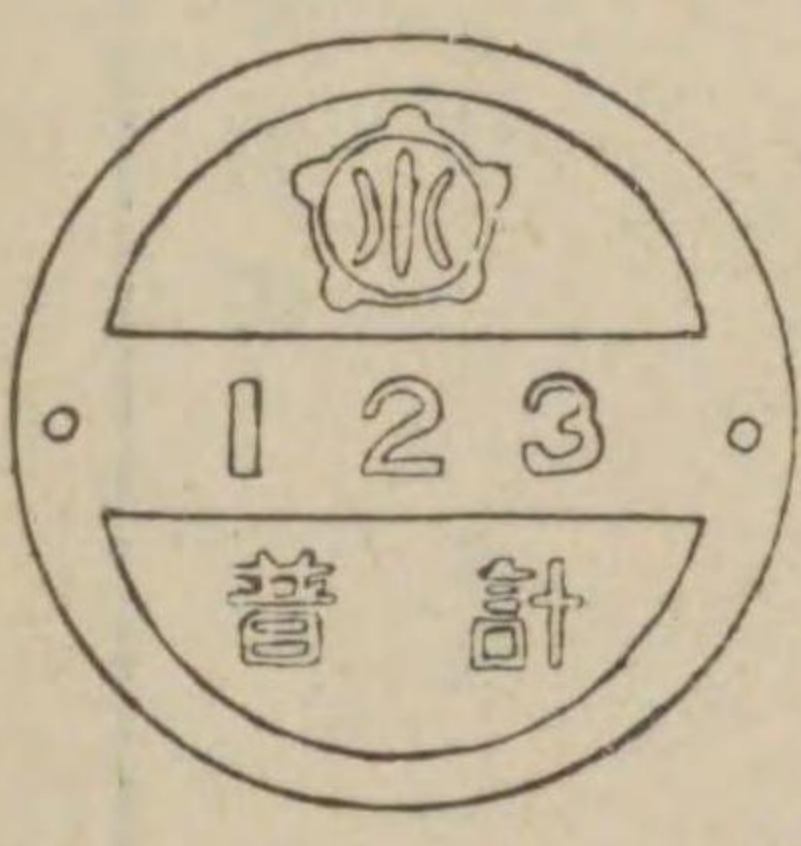
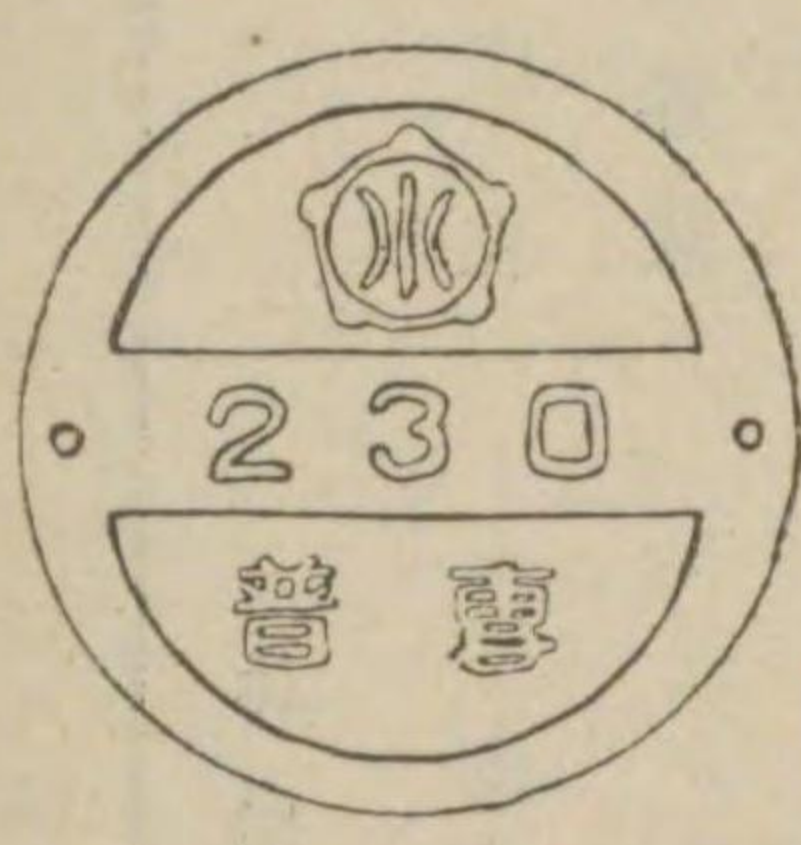
一宮市長 殿

請求者 一宮市 町通 丁目 番地 氏 名

備考

- 一、消火栓新設工事ニ際シ既設工作物ノ復舊ハ埋戻シ程度以外ハ之ヲ行ヒマセン
- 一、引込線及水栓ヲ設クル場所ガ他人ノ土地又ハ家屋ナルトキハ其ノ地主若ハ家主ノ承諾ヲ得ラレタ後ニ此ノ請求書ヲ御差出シテ下サイ
- 一、他人ノ給水管ヨリ支分引用ヲ希望セラルトキハ本管所有者ノ承諾ヲ求メ第九號様式ノ支分引用承諾書ヲ添付シテ下サイ
- 一、私設消火栓ハ火災又ハ演習ノ場合ノ外使用スルコトガ出来マセン
- 一、工費ノ一部トシテ金壹圓ヲ前納トシ本工事ノ請求ト同事ニ御納メ下サイ

ク掲 = 戸門



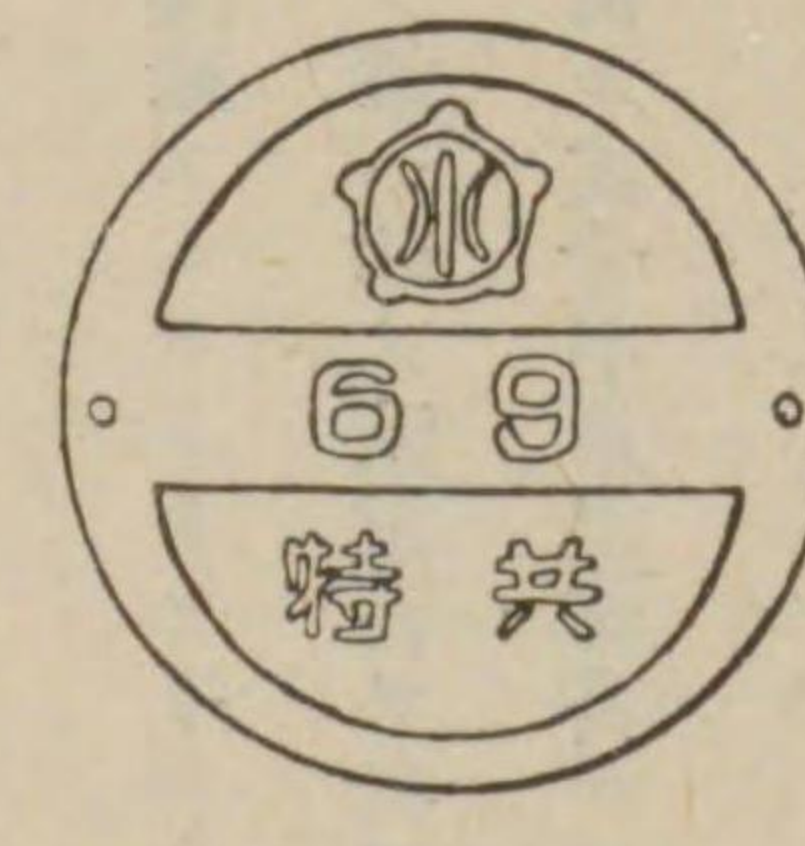
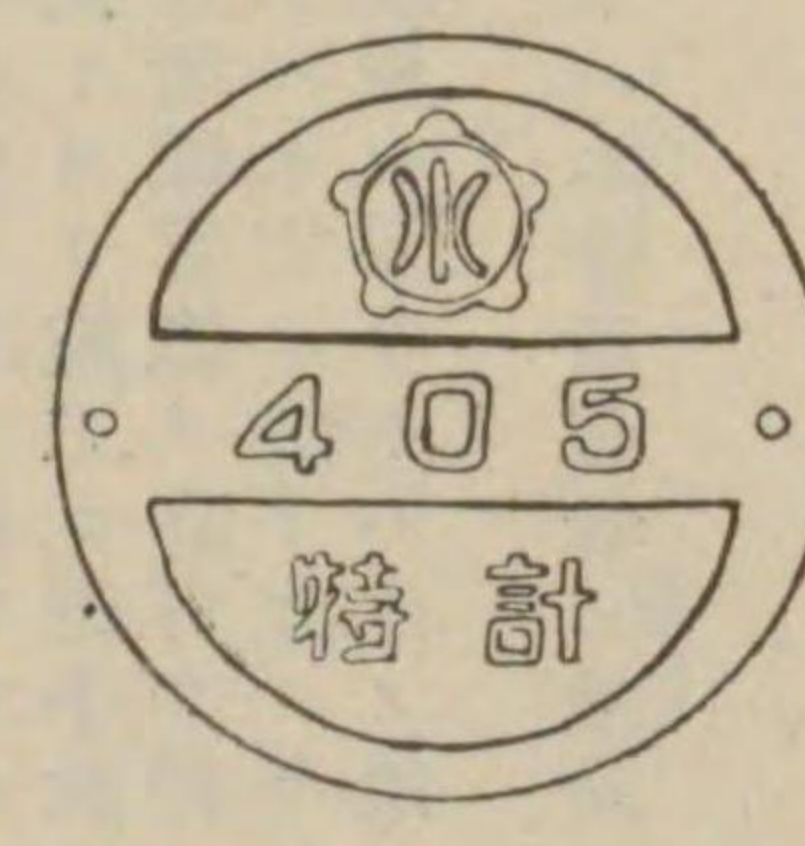
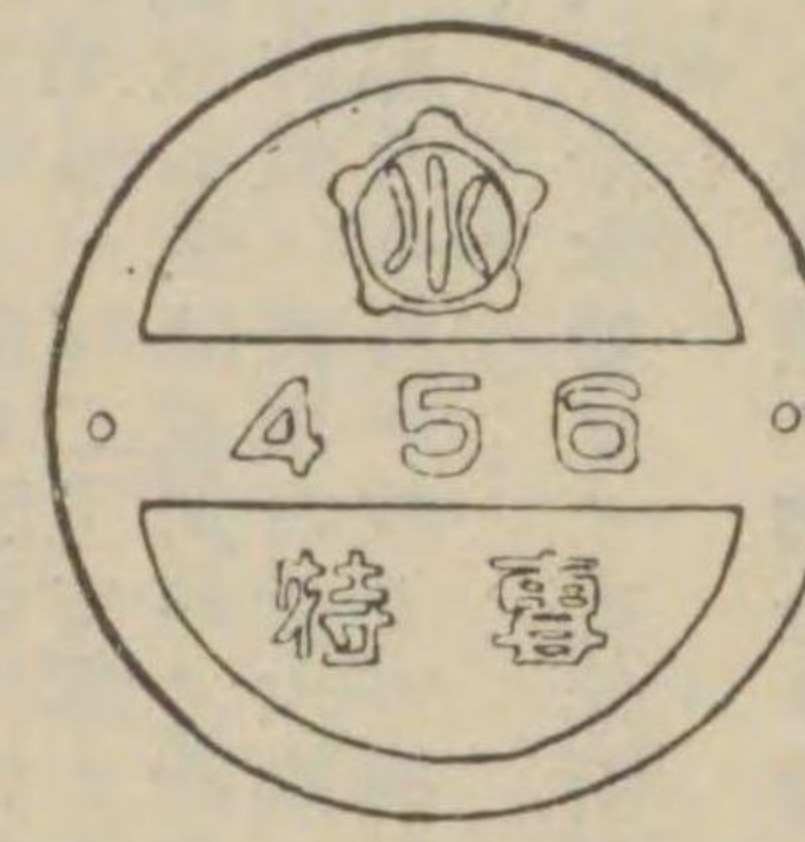
(第三號様式)

普通 (文字模様及縁白) 専用栓 (數字黒地濃朱)

普通 (文字模様及縁白) 計量栓 (數字赤地濃青)

普通 (文字模様及縁白) 共用栓 (數字赤地濃綠)

形鑑識標ル



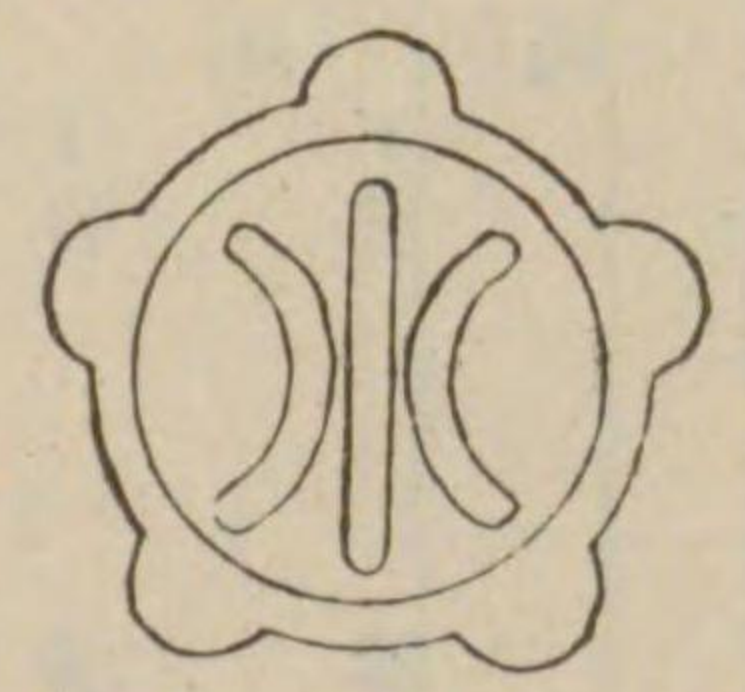
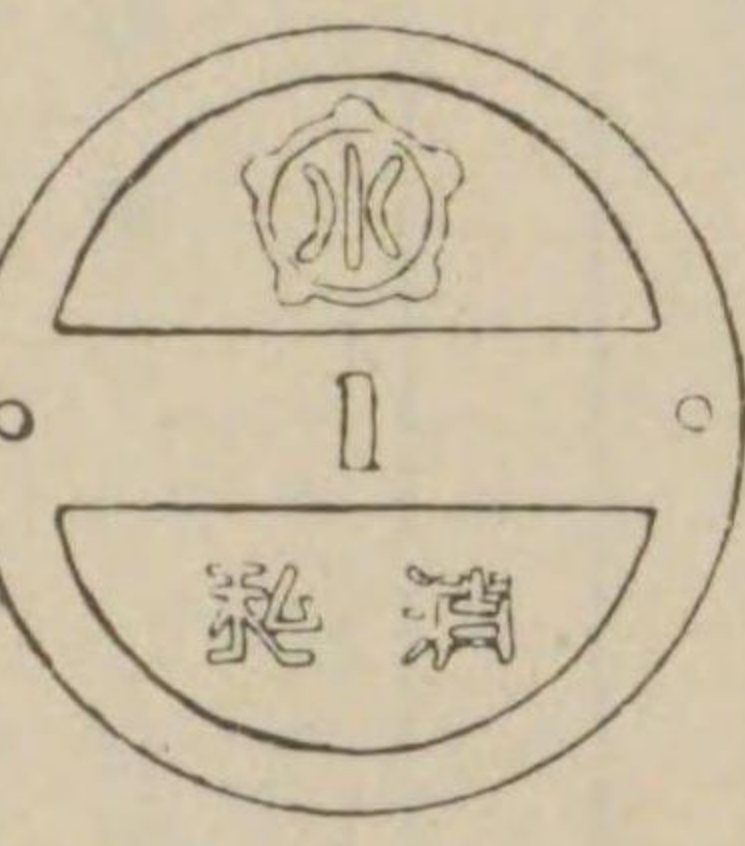
特別 (文字模様及縁白) 専用栓 (數字黒地濃朱)

特別 (文字模様及縁白) 計量栓 (數字赤地濃青)

特別 (文字模様及縁白) 共用栓 (數字赤地濃綠)

私設 (數字及模様地濃朱) 消火栓 (其他地濃青)

(第四號様式)



共用栓鑑札 長二寸五分 巾一寸五分 厚二分

水道係員徽章 (白縁及字文 青濃地)

表

何私公 共第 號 何

○ 共用栓鑑札

給水使用者 何 某

裏

○

昭和 年 月 日交付

一宮市役所

(第五號様式)

給水装置新設工事請求書

一、引用場所 一宮市 町通 丁目 番地

一、使用者 一宮市 請求者家主 町通 丁目 番地

一、居住者 一宮市 請求者家主 町通 丁目 番地

一、支用者 一宮市 請求者家主 町通 丁目 番地

一、用途 一宮市 請求者家主 町通 丁目 番地

右一宮市給水並使用料條例ニ依リ給水相受度附記承諾仕候間工事施行相成度候也

昭和 年 月 日

一宮市長 殿

一宮市 請求者家主 町通 丁目 番地 氏 名 印

使用者 一宮市 町通 丁目 番地 氏 名 印

附記 一、放任給水ノ場合ニ於テ市ノ都合ニ依リ之ヲ計量給水ニ變更スルコトアルモ受給者ハ異議ナキコト

備考

- 一、給水工事ニ際シ既設工作物ノ復舊ハ埋戻シ程度以外ハ之ヲ行ヒマセン
- 一、給水工事ハ施工上支障ナキ限リ大凡受付ノ順位ニ依リ施工ニ着手致シマス
- 一、國縣道路沿ノ家屋ヘノ給水工事ハ道路占用ニ付所轄官廳ノ許可ヲ得ルニ至ル迄ノ日數ヲ遅延スルコトニナリマス
- 一、給水装置ノ種類及水量器ノ種類、位置、口径等ハ本市ニ於テ定メマス
- 一、引込線及水栓ヲ設クル場所ガ他人ノ土地又ハ家屋ナルトキハ其ノ地主若ハ家主ノ承諾書ヲ添ヘ此ノ請求書ヲ御出シ下サイ
- 一、他人ノ給水管ヨリ支分引用ヲ希望セラル、トキハ本管所有者ノ承諾ヲ求メ第九號様式ニ依ル支分引用承諾書ヲ添付シテ下サイ
- 一、工事ハ概算額ノ納金ヲ待ツテ着手致シマス
- 一、自費支辨ニ屬スル給水装置ノ所有權ハ工費ノ精算完納ニ依リテ請求者ニ移リマス
- 一、工費ノ一部トシテ金壹圓ヲ本工事ノ請求ト同時ニ御納メ下サイ

(第六號様式)

給水工事請求取消届

一、引用場所 一宮市 町通 丁目 番地

一、種別 一宮市 町通 丁目 番地

一、請求年月日 昭和 年 月 日

右請求取消相成度候也

昭和 年 月 日

一宮市長 殿

請求者家主 一宮市 町通 丁目 番地 氏 名 印

(第七號様式)

私設共用栓新設工事請求書

一、設置場所 一宮市 町通 丁目 番地

一、使用戸數 一宮市 町通 丁目 番地

右一宮市水道給水並使用料條例ニ依リ給水相受度候間工事施行相成度候也

昭和 年 月 日

一宮市長 殿

請求者家主 一宮市 町通 丁目 番地 氏 名 印

以下使用者連名トス

一宮市 町通 丁目 番地 氏 名 印

一宮市 町通 丁目 番地 氏 名 印

備考 一、共用栓新設工事ニ際シ既設工作物ノ復舊ハ埋戻程度以外ハ之ヲ行ヒマセン

第九章 給水概要

- 一、共用栓ノ新設工事ハ施工上支障ナキ限り大凡受付ノ順位ニヨリ施工ニ着手致シマス
- 一、家主ニ於テ他人ノ土地ニ共用栓ヲ新設セントスルトキハ土地所有者ノ連署ヲ要シマス
- 一、他人ノ給水管ヨリ支分引用ヲ希望セラル、トキハ本管所有者ノ承諾ヲ求メ第九號様式ノ支分引用承諾書ヲ添付シテ下サイ
- 一、工事ハ概算額ノ納金ヲ待ツテ着手致シマス
- 一、自費支辨ニ屬スル給水装置ノ所有權ハ工費ノ精算完納ニ依リテ請求者ニ移リマス
- 一、工費ノ一部トシテ金壹圓ヲ本工事ノ請求ト同時ニ御納メ下サイ
- 一、共用栓ノ使用者ハ特ニ承認ヲ受ケタルモノノ外ハ建築面積四十平方米（約十二坪一合）以下ノ家屋居住者ニ限りマス
- 一、建坪ハ各階ノ坪數、炊事場、浴場、便所ノ坪數ヲ通算シ其他ノ附屬建物ハ之レニ算入致シマセン

(第八號様式)

自己材料使用申請書

一宮市 町通 丁目 番地

一、引用場所

一宮市 町通 丁目 番地

一、工事請求年月日 昭和 年 月 日

一、提供材料 別紙目錄書ノ通り

右工事用材料提供致度候間検査ノ上使用相成度候也

昭和 年 月 日

一宮市長 殿

申請者 一宮市 町通 丁目 番地 氏 名 印

備考

- 一、材料ノ検査ハ本市指定ノ場所デ致シマス
- 一、材料ノ検査ニ付テハ規定ノ手数料ヲ申受ケマス

(第九號様式)

支分引用承諾書

一宮市 町通 丁目 番地 栓第 號

一、本管所在 一宮市 町通 丁目 番地

一、支分引用場所 一宮市 町通 丁目 番地

右支分引用ノ儀本管所有者ニ於テ承諾致候也

昭和 年 月 日

一宮市長 殿

支分引用者 一宮市 町通 丁目 番地 氏 名 印

本管所有者 一宮市 町通 丁目 番地 氏 名 印

備考

- 一、給水工事ニ際シ既設工作物ノ復舊ハ埋戻程度ノ外ハ之レヲ行ヒマセン
- 一、給水工事ハ施工上支障ナキ限り大凡受付ノ順位ニヨリ施工ニ着手致シマス

(第十號様式)

量水器保管證

一宮市 町通 丁目 番地 氏 名 印

一、口徑 但シ 町通 丁目 番地 栓第 號 附設ノ分

右御貸付相成保管致候ニ付テハ使用中亡失毀損シタルトキハ市ノ御指定ニ從ヒ代價ヲ辨償可致候也

昭和 年 月 日

一宮市長 殿

給水装置所有者 一宮市 町通 丁目 番地 氏 名 印

保管者 一宮市 町通 丁目 番地 氏 名 印

第一節 給水條例

(第十一號様式)

量水器試驗請求書

一、水栓所在 一宮市 町通 丁目 番地

一、種別番號 栓第 號

一、量水器ノ種類口徑番號 耗第 號

右異狀アルモノト認メ候間試驗相成度若シ試驗ノ結果異狀無之トキハ御指定ノ試驗手數料納付可致候也

昭和 年 月 日

一宮市長 殿

一宮市 保管者 町通 丁目 番地 氏 名 印

(第十二號様式)

流末裝置承認申請書

一、水栓所在 一宮市 町通 丁目 番地

一、種別番號 栓第 號

一、用途 號

右自己材料ヲ以テ流末裝置(新設、改造、増設)變更、修繕、撤去)致度候間檢查承認相成度別紙設計書及圖面使用材料目錄相添へ申請候也

昭和 年 月 日

一宮市長 殿

一宮市 給水裝置所有者 町通 丁目 番地 氏 名 印

(第十三號様式)

流末裝置工事着成手届

一、水栓所在 一宮市 町通 丁目 番地

一、種別番號 栓第 號

右流末裝置工事 月 日 着成

昭 和 年 月 日 落成致候間實地檢查相成度候也

一宮市長 殿

一宮市 給水裝置所有者 町通 丁目 番地 氏 名 印

(第十四號様式)

給水裝置修繕請求書

一、水栓所在 一宮市 町通 丁目 番地

一、種別番號 栓第 號

一、使用者番號 號

一、破損箇所業務 號

一、修繕致候間工事施行相成度候也

昭 和 年 月 日

一宮市長 殿

一宮市 給水裝置所有者 町通 丁目 番地 氏 名 印

備考

一、給水裝置修繕工事ニ際シ既設工作物ノ復舊ハ埋戻程度ノ外ハ之ヲ行ヒマセン

一、給水裝置修繕工事ハ施工上支障ナキ限リ大凡受付ノ順位ニ依リ施行ニ着手致シマス

一、修繕ノ請求書ハ給水裝置所有者ヨリ御出シ下サイ

一、所有者ノ修繕費モ所有者ノ負擔トナリマス

但シ此ノ場合ノ修繕費モ所有者ノ負擔トナリマス

(第十五號様式)

一、水栓所在	私設	消火栓演習使用申請書	一宮市	町通	丁目	番地
一、消火栓番號	第	號	口	口		
一、構造別	單	口	口			
一、演習使用時間	昭和	年	月	日	午前	時
右	昭和	年	月	日	午後	時
備考	一、演習ノ際ハ係員ガ立會マスカラ其ノ指示ヲ御受ケ下サイ					
一宮市長	殿	申請者	一宮市	町通	丁目	番地
		氏				名

(第十六號様式)

一、水栓所在	私設	消火栓使用届	一宮市	町通	丁目	番地
一、水栓番號	第	號	口	口		
一、構造別	單	口	口			
一、使用時間	昭和	年	月	日	午前	時
右	昭和	年	月	日	午後	時
備考	一、使用時間ニ於ケル火災ノ爲使用致候間及御届候也					
一宮市長	殿	給水装置所有者	一宮市	町通	丁目	番地
		氏				名

(第十七號様式)

一、水栓所在	給水装置位置變更 改造増設工事請求書	一宮市	町通	丁目	番地	
一、種別番號						
一、現在使用者		一宮市	町通	丁目	番地	
一、事由		氏			名	
右位置變更 改造、増設致度候間 工事施工相成度候也		一宮市	町通	丁目	番地	
昭和	年	月	日			
備考	一、給水装置ノ位置變更、改造、増設工事ニ際シ既設工作物ノ復舊ハ埋戻程度ノ外之ヲ行ヒマセン					
	一、給水装置ノ位置變更、改造、増設工事ハ施行上支障ナキ限り大凡受付ノ順位ニヨリ施工ニ着手致シマス					
	一、給水装置ノ種別及量水器ノ位置種類口徑等ハ本市ニ於テ定メマス					
	一、引込線及水栓ヲ設ケル場所ガ他人ノ土地又ハ家屋ナルトキハ其ノ地主若ハ家主ノ承諾ヲ得ラレタ後ニ此ノ請求書ヲ御出シ下サイ					
一宮市長	殿	請求者	一宮市	町通	丁目	番地
		氏				名
		家屋所有者	一宮市	町通	丁目	番地
		氏				名

(第二十號様式)

給水装置種類變更申請書

一、水栓所在
一宮市 町通 丁目 番地

現在種類番號
一、水栓所在
一宮市 町通 丁目 番地

變更種類番號
一、水栓所在
一宮市 町通 丁目 番地

使用者業務者
一宮市 町通 丁目 番地

事由
一宮市 町通 丁目 番地

昭和 年 月 日

一宮市長 殿

備考
一、給水装置種類變更工事ニ際シ既設工作物ノ復舊ハ埋戻程度ノ外之ヲ行ヒマセシ
一、給水装置ノ種類變更ハ工事ハ施工上支障ナキ限リ大凡受付ノ順位ニヨリ施工致シマス
一、給水装置ノ種類變更ハ水量水器ノ口径ヲ變更シタル月ノ使用料ハ其ノ多キニ依リ申受ケマス

右ノ通り種類變更相成度候也

昭和 年 月 日

一宮市長 殿

給水装置所有者 町通 丁目 番地 氏

名 印

(第二十一號様式)

給水装置種類變更申請書

住所變更届

一、水栓所在
一宮市 町通 丁目 番地

種類番號
一宮市 町通 丁目 番地

新舊住居所
一宮市 町通 丁目 番地

昭和 年 月 日

一宮市長 殿

備考
一、給水装置種類變更工事ニ際シ既設工作物ノ復舊ハ埋戻程度ノ外之ヲ行ヒマセシ
一、給水装置ノ種類變更ハ工事ハ施工上支障ナキ限リ大凡受付ノ順位ニヨリ施工致シマス
一、給水装置ノ種類變更ハ水量水器ノ口径ヲ變更シタル月ノ使用料ハ其ノ多キニ依リ申受ケマス

右ノ通り種類變更相成度候也

昭和 年 月 日

一宮市長 殿

給水装置所有者 町通 丁目 番地 氏

同保人 町通 丁目 番地 氏

代理者 町通 丁目 番地 氏

名 名 名 印 印 印

(第二十二號様式)

公設共用栓使用請求書

一、水栓所在
一宮市 町通 丁目 番地

公設共用栓 第 號

私設共用栓 第 號

一、使用戸數 戸(内譯別紙ノ通)

右一宮市水道給水並使用料條例ニ依リ使用致度候間鑑札及鍵交付相成度候也

昭和 年 月 日

一宮市長 殿

備考
一、共用栓ノ使用ハ建築面積四十平方(十二坪)合)以下ノ家屋居住者ニ限りマス建坪ハ各階ノ坪數、炊事場、浴場、便所ノ坪數ヲ通算シ其ノ他附屬建物ハ之レニ算入致シマセン
一、鑑札ト鍵トハ必ず連繫シテ御使用下サイ
一、共用栓ノ使用料ハ各世帯ニ對シ規定料金率ニ依リ夫々計算シタルモノヲ取纏メテ總代人カラ申受ケマス

右 氏 名 印

一宮市 町通 丁目 番地 氏 名 印

一宮市 町通 丁目 番地 氏 名 印

請求者 町通 丁目 番地 氏 名 印

一宮市 町通 丁目 番地 氏 名 印

使用者 町通 丁目 番地 氏 名 印

以下使用者連名トス

(第二十二號様式附屬)

居屋	業務	居住人口	浴槽	牛馬	其他	住	所	使用者名
平家二階建 三階建等ノ別	建坪					町通	丁目 番地	第 號
						町通	丁目 番地	第 號
						町通	丁目 番地	第 號
						町通	丁目 番地	第 號
						町通	丁目 番地	第 號
						町通	丁目 番地	第 號
						町通	丁目 番地	第 號
						町通	丁目 番地	第 號
						町通	丁目 番地	第 號
						町通	丁目 番地	第 號

(第二十三號様式)

共用栓鑑札、鍵再交付請求書		丁目	番地	分第	號	氏	丁目	番地	名
一、水栓所在	一宮市					氏	丁目	番地	名
一、私設共用栓	第					氏	丁目	番地	名
一、私設共用栓	第					氏	丁目	番地	名
一、私設共用栓	第					氏	丁目	番地	名
一、私設共用栓	第					氏	丁目	番地	名
一、私設共用栓	第					氏	丁目	番地	名
一、私設共用栓	第					氏	丁目	番地	名
一、私設共用栓	第					氏	丁目	番地	名
一、私設共用栓	第					氏	丁目	番地	名
一、私設共用栓	第					氏	丁目	番地	名

備考 一、再交付ノ手数料ハ鑑札一枚ニ付金十錢鍵一個ニ付金三十錢デス
左ノ場合ニハ手数料ハ申受ケマセン

(第二十四號様式)

共用栓鑑札、鍵返納書		丁目	番地	分第	號	氏	丁目	番地	名
一、水栓所在	一宮市					氏	丁目	番地	名
一、私設共用栓	第					氏	丁目	番地	名
一、私設共用栓	第					氏	丁目	番地	名
一、私設共用栓	第					氏	丁目	番地	名
一、私設共用栓	第					氏	丁目	番地	名
一、私設共用栓	第					氏	丁目	番地	名
一、私設共用栓	第					氏	丁目	番地	名
一、私設共用栓	第					氏	丁目	番地	名
一、私設共用栓	第					氏	丁目	番地	名
一、私設共用栓	第					氏	丁目	番地	名

(第二十五號様式)

給水装置相續届		丁目	番地	氏	丁目	番地	名
一、水栓所在	一宮市			氏	丁目	番地	名
一、私設共用栓	第			氏	丁目	番地	名
一、私設共用栓	第			氏	丁目	番地	名
一、私設共用栓	第			氏	丁目	番地	名
一、私設共用栓	第			氏	丁目	番地	名
一、私設共用栓	第			氏	丁目	番地	名
一、私設共用栓	第			氏	丁目	番地	名
一、私設共用栓	第			氏	丁目	番地	名
一、私設共用栓	第			氏	丁目	番地	名
一、私設共用栓	第			氏	丁目	番地	名

(第二十六號様式)

給水装置賣買譲渡届

一、水栓所在 一宮市 町通 丁目 番地

一、種別番號 栓第 號

右賣買譲渡致シ候ニ付左記ノ通り引續使用承認相成度給水ニ關スル權利義務ハ一切買、讓受人ニ於テ繼承致度別紙賣、讓渡人印鑑證明書相添ヘ届出候也

使用者	支	筒所	用途
ノ使用者	浴	個	ノ賣買譲渡
總人口	牛	頭	昭和 年 月 日
	馬		

昭和 年 月 日

一宮市長 殿

一宮市 町通 丁目 番地 賣、讓渡人 氏 名 印
一宮市 町通 丁目 番地 買、讓受人 氏 名 印

(第二十七號様式)

給水装置新設工費月賦納付申請書

一、引用場所 一宮市 町通 丁目 番地

一、新設工費額 金

一、一部納額 金

一、月賦申請額 金

一、月賦期間 自 年 月 月 至 年 月 月 箇月月賦

一、業務 一宮市 町通 丁目 番地

一、本籍地 一宮市 町通 丁目 番地

一、現住地 一宮市 町通 丁目 番地

右給水装置新設工費ノ内前記ノ通り月賦ヲ以テ納付致度候間承認ノ上工事施行相成度連帶保證人連署ヲ以テ申請候也

昭和 年 月 日

一宮市長 殿

一宮市 町通 丁目 番地 申請人 氏 名 印
一宮市 町通 丁目 番地 連帶保證人 氏 名 印

(第二十八號様式)

金額ニ相 當スル收 入印紙		給水装置新設工費月賦證書	
一、引用場所	一宮市	町通	丁目
一、種別	給水		番地
一、工費總額	金		
一、一部納額	金		
一、月賦總額	金		
一、月賦期間	自 年 月 日	至 年 月 日	箇月月賦
一、月賦額	一ヶ月金	最終月金	
右給水装置新設工費ハ前記月割ヲ以テ毎月指定ノ期日ニ無相違納付可致連帶保證人連署月賦證書仍而如件			
昭和 年 月 日	一宮市	町通	丁目
一宮市長	申請人	連帶保證人	
殿	氏	氏	
	丁目	丁目	
	番地	番地	
	名	名	
	印	印	

(第二十九號様式)

給水装置新設工費月賦更改證書	
一、引用場所	一宮市
一、元改工費	金
一、内金	金
一、差引工費未納額	金
此ノ月賦一ヶ月金	最終月金
右ハ	ニ付前記ノ通更改致候間連帶保證人連署ス仍而如件
昭和 年 月 日	一宮市
一宮市長	申請人
殿	連帶保證人
	氏
	丁目
	番地
	名
	印

(第三十號様式)

給水装置撤去工事請求書	
一、水栓所在	一宮市
一、種別番號	給水
一、使用番號	町通
一、撤去致度候間工事施行相成度候也	丁目
昭和 年 月 日	番地
一宮市長	申請人
追而支分引用者ニハ	連帶保證人
殿	氏
	丁目
	番地
	名
	印

備考
 一、給水装置撤去工事ニ際シ既設工作物ノ復舊ハ埋戻程度ノ外之ヲ行ヒマセン
 一、使用料手数料工費其ノ他未納金アルトキハ納金後此ノ請求書ヲ御出シ下サイ
 一、工費ノ一部トシテ金一圓ヲ前納トシ本請求書同時ニ御納メ下サイ

(第三十三號様式)

一、水栓所在 一、種別番號 右料金納付其他給水ニ關スル事務ハ 昭和 年 月 日	總代理人 一宮市 町通 丁目 番地 號	一宮市長 殿
備考 公設共用栓ニアリテハ地主、地主ナキ場合ハ使用者連署ス	ヲシテ處辨セシメ候間連署ヲ以テ届出候也 一宮市 町通 丁目 番地 給水装置所有者 氏 一宮市 町通 丁目 番地 總代理人 連氏	使總用代者人町通者氏連

(第三十四號様式)

一、水栓所在 一、種別番號 右所有者 昭和 年 月 日	給水装置保管届 一宮市 町通 丁目 番地 號	一宮市長 殿
備考 保管者ノ處辨スベキ事項ハ左ノ通りデアリマス 一、工費、使用料、辨償金ノ納付及還付金ノ請求、領收 一、給水装置ノ修繕、加工及量水器ノ取付、取外並試験ノ請求、共用栓ノ鑑札、鍵ノ請求、返納 一、水道ノ使用開始、中止等一切ニ關スル事項	ニ付給水ニ關スル料金納付其他一切拙者引受保管致度候間承認相成度候也 一宮市 町通 丁目 番地 保管者 氏	保管者町通氏

(第三十五號様式)

一、水栓所在 一、種別番號 右料金納付其他給水ニ關スル事務ハ 昭和 年 月 日	代理人 一宮市 町通 丁目 番地 號	一宮市長 殿
備考 代理人ノ處辨スベキ事項ハ左ノ通りデアリマス 一、工費、使用料、辨償金ノ納付及還付金ノ請求、領收 一、給水装置ノ修繕、加工及量水器ノ取付、取外並試験ノ請求、共用栓ノ鑑札、鍵ノ請求、返納 一、水道ノ使用開始、中止等一切ニ關スル事項	ヲシテ處辨セシメ候間連署ヲ以テ届出候也 一宮市 町通 丁目 番地 給水装置所有者 氏 一宮市 町通 丁目 番地 代理人 氏	代通者町通氏

第二節 給水狀況

一、給水普及獎勵

昭和十年一月より實施に着手せる諸般の施設は全十一年十月に至り配水塔を除き他の主要部分殆んど完成し唧筒直送に依り給水をなし得る程度に進行したるを以て市内各戸の給水工事に着手することとなり一般市民をして水道給水並使用料條例知了の徹底を期し之が拔萃竝に給水普及獎勵の宣傳ビラを全市戸毎に配付し又市内各要所には立看板を掲

出し更に區長或は衛生組合長に依頼し給水普及の宣傳に助力を受くることとし一方に於ては水道給水申込者の便を計り給水工事費一部市費負擔の暫行特例を設け期間を定め特典附給水募集を開始する等極力給水普及獎勵に努めたり其結果相當の申込を受け其後回を重ね數回の特典附與給水募集を行ひ別表の如く漸次良好の成績を收むることを得たり。

一宮市水道給水ニ關スル暫行特例

昭和拾參年四月拾六日告示

- 第一條 本市水道普及ノ爲市長ニ於テ必要ト認ムル期間内ニ於テ給水裝置ノ新設請求ヲ爲シ直ニ使用開始ヲ爲ス者（除官公署）ニ限リ一宮市水道給水並使用料條例ニ依リ左ニ掲クル特例ヲ設ク
 - 一、一戸一栓及私設共用栓ニ限リ公道又ハ市長ニ於テ公道ニ準スト認ムル通路ノ境界線ヨリ内徑十六耗以下給水管延長二十米突迄ニ要スル一切ノ施設ハ市ニ於テ設備シ之ヲ無料貸付ス但シ給水栓及給水栓柱ノ費用ハ此ノ限ニ在ラス
 - 二、他人ノ給水管ヨリ分岐シテ給水裝置ヲ爲スモノハ其ノ分岐點ヲ基點トシテ前號ノ規定ヲ適用ス
 - 三、給水管ノ延長二十米突ヲ超ユル場合其ノ超過部分ノ費用及内徑十六耗ヲ超ユル管ヲ必要トスル工事ニ在リテハ其ノ費用全額ヲ引用者ニ於テ之ヲ負擔セシム
- 第二條 第一條ニ規定スル給水裝置新設請求ニ對シテハ當初開栓ノ月ニ限リ給水料及量水器使用料ハ日割計算ニ依リ之ヲ徵收ス
- 第三條 第一條ニ規定スル給水裝置ノ貸付ヲ受ケタル者ハ其ノ修繕、變更、撤去等ニ要スル費用ハ之ヲ負擔スヘシ
- 第四條 左ノ各號ノ一ニ該當ストキハ市ニ於テ設備シタル給水裝置ヲ直ニ撤去ス
 - 一、空家ノ爲ニ非ラサル使用中止ニシテ引續キ水道使用ノ見込ナキトキ
 - 二、前號ノ外水道使用ノ中止期間カ六ヶ月以上ニ亘リ水道使用ノ見込ナキトキ
 - 三、本市水道給水並使用料條例ニ依リ諸料金ヲ滯納シタルトキ

本特例ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
特典期間

自昭和拾參年四月拾六日至昭和拾參年七月卅壹日

給水募集成績

昭和十四年七月三十一日現在

年度別	特典附期間	給水募集數	同上累計	總戸數ニ對スル給水募集率	摘	要
昭和十一年度	自昭和十一年八月十日 至同 年十月三十一日	三、二五	三、二五	—	内徑二五耗以下給水管延長二〇米迄無料施設、但シ給水栓並給水栓柱ハ有料	
同	自同 年二月二十八日 至同 年四月二十四日	四七四	二、五九九	—	同	
同	自同 年四月一日 至同 年四月二十四日	一九〇	二、七九一	・三六	無特典	
同	自同 年六月四日 至同 年八月三十一日	八三六	三、六二七	・三三	同	内徑二五耗以下給水管延長二〇米迄無料施設、但シ給水栓並給水栓柱ハ有料
同	自同 年八月三十一日 至同 年八月三十一日	四七	三、六七四	・三三	無特典	
同	自昭和十三年四月十六日 至同 年七月三十一日	九〇三	四、五七七	・四三	内徑一六耗以下給水管延長二〇米迄無料施設、但シ給水栓並給水栓柱ハ有料	
同	自同 年七月三十一日 至同 年七月三十一日	七五	四、六五三	・四三	無特典	
同	自昭和十四年四月十七日 至同 年七月三十一日	九二二	五、五七五	・四九	内徑一三耗以下給水管延長一二米迄無料施設、但シ給水栓並給水栓柱ハ有料	
同	自同 年七月三十一日 至同 年七月三十一日	—	五、五六四	・四九	無特典	

二、給水成績

昭和十一年十月二十三日給水開始以來各年度末に於ける種類別栓數、戸數及給水料並量水器使用料左の如し。

種類別給水栓數

種類別	昭和十一年度		同十二年		同十三年		同十四年	
	現在	在	現在	在	現在	在	現在	在
普通	一、三三三	一、三三三	二、一五一	二、一五一	二、八〇九	二、八〇九	三、一七五	三、一七五
特別	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
共通	三、四	三、四	六三	六三	一〇七	一〇七	一三五	一三五
普通	九一八	九一八	一、二七五	一、二七五	一、四八四	一、四八四	一、五七三	一、五七三
道計	二、三四一	二、三四一	三、五九二	三、五九二	四、五三三	四、五三三	五、〇一六	五、〇一六
計								

種類別給水戸數

種類別	昭和十一年度		同十二年		同十三年		同十四年	
	現在	在	現在	在	現在	在	現在	在
普通	一、三三三	一、三三三	二、一五一	二、一五一	二、八〇九	二、八〇九	三、一七五	三、一七五
特別	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
共通	八〇	八〇	一五二	一五二	二六三	二六三	三三三	三三三
普通	九一八	九一八	一、二七五	一、二七五	一、四八四	一、四八四	一、五七三	一、五七三
道計	二、三四一	二、三四一	三、六八一	三、六八一	四、六八五	四、六八五	五、二九	五、二九
計								

種類別給水料及量水器使用料

種類別	昭和十一年度		同十二年		同十三年		同十四年	
	現在	在	現在	在	現在	在	現在	在
普通	四、二九三・三九	四、二九三・三九	二五、四九三・五五	二五、四九三・五五	三四、七五二・一二	三四、七五二・一二	九、八五七・四五	九、八五七・四五
特別	二、四・四五	二、四・四五	一、四一六・五五	一、四一六・五五	一、七八六・五九	一、七八六・五九	四八八・六八	四八八・六八
共通	六三・七七	六三・七七	七三三・七三	七三三・七三	一、二五七・七三	一、二五七・七三	三九〇・九三	三九〇・九三
普通	三、四三二・七七	三、四三二・七七	三三、〇七一・六三	三三、〇七一・六三	二六、九八八・四八	二六、九八八・四八	七、九三四・一五	七、九三四・一五
道計	八、六四九・六九	八、六四九・六九	五五、三六三・三三	五五、三六三・三三	七〇、一五三・九四	七〇、一五三・九四	二〇、一九四・八一	二〇、一九四・八一
計								

三、送水量

浄水場に於ける昭和十二年一月以來の送水量左の如し。

送水量

(單位立方米)

月別	昭和十一年		同十二年		同十三年		同十四年	
	最大	最小	最大	最小	最大	最小	最大	最小
一月	二、四八四	一、七五四	二、三三九	一、八一五	三、五二〇	一、七六〇	二、八三九	一、一七五
二月	二、四八四	一、七五四	二、三三九	一、八一五	三、五二〇	一、七六〇	二、八三九	一、一七五
三月	五、〇九二	二、四九二	四、五〇〇	一、六四三	三、〇六〇	一、一〇四	二、五七九	一、三〇・七三
四月	三、八七三	三、五五五	四、五〇〇	一、六四三	三、〇六〇	一、一〇四	二、五七九	一、三〇・七三
五月	六、四一三	三、三二五	七、一六	二、〇六九	三、八二〇	二、四一七	三、一三三	一、五〇・九三
計								

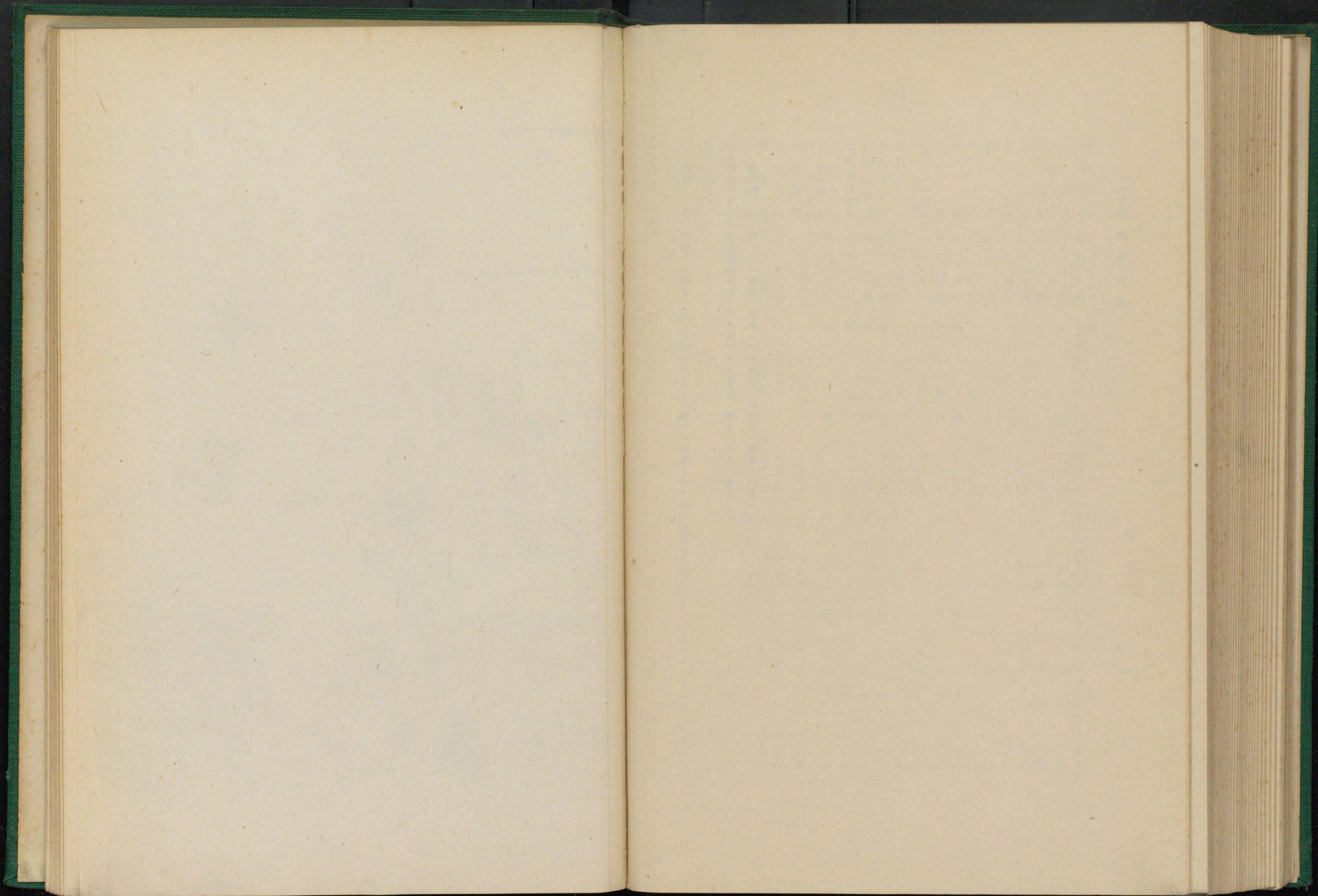
第二節 給水状況

探酌日時	天候		氣温	水温	濁度	色度	臭度	反臭	水素イオン濃度 (PH)	鹽素イオン	硫酸イオン	硝酸性窒素	亞硝酸性窒素	アモニア素	ヤン素	過マンガン酸加量	里消費量	蒸發残渣	總硬度	一般細菌數	遠藤赤變菌數	備考	
	前日	當日																					
七月二十五日 午前十時	晴	晴	二八・二	一五・七	〇	〇	ナ	微弱酸性	六・一	三・二八	痕跡	檢出セズ	同	同	同	同	同	同	七〇・四	一・五〇	檢出セズ	同	濁度……水一立中ニ白陶土一匙ヲ混和セシトキニ呈スル濁ヲ以テ一度トス
同 午前十時十五分	晴	晴	二八・九	一六・三	〇	〇	〇	同上	六・二	三・二八	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	七〇・〇	一・四八	同上	同	
同 午前八時四十分	晴	晴	二七・四	一九・四	〇	〇	〇	同上	六・二	三・二八	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	七二・四	一・四二	同上	同	
同 午前八時五十分	晴	晴	二七・一	二〇・二	〇	〇	〇	同上	六・一	三・二八	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	七二・二	一・四二	檢出セズ	同	
同 午前九時十分	晴	晴	二七・五	一九・八	〇	〇	〇	同上	六・一	三・二八	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	七二・八	一・四二	同上	同	
同 午前九時二十五分	晴	晴	二七・五	二〇・五	〇	〇	〇	同上	六・一	三・二八	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	七二・八	一・四二	同上	同	

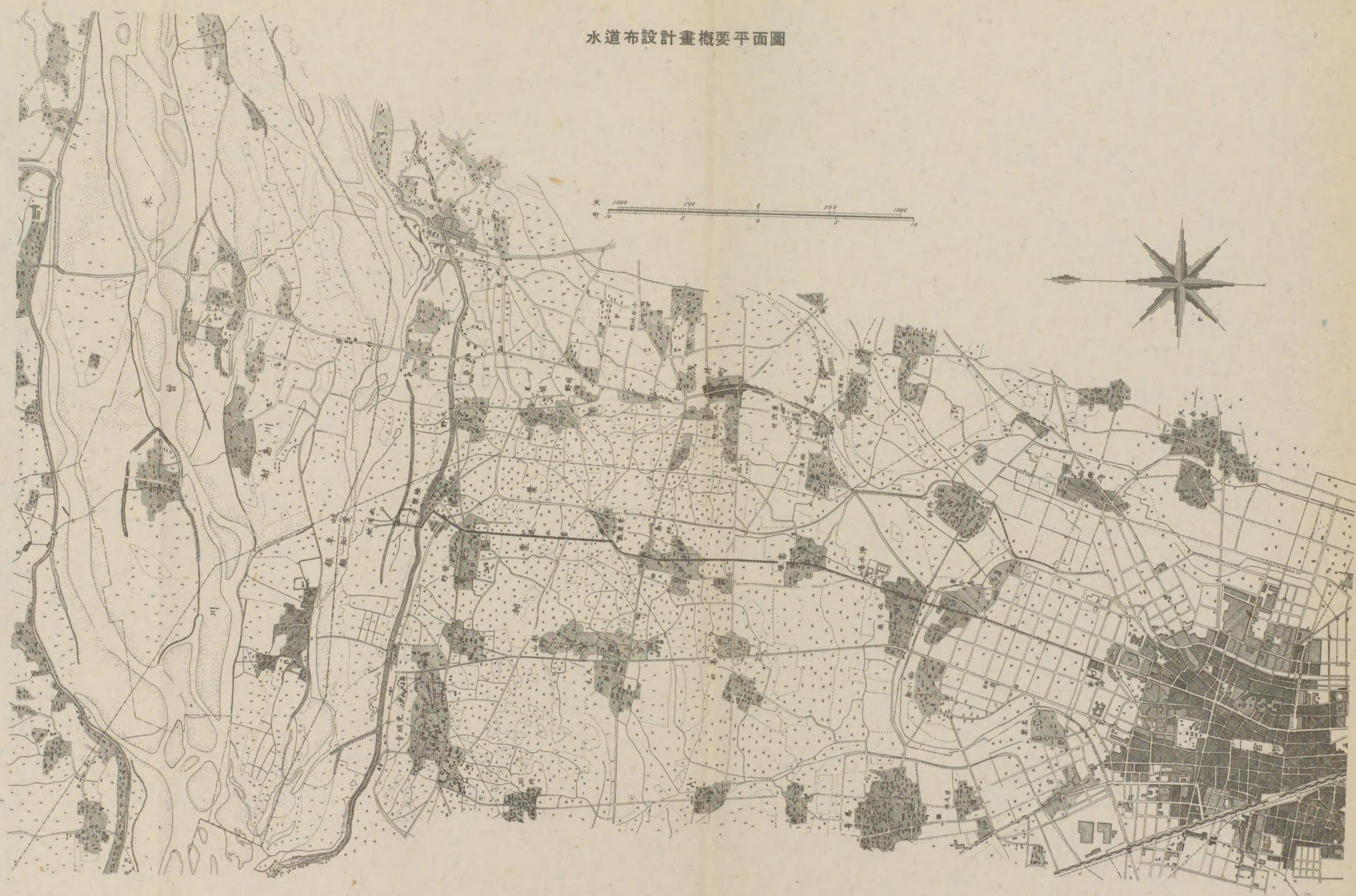
色度……〇、〇〇二五%ピスマスクブラウン溶液一立方糎ノ水ヲ以テ稀釋シ全量ヲ一立トナシタルトキニ呈スル色相ヲ一度トス

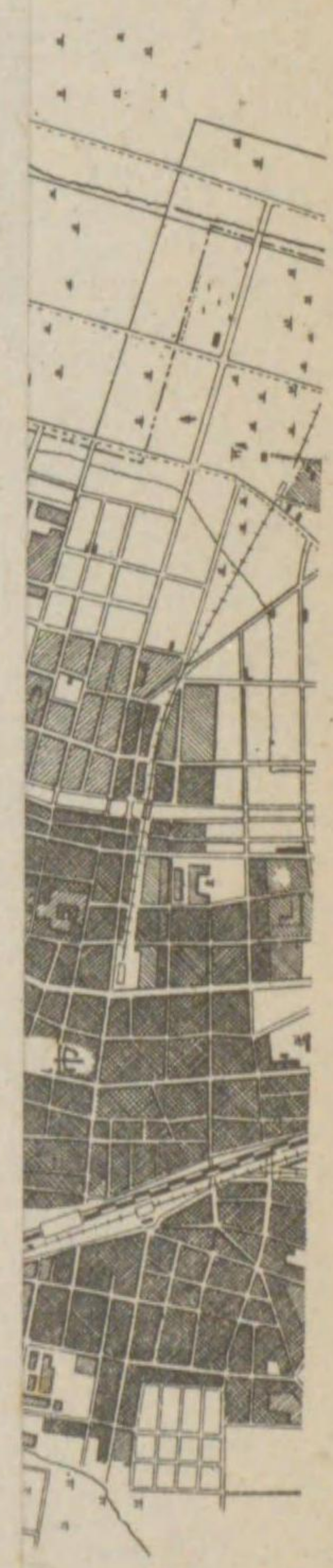
鹽素イオン以下蒸發残渣迄ノ項ニ掲ゲタル數值ハ檢水一立中ノ匙ナリ

細菌數ノ項ニ掲ゲタル數值ハ檢水一立方糎中ニ存在セル細菌ノ箇數ヲ示ス

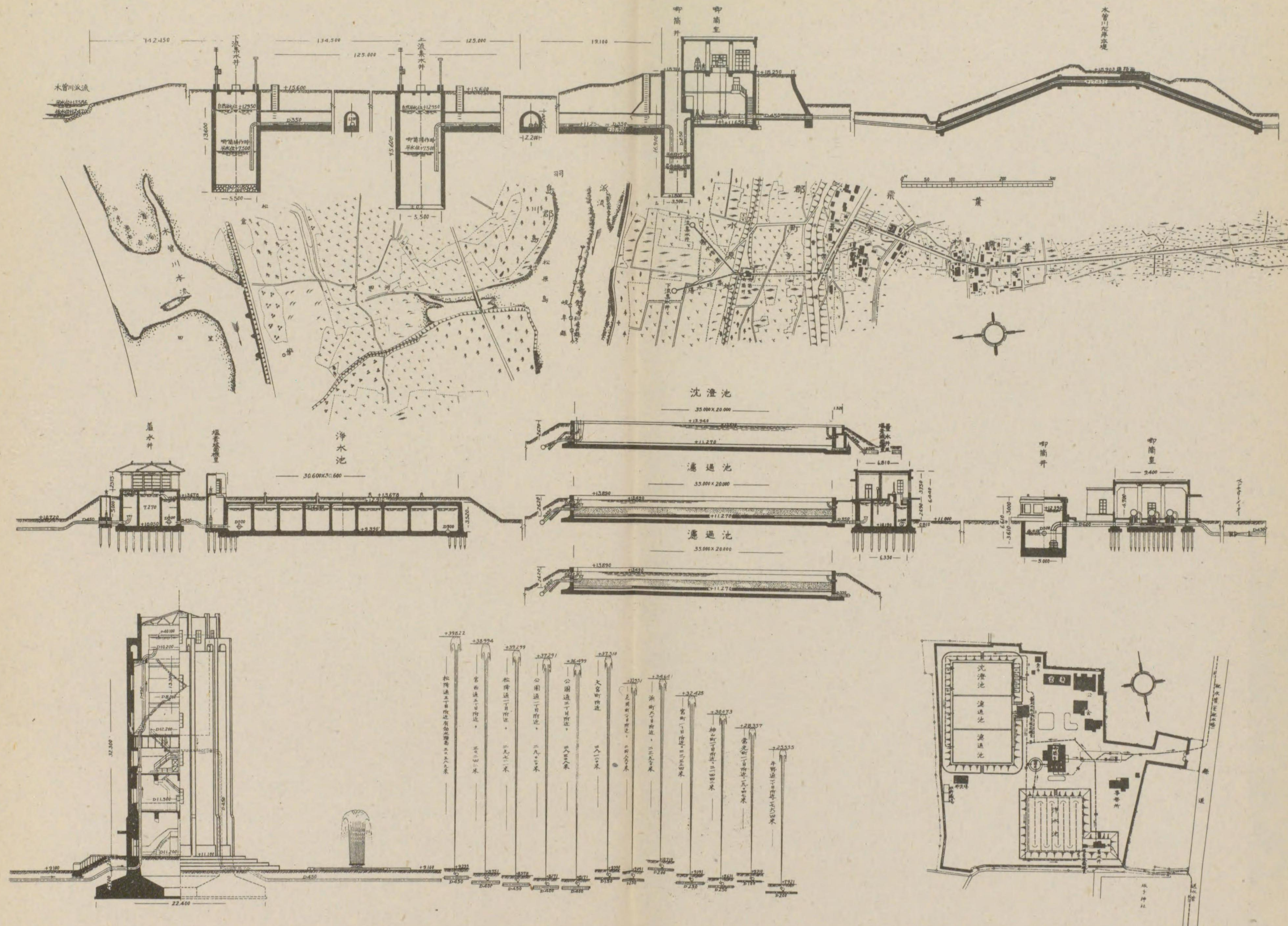


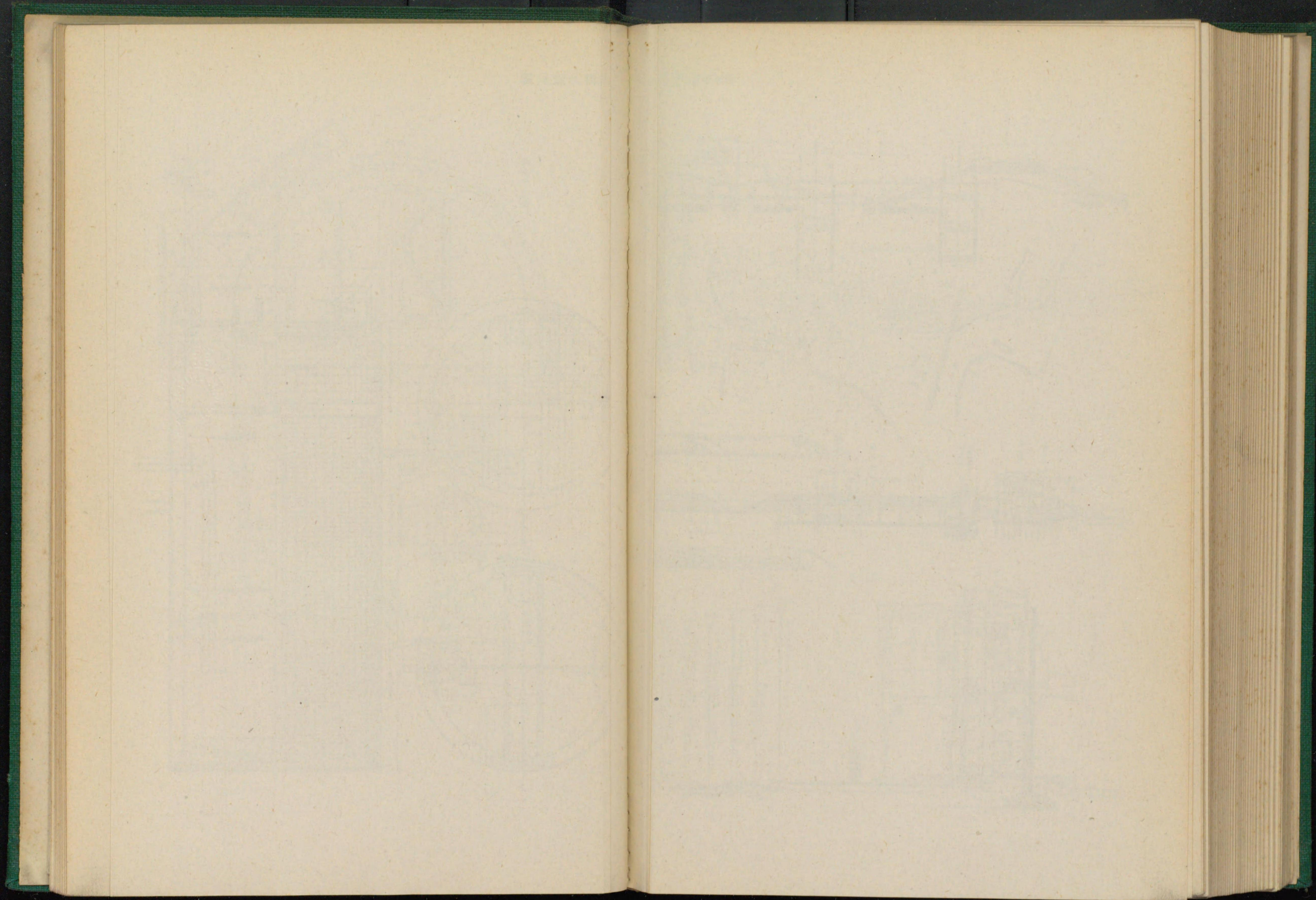
水道布設計畫概要平面圖



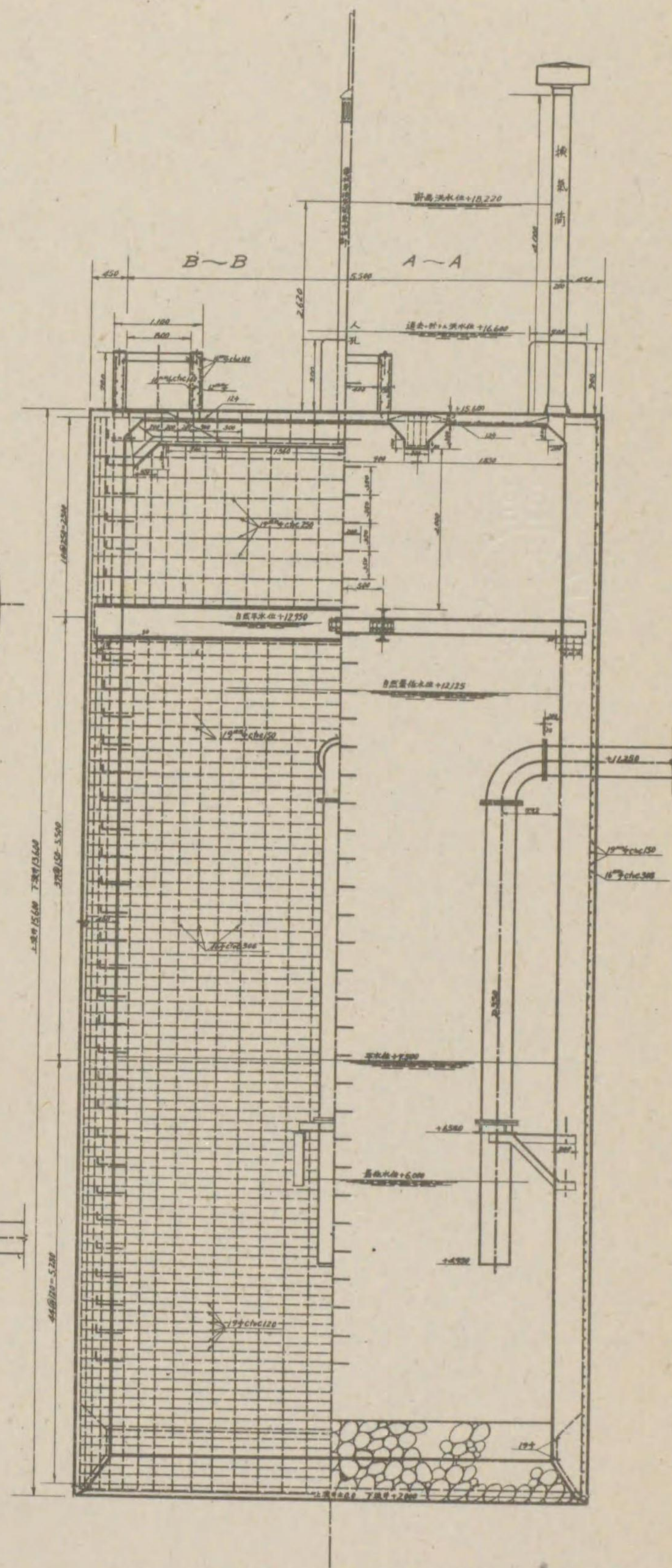
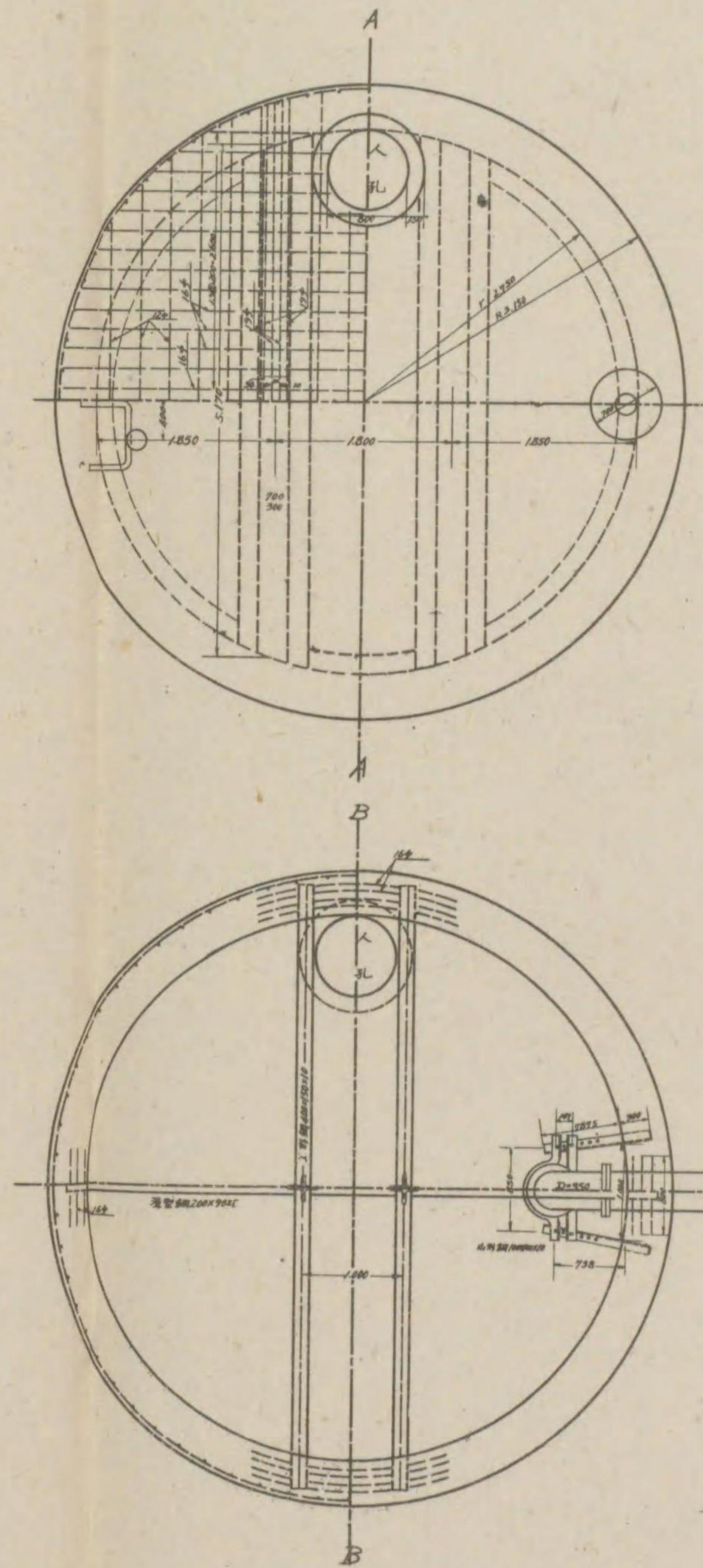
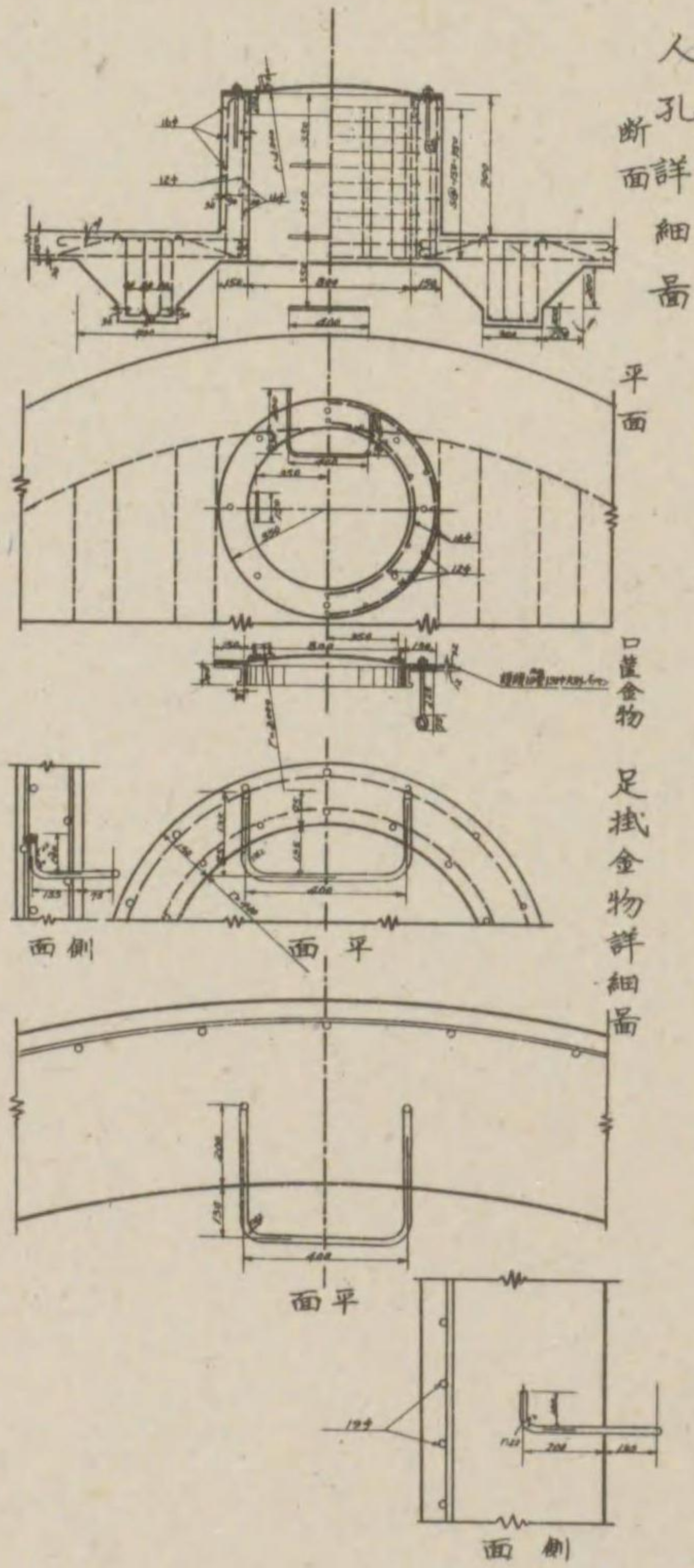
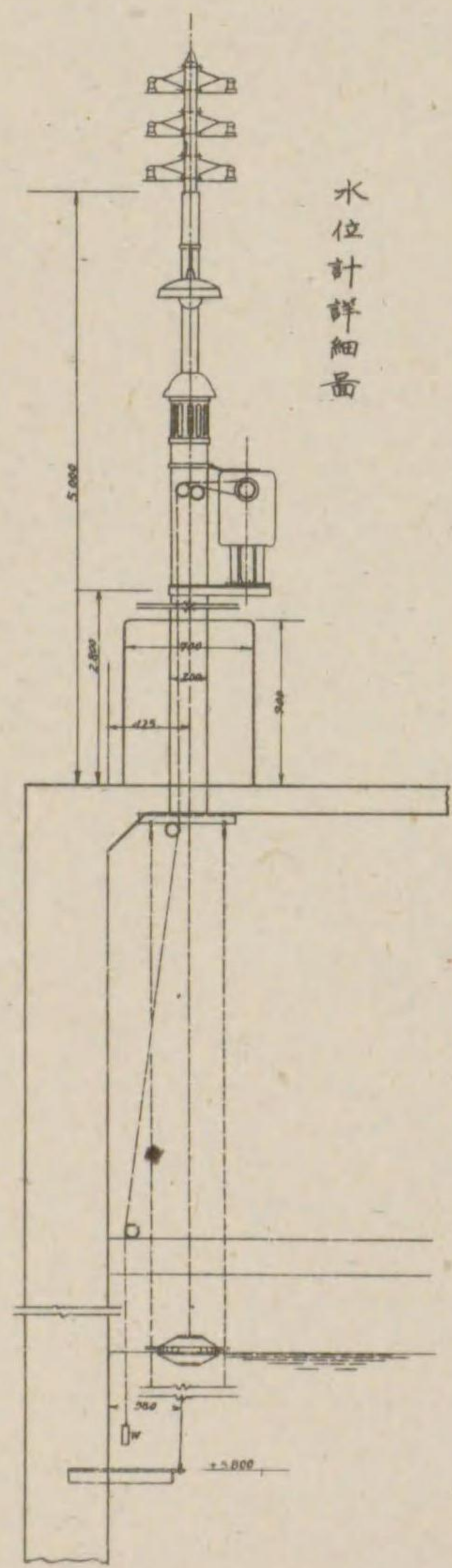
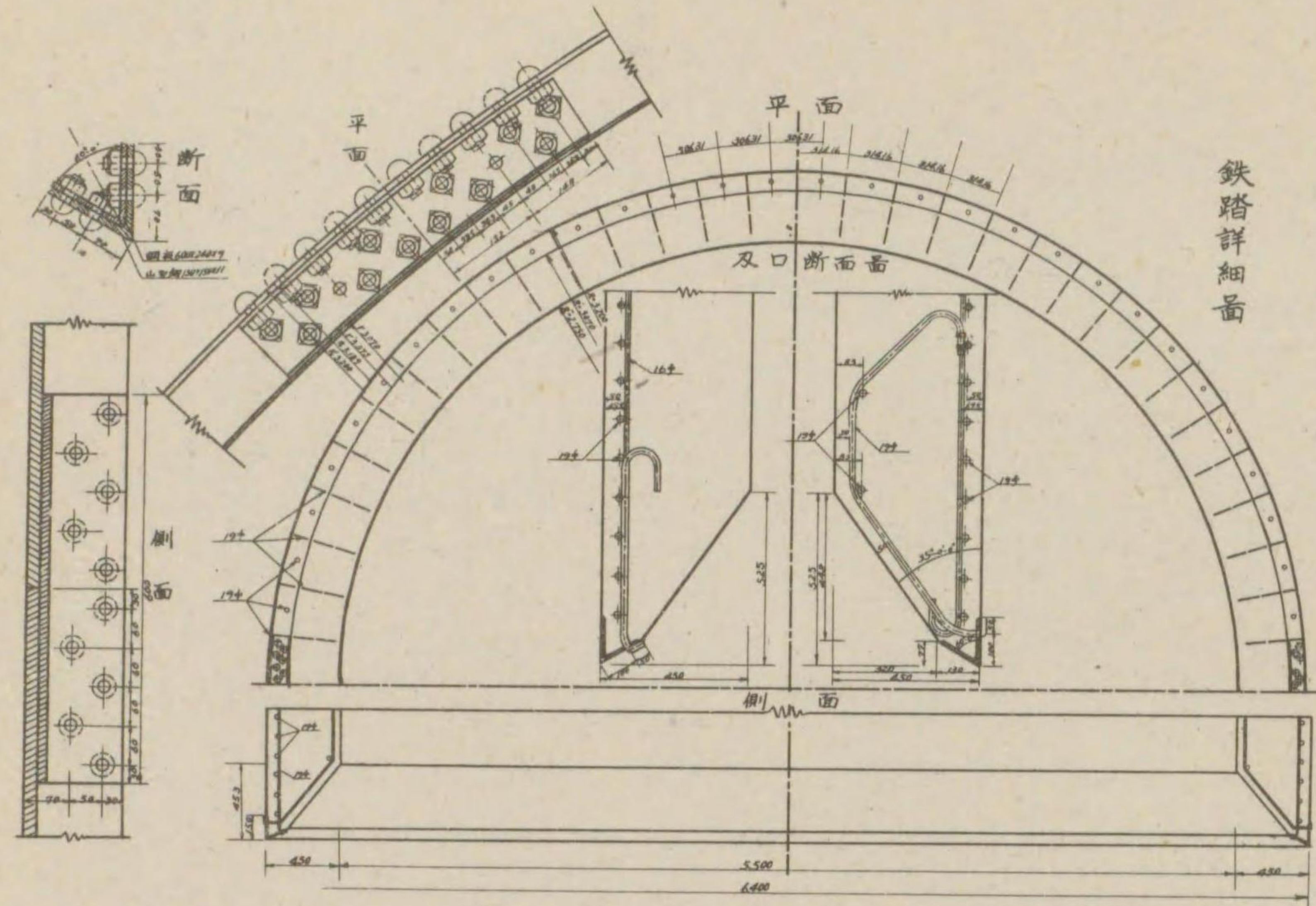


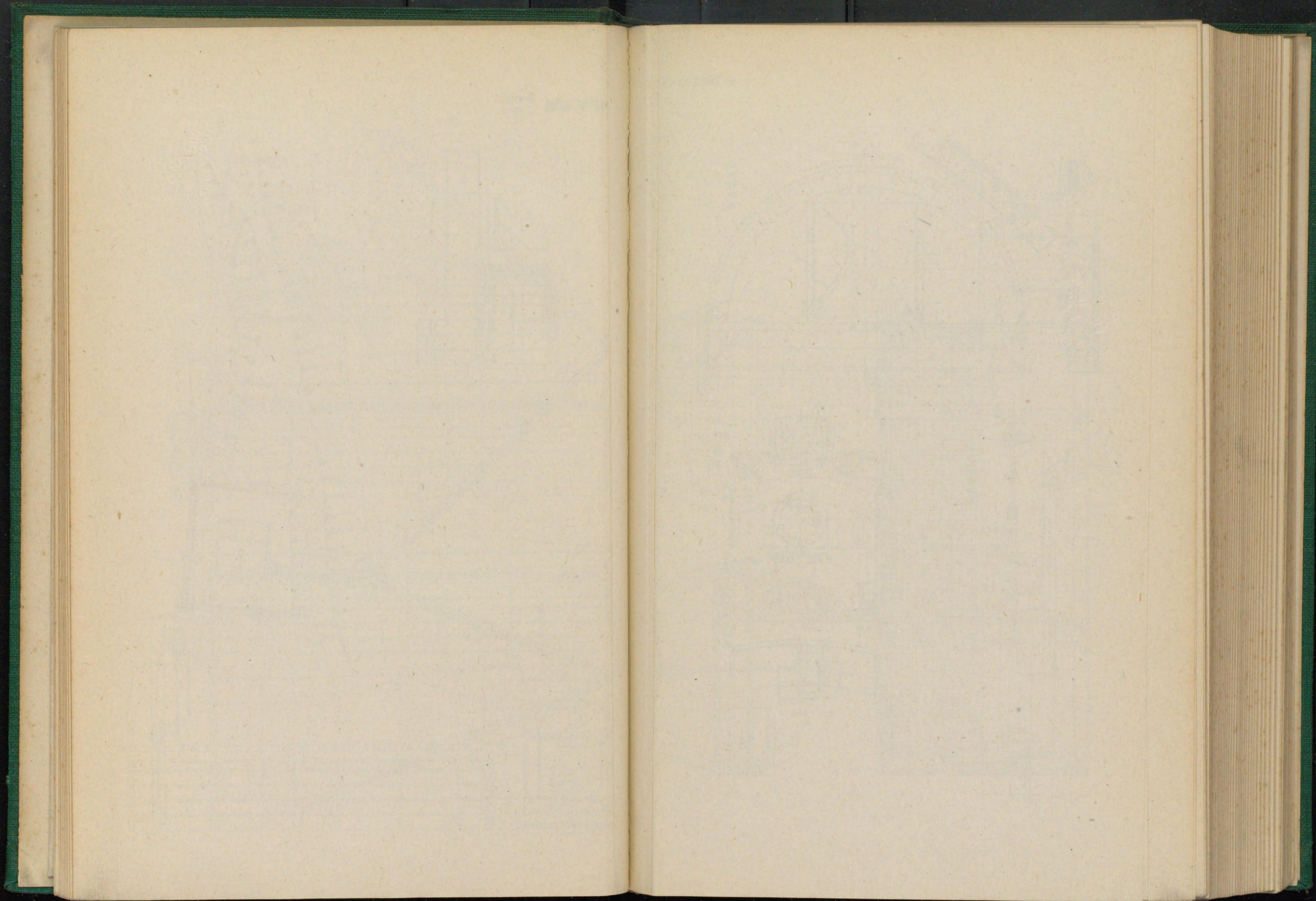
水道布設計畫概要圖



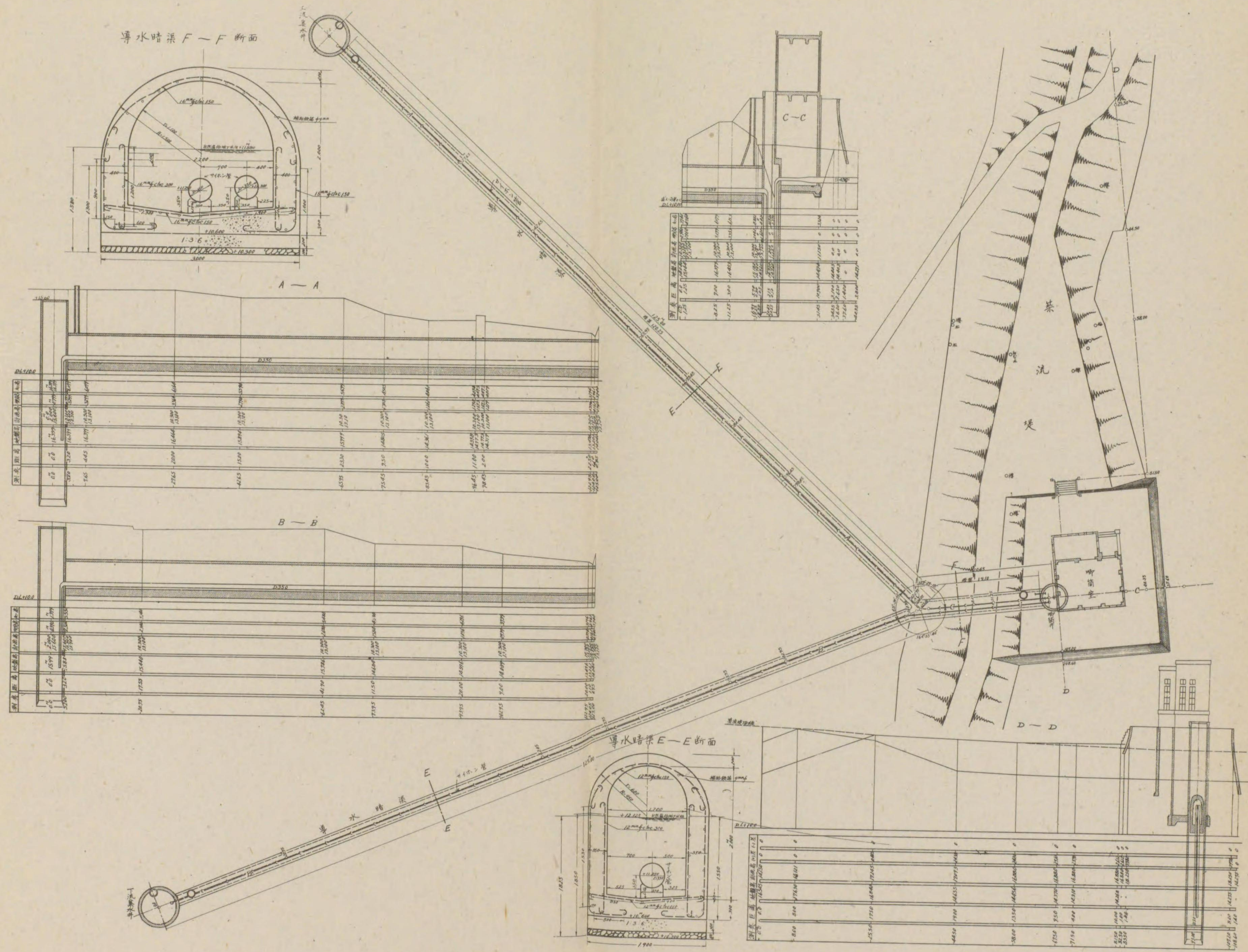


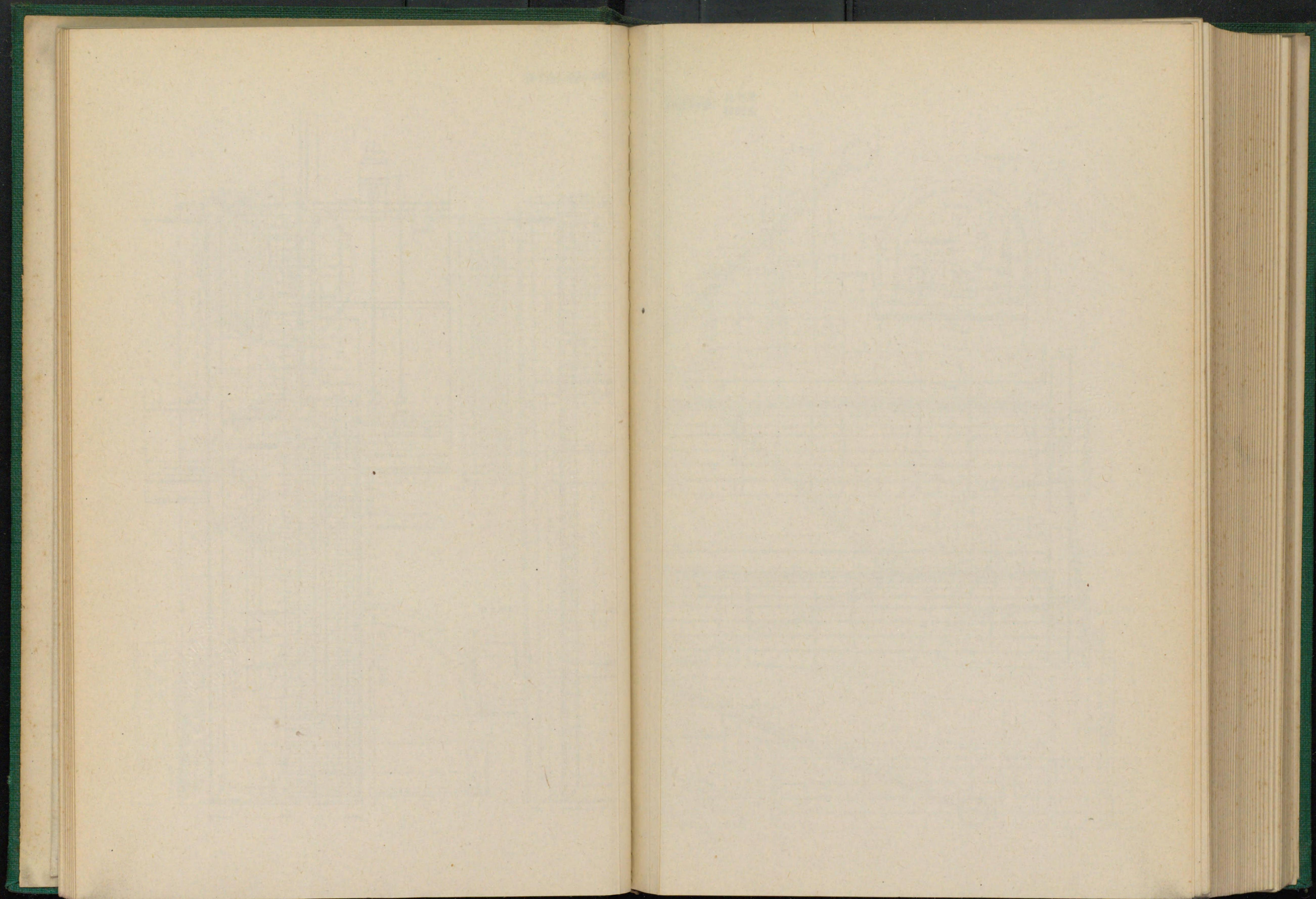
集水井構造圖



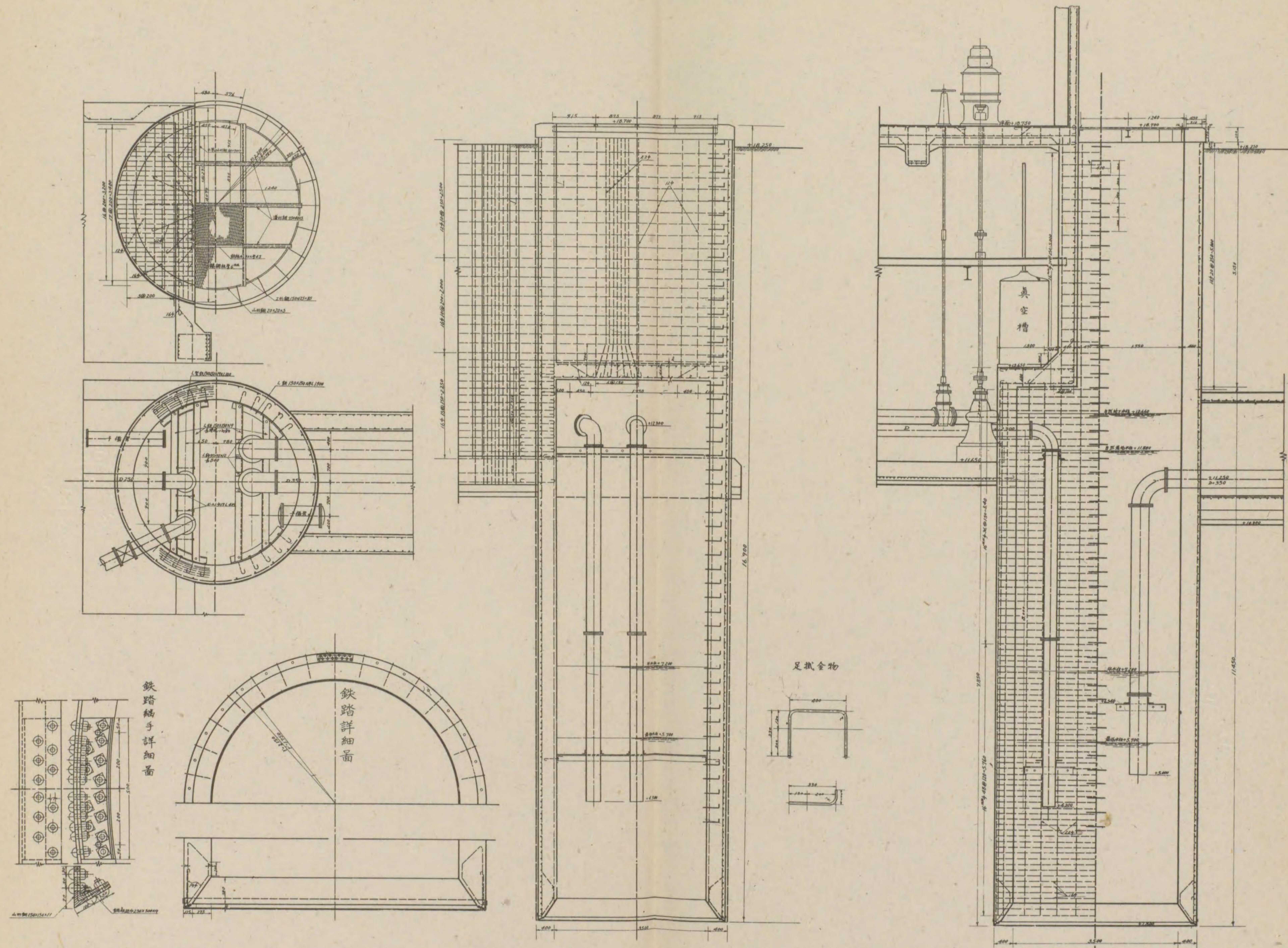


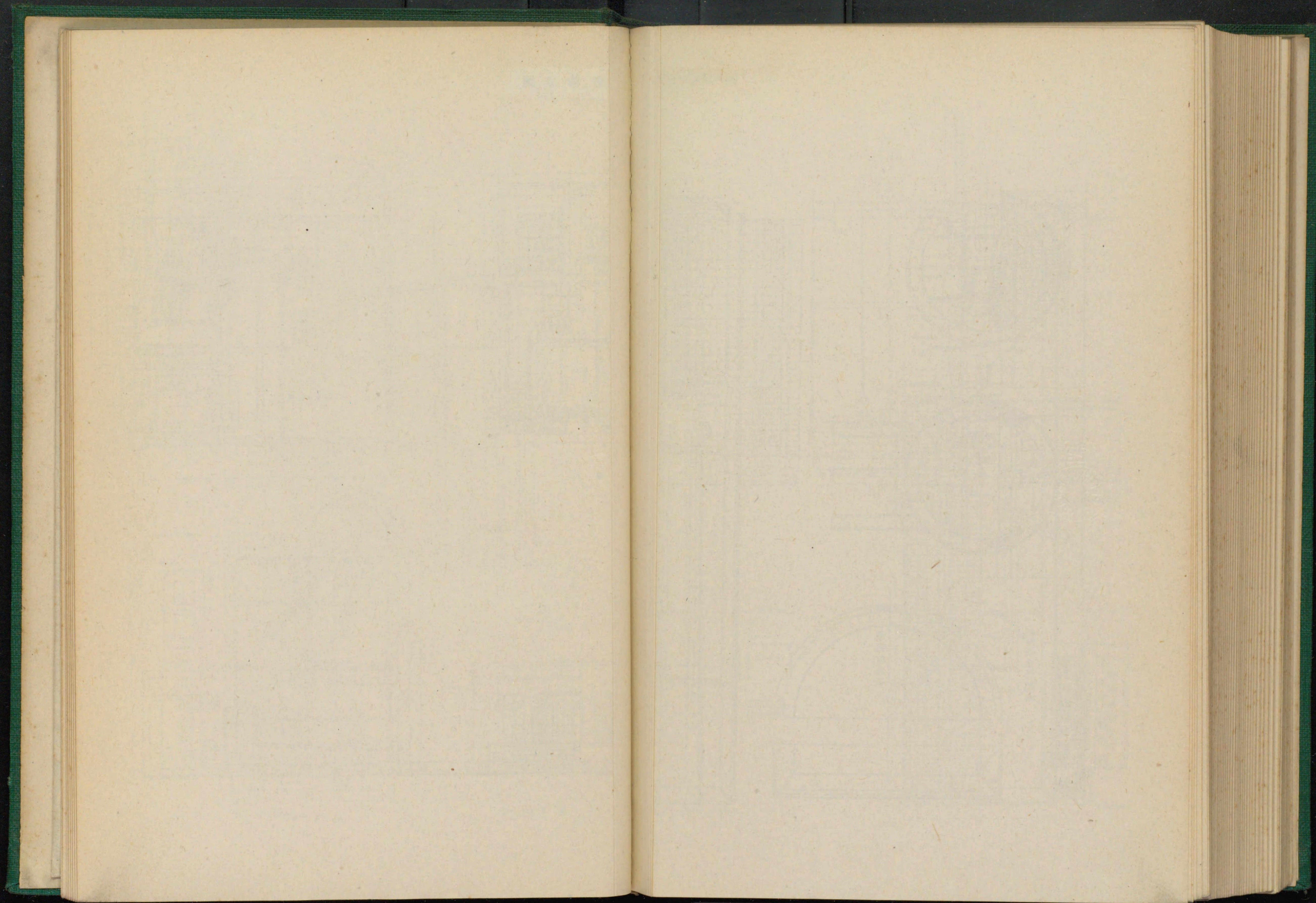
集水井 聯絡導水管平面圖



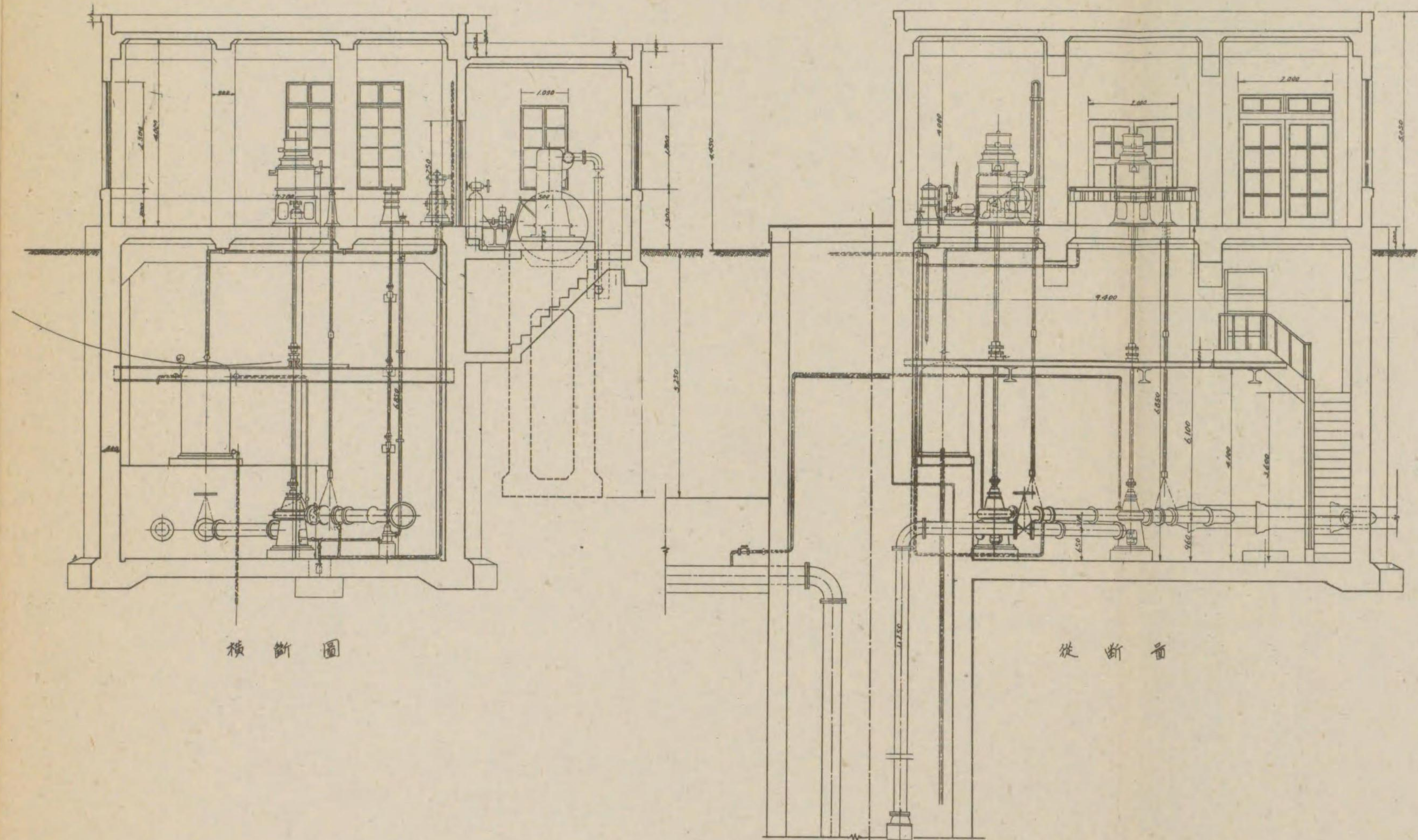


水源唧筒井構造圖



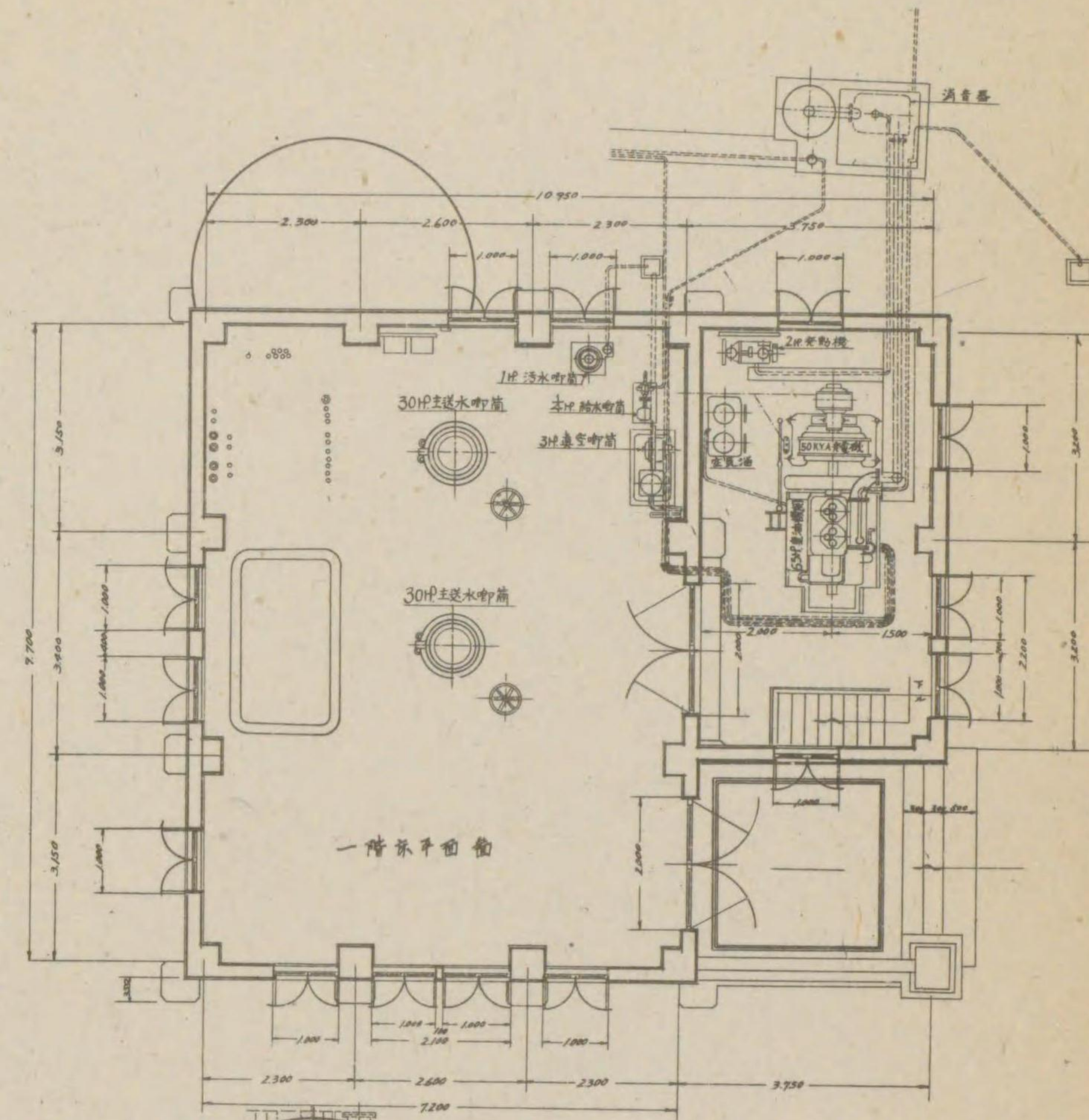


水源唧筒室構造圖

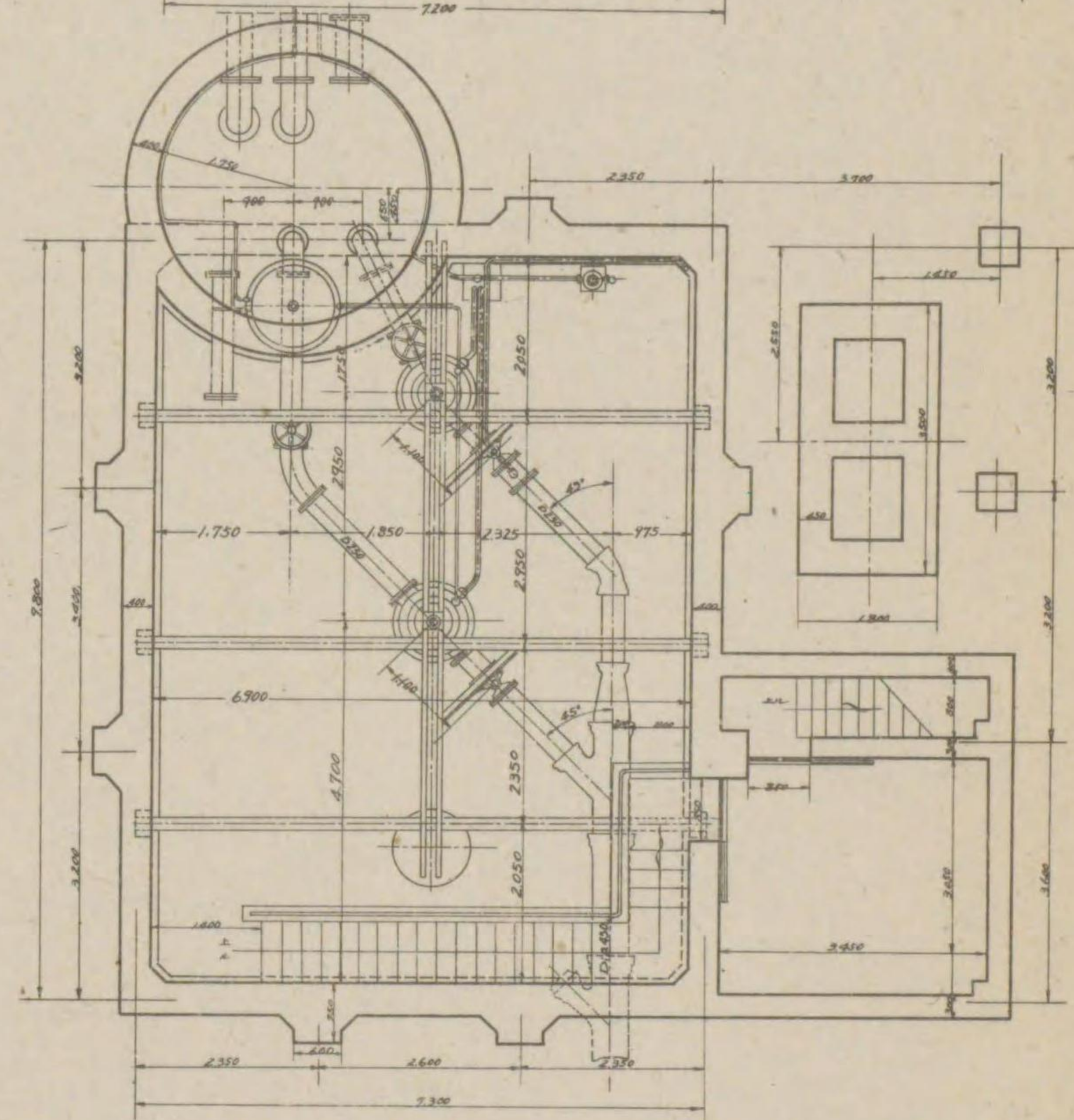


橫斷圖

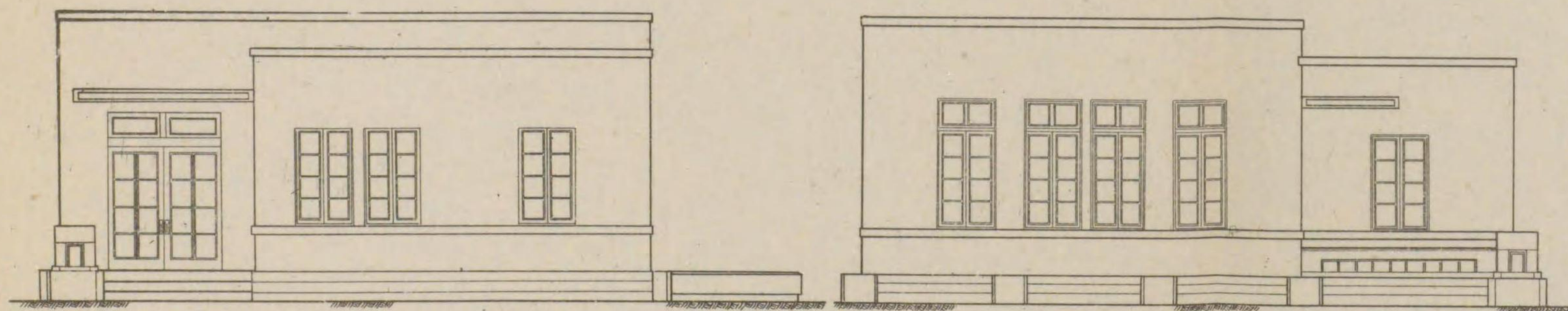
縱斷圖



一階平面圖

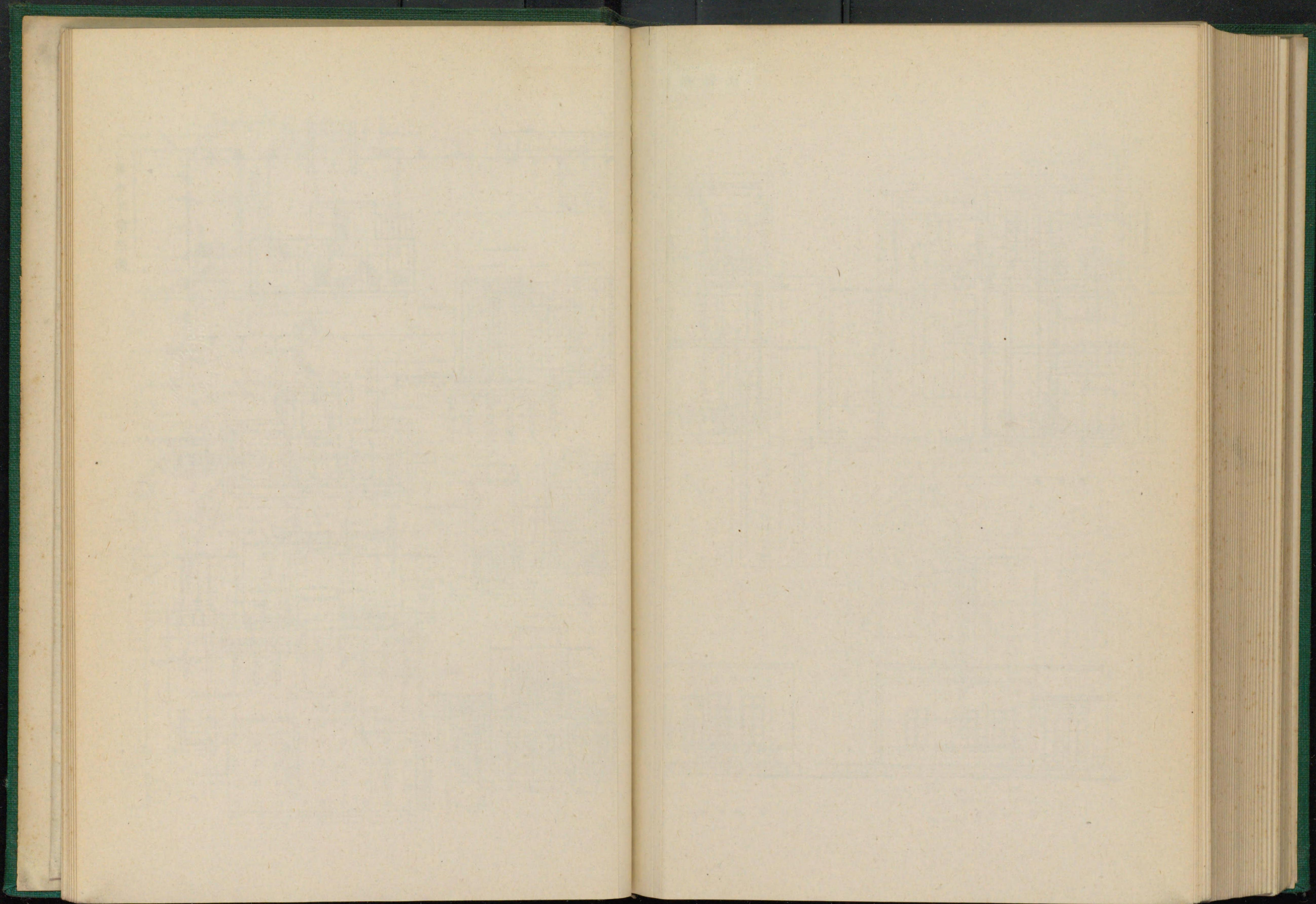


地下室平面圖

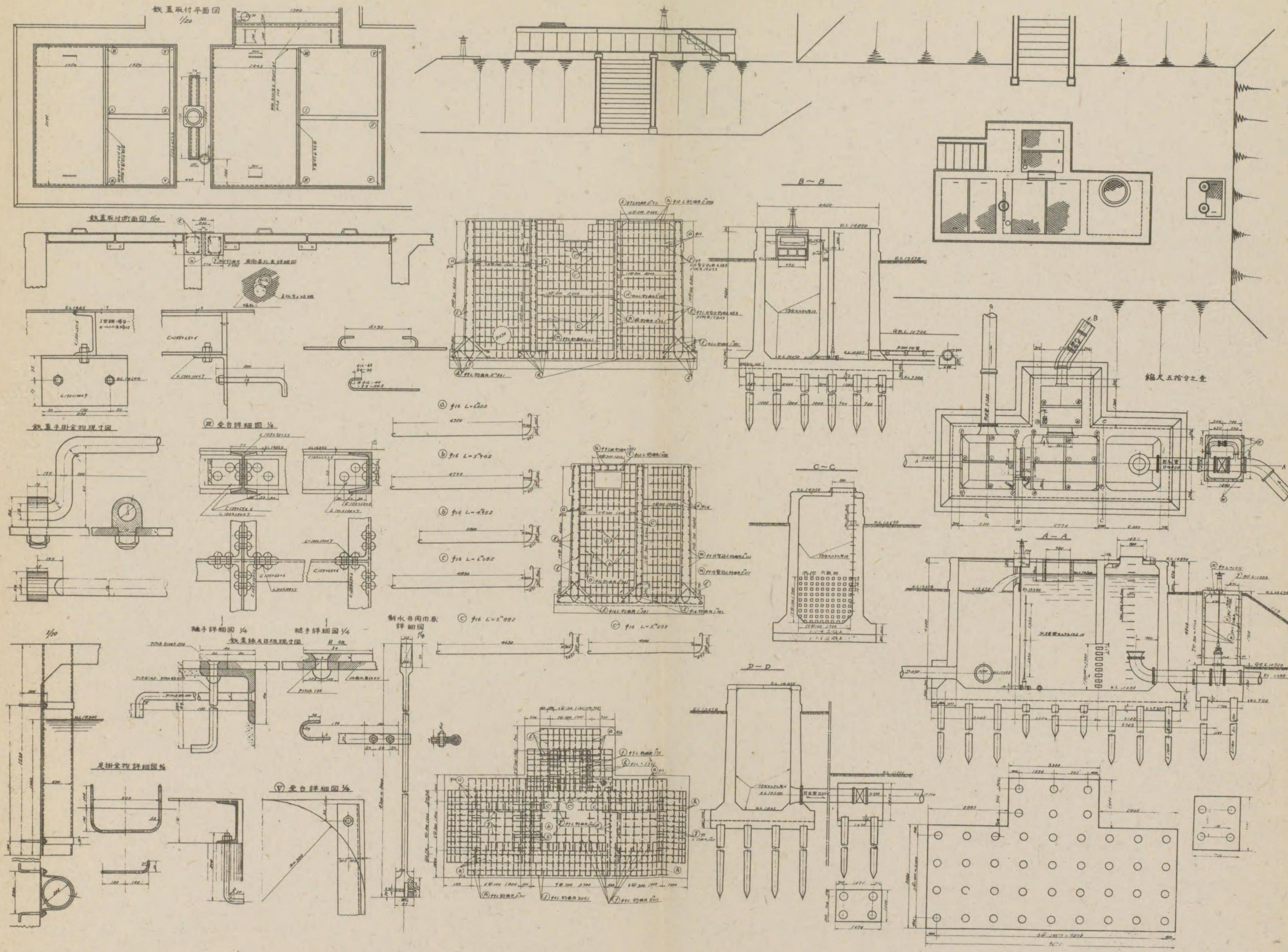


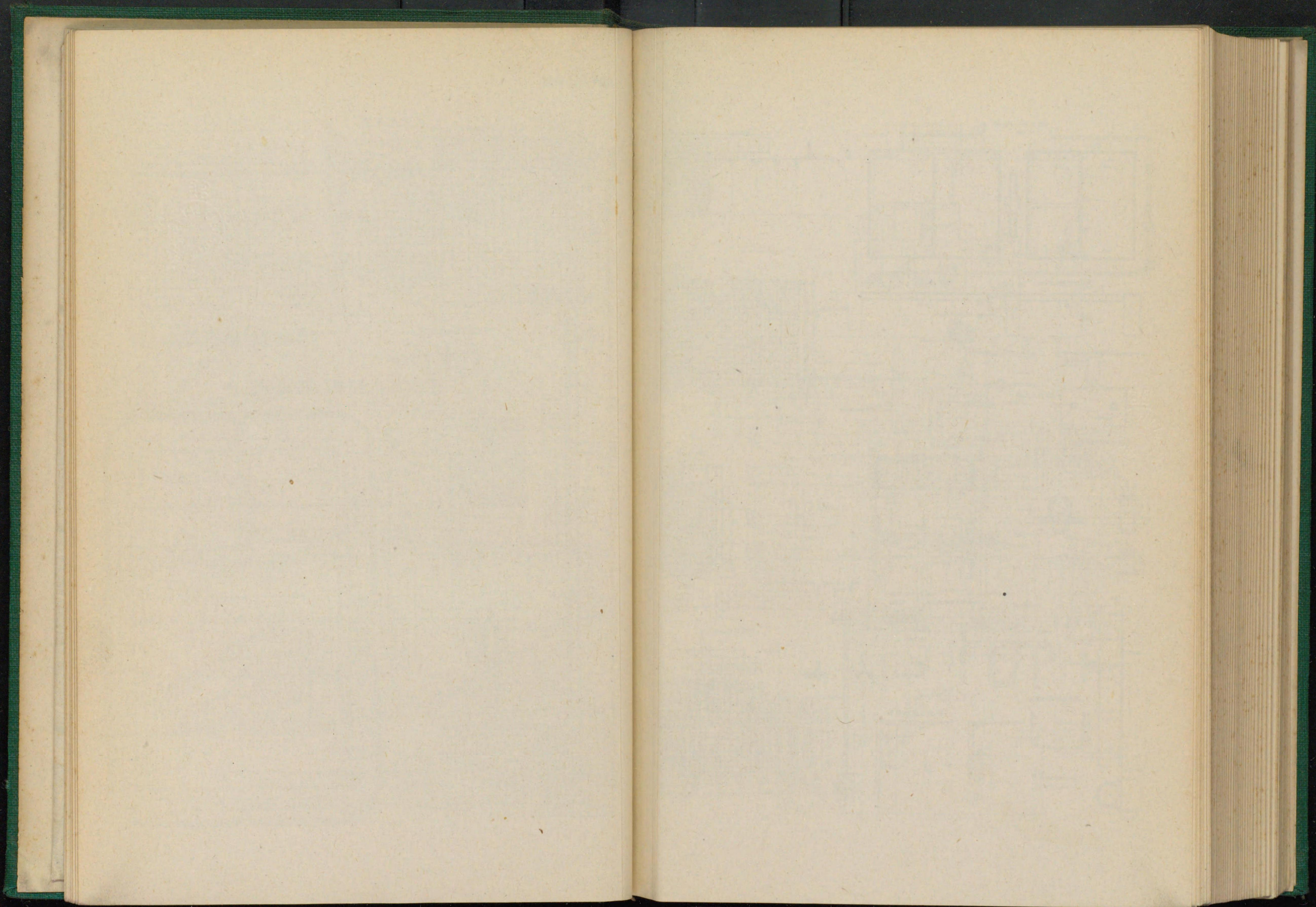
東正面圖

南側面圖

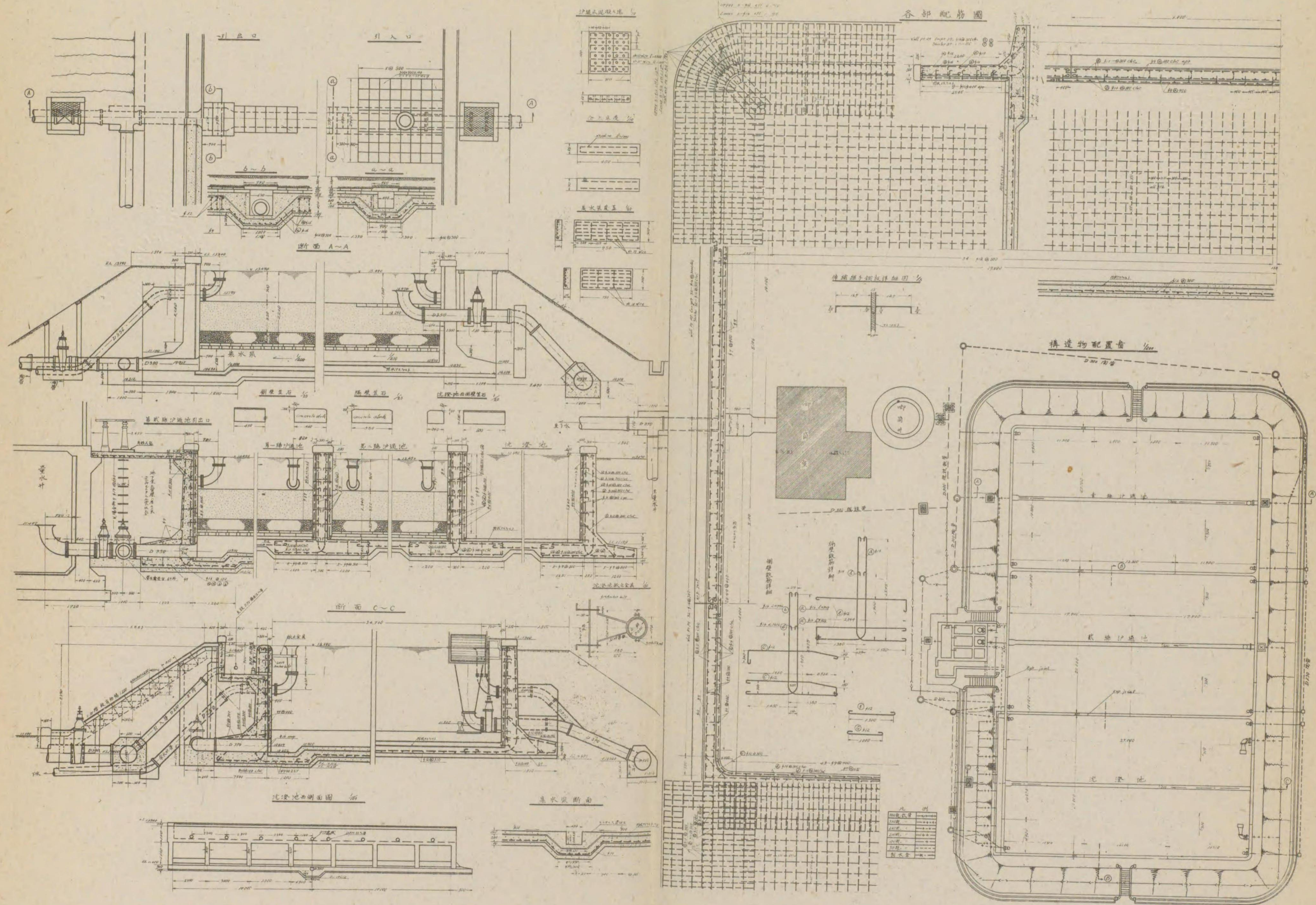


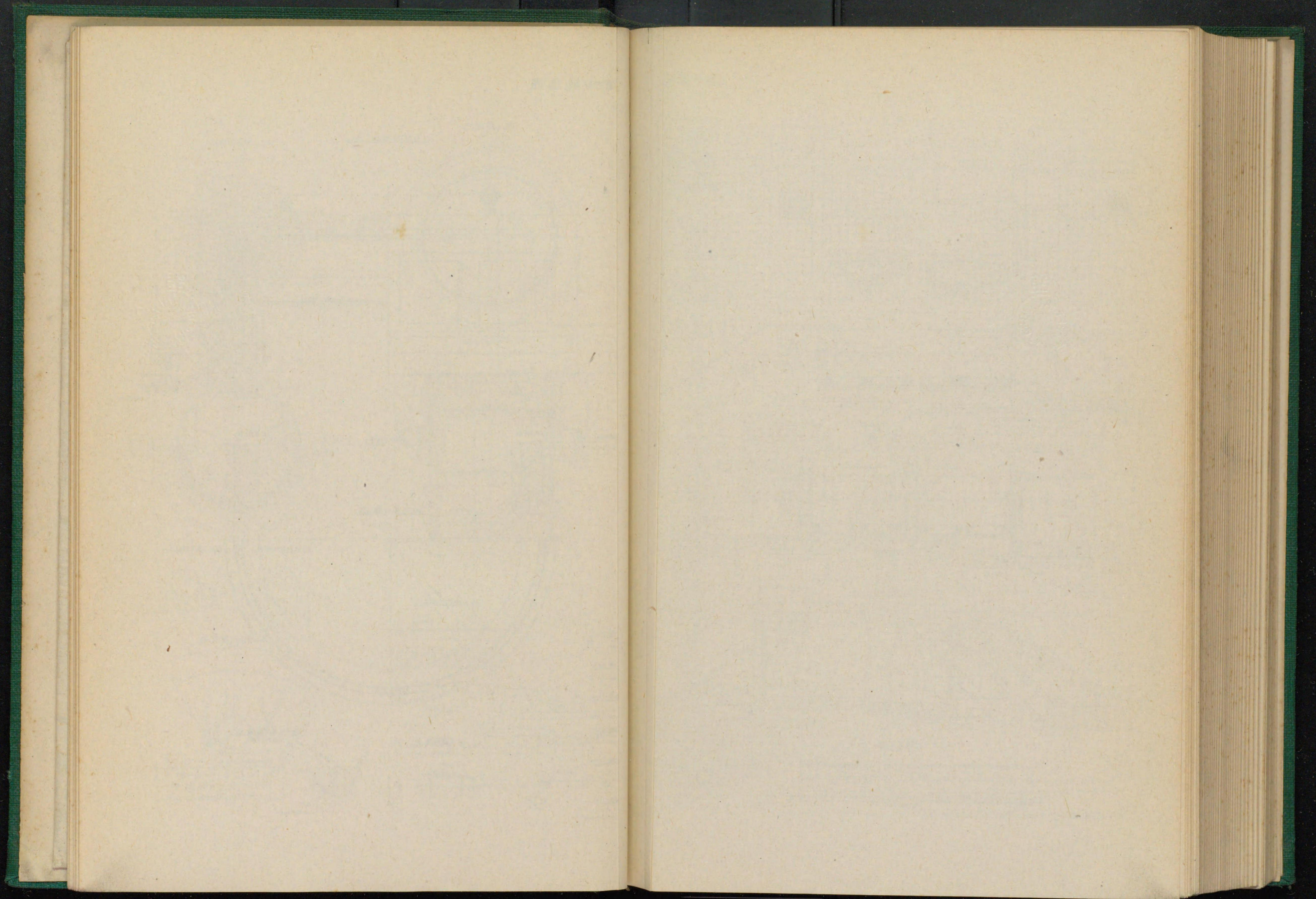
着水井構造圖



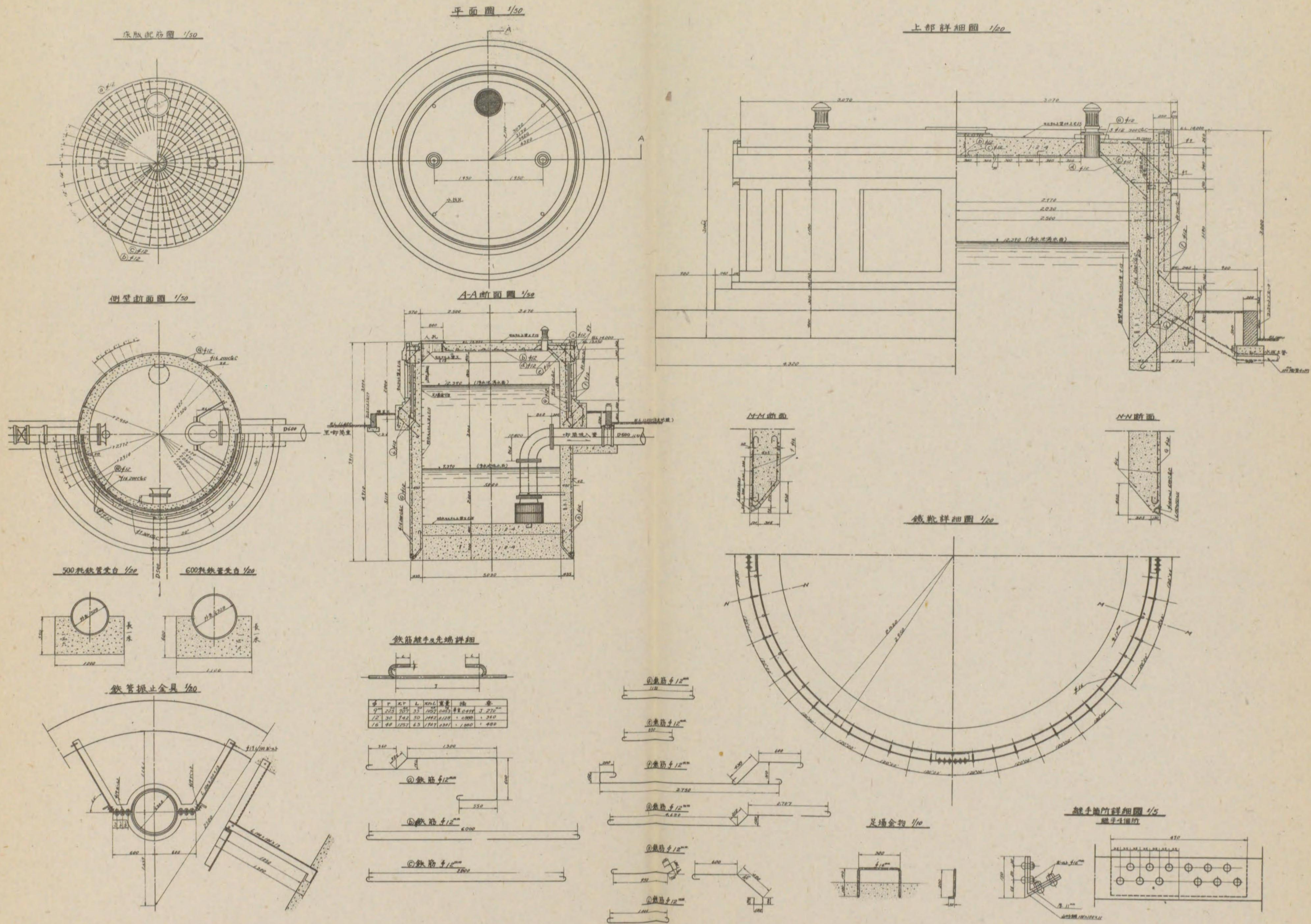


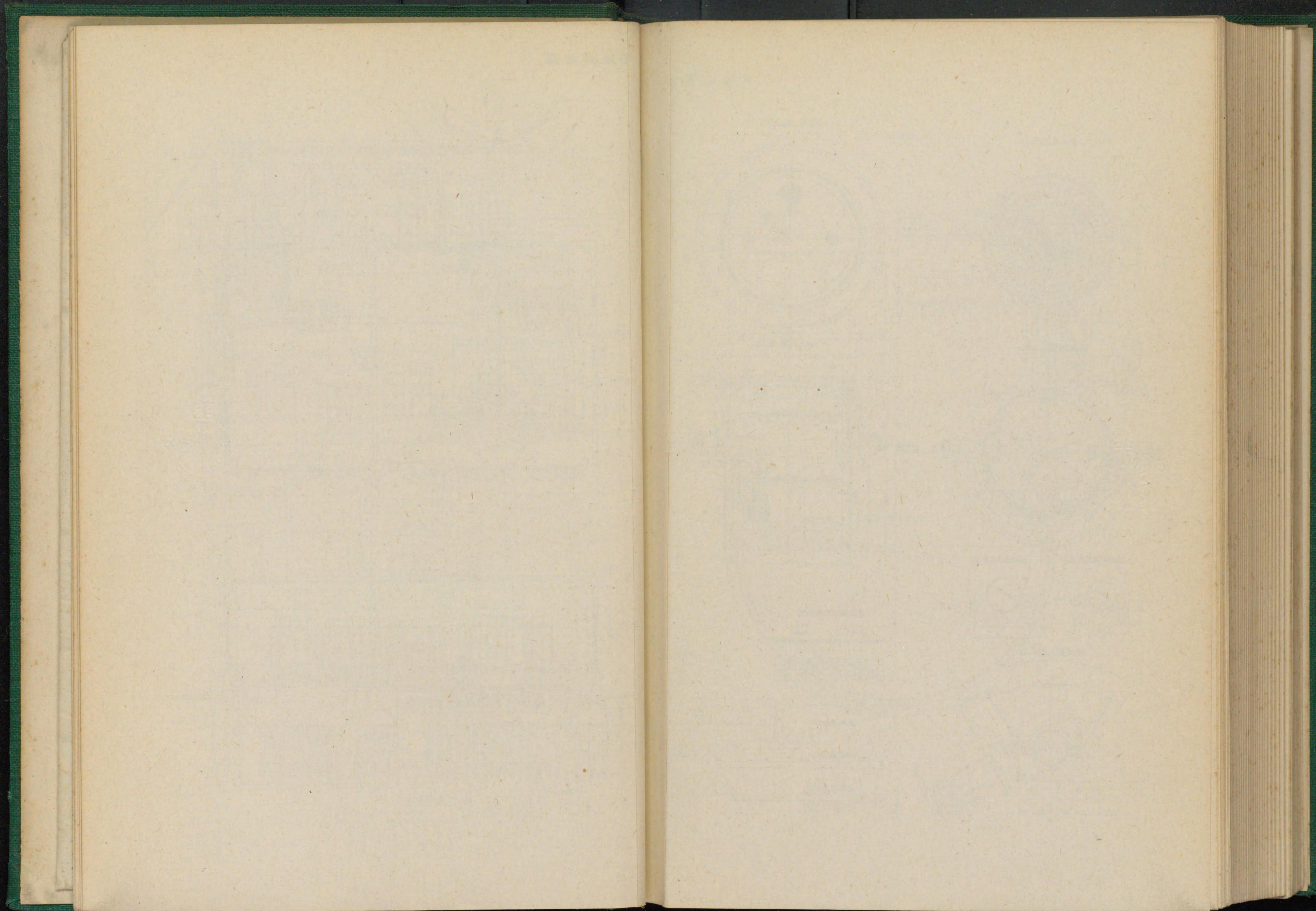
濾過池構造圖



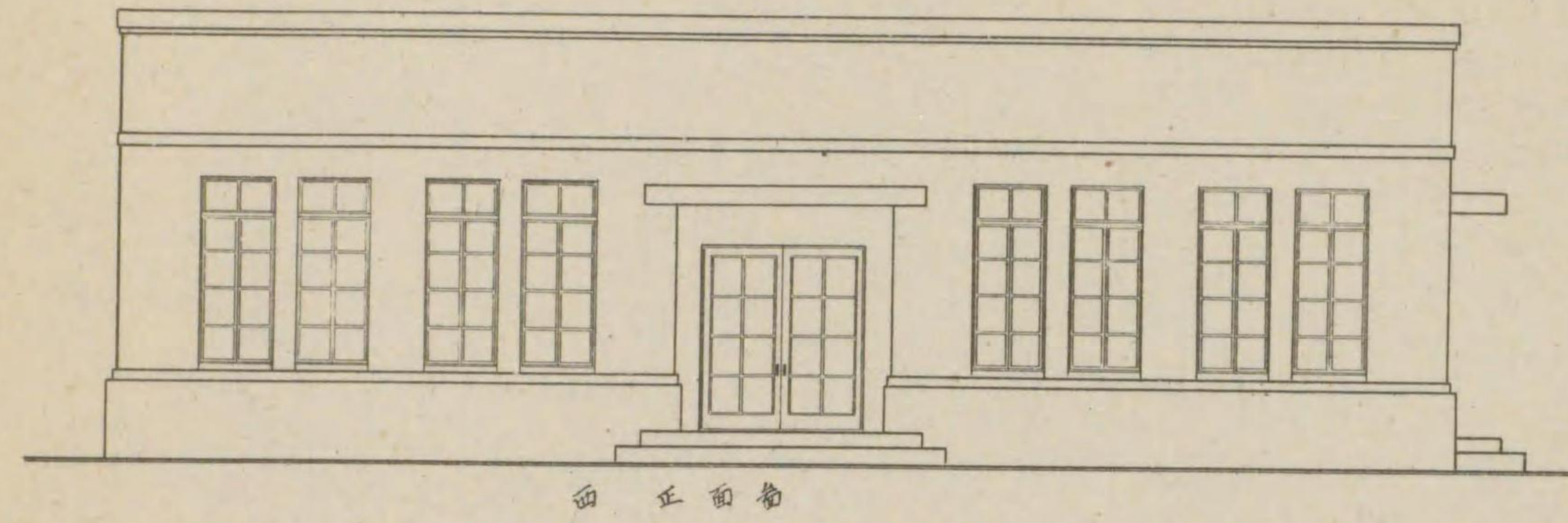


淨水場唧筒井構造圖

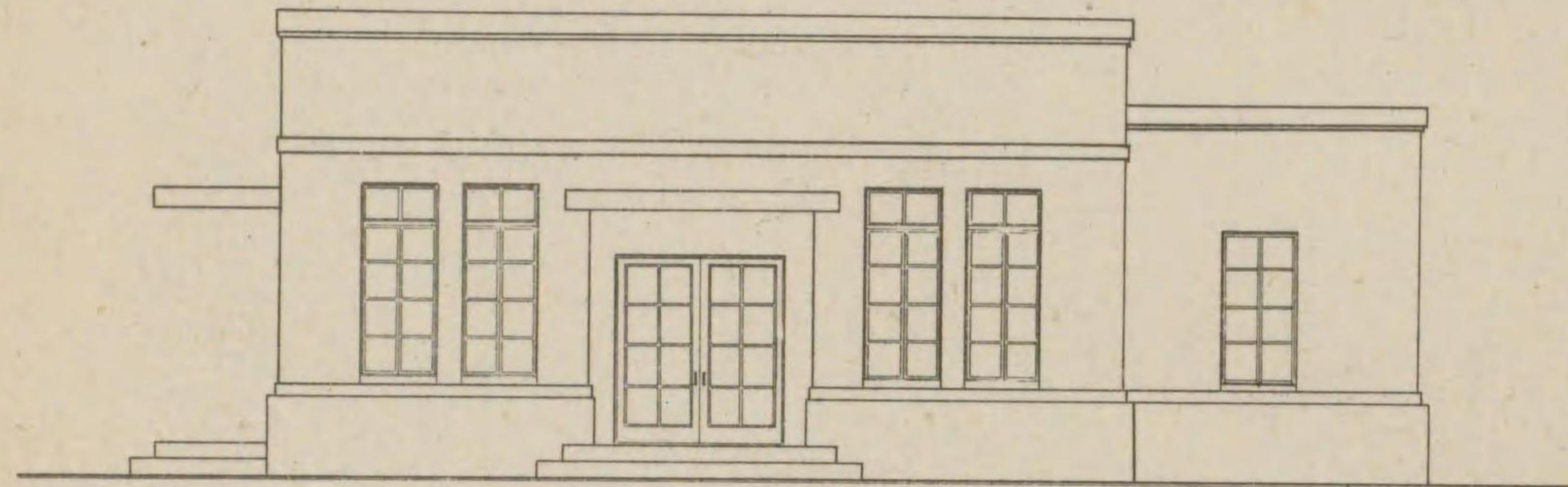




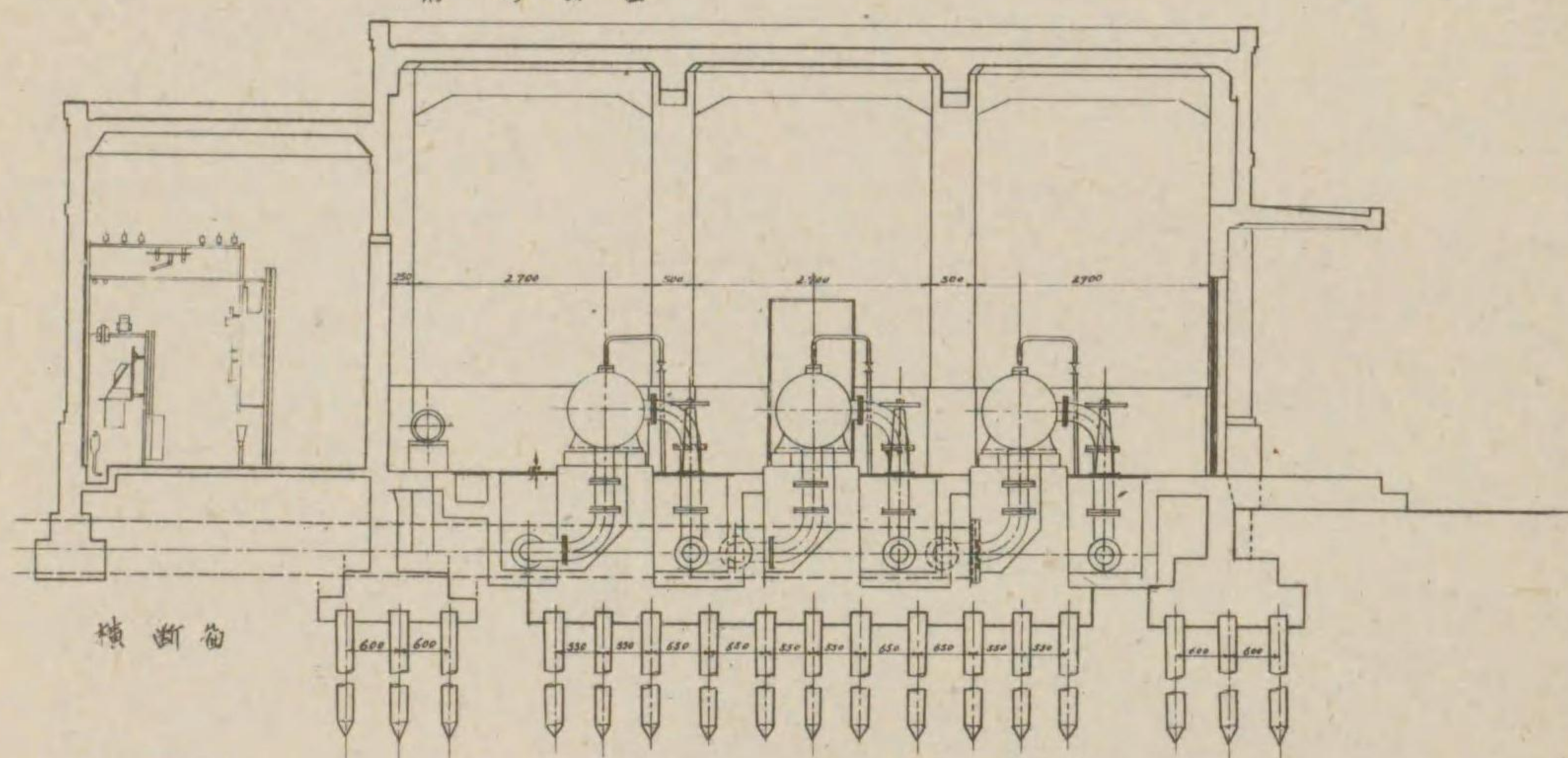
淨水場唧筒室構造圖



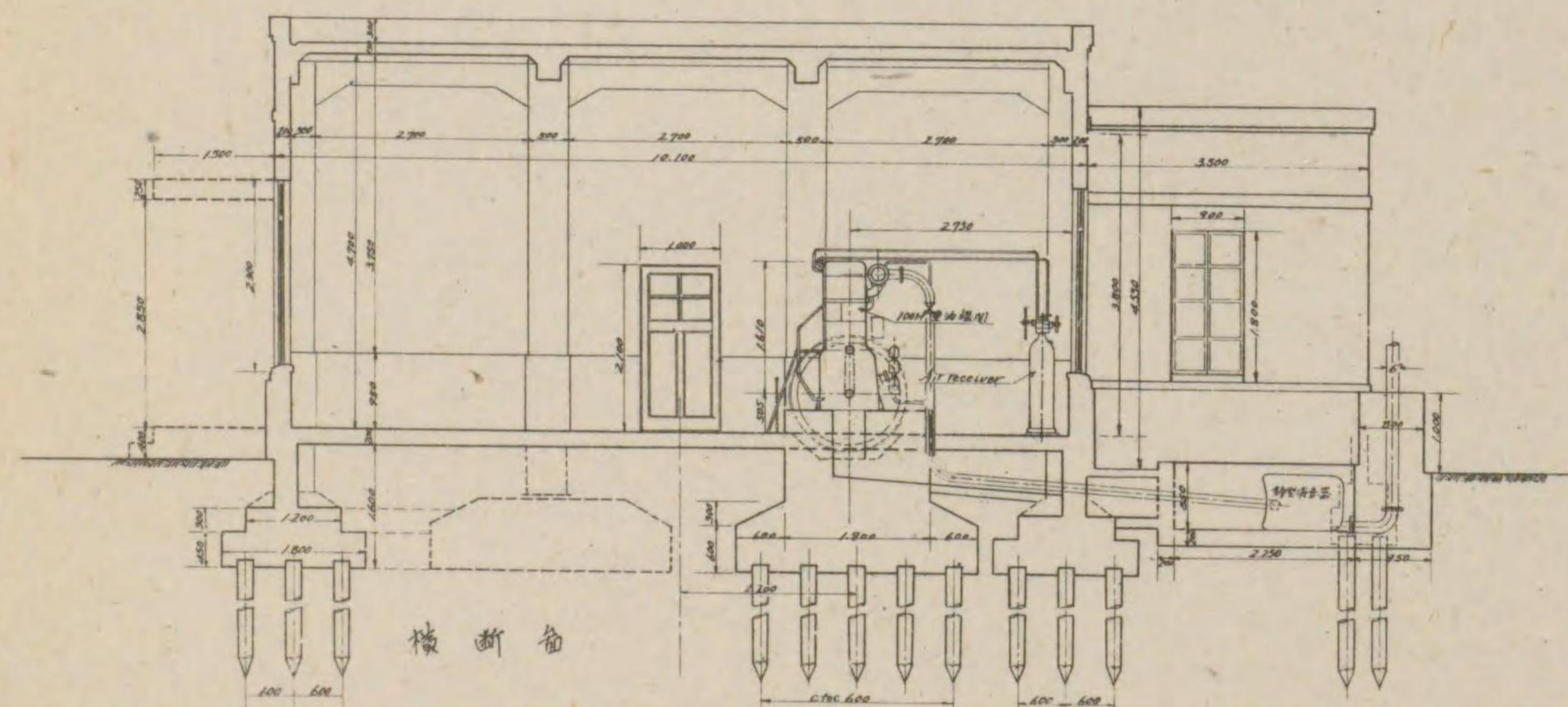
西正面圖



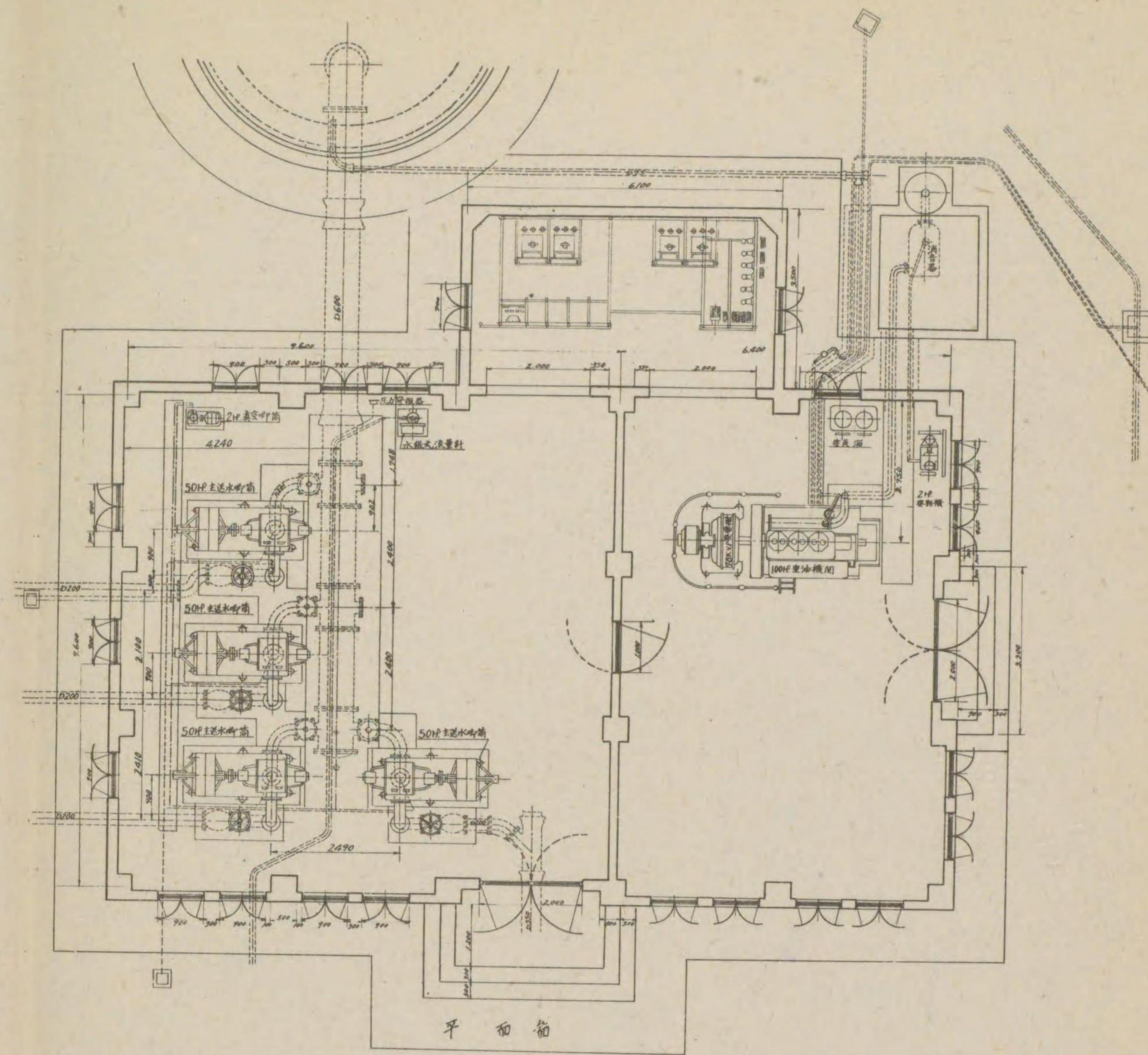
南側面圖



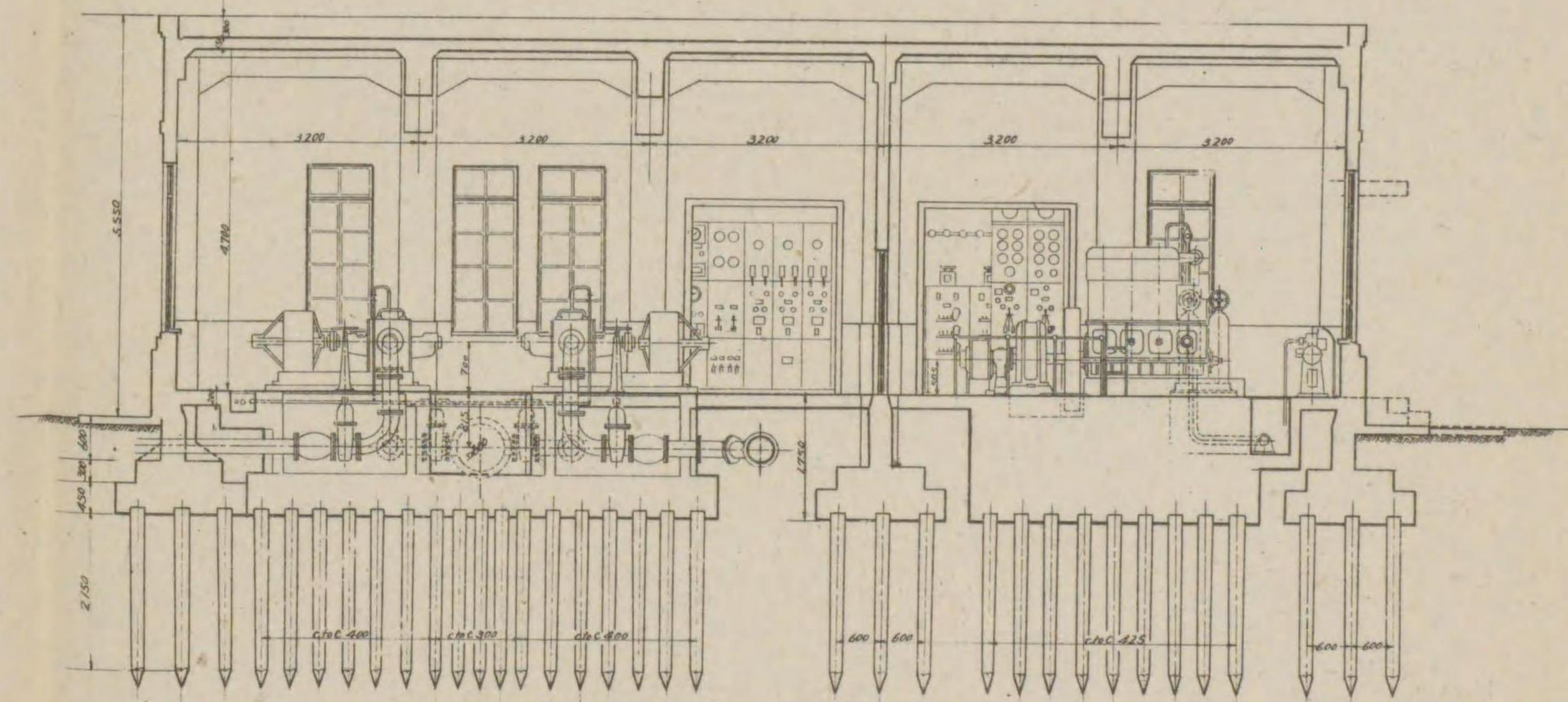
橫斷圖



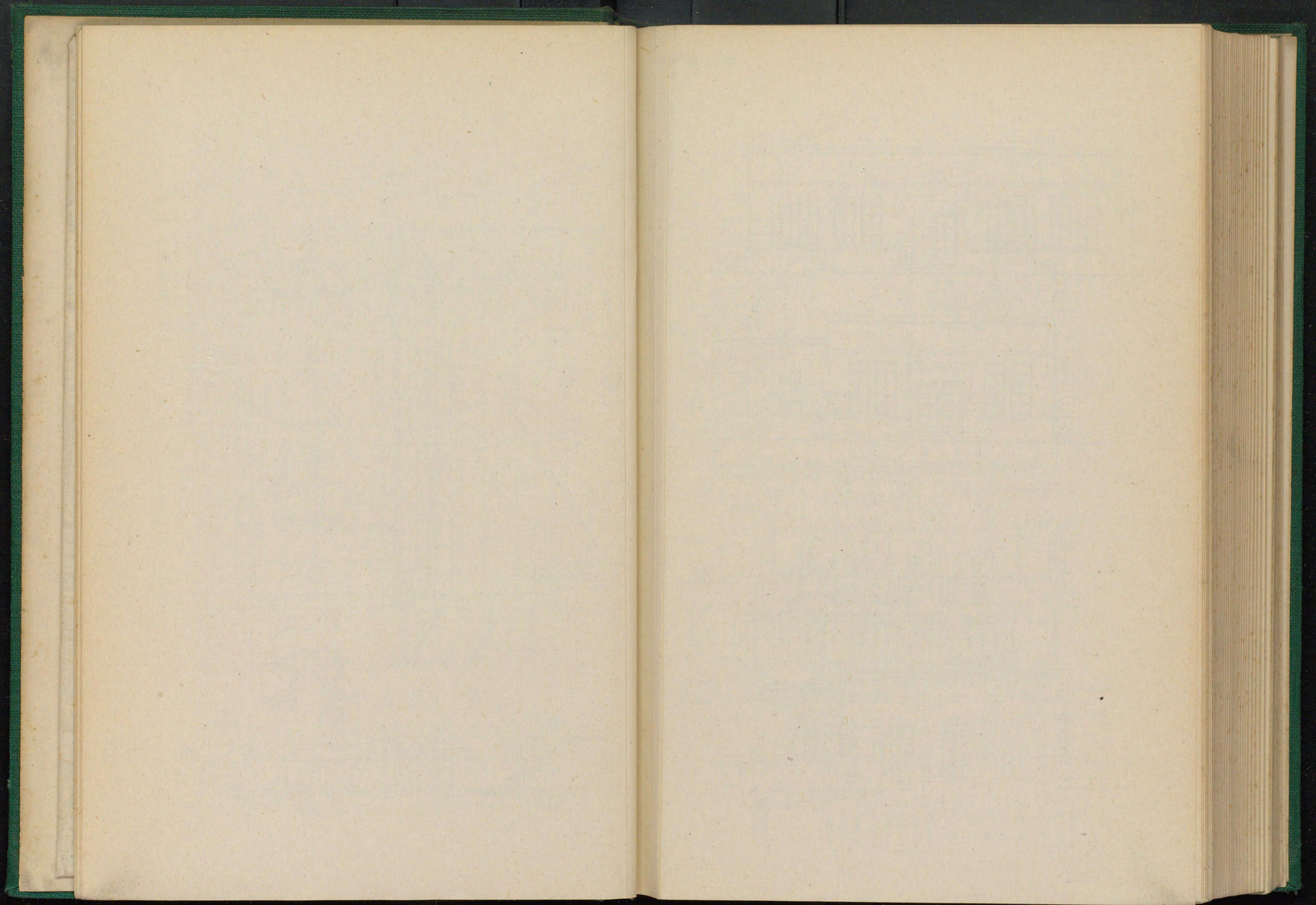
縱斷圖



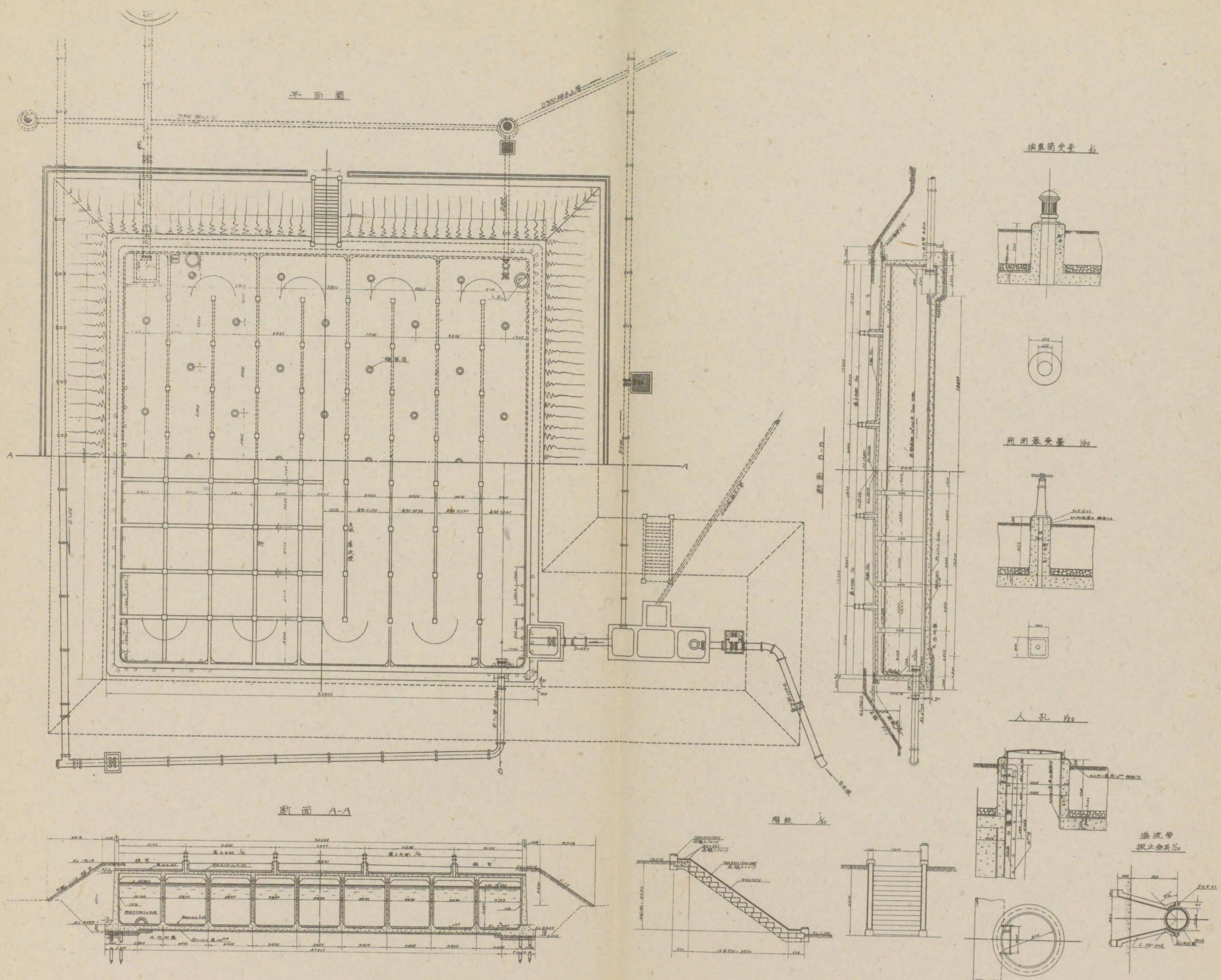
平面圖

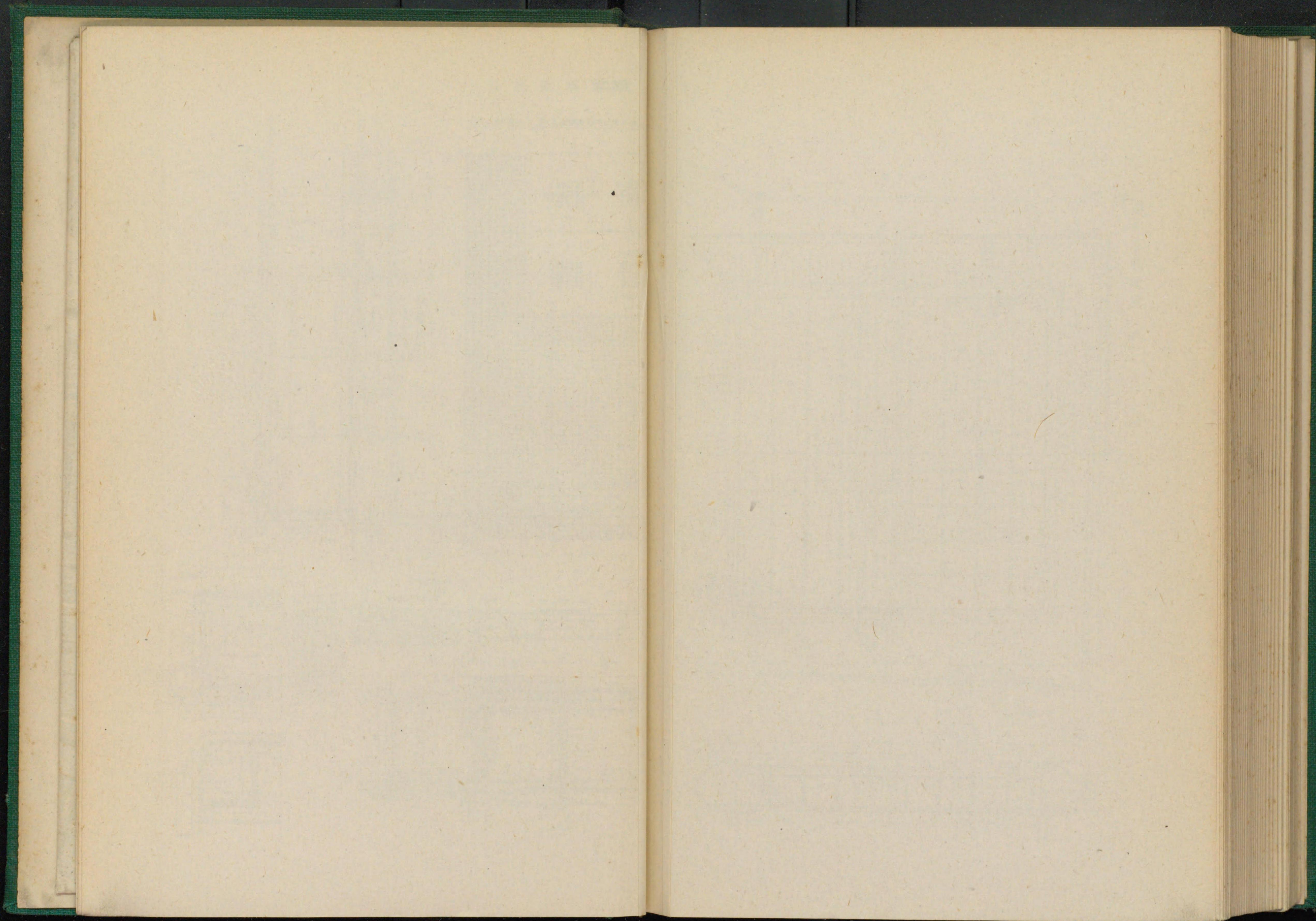


縱斷圖



淨水池構造圖 其一





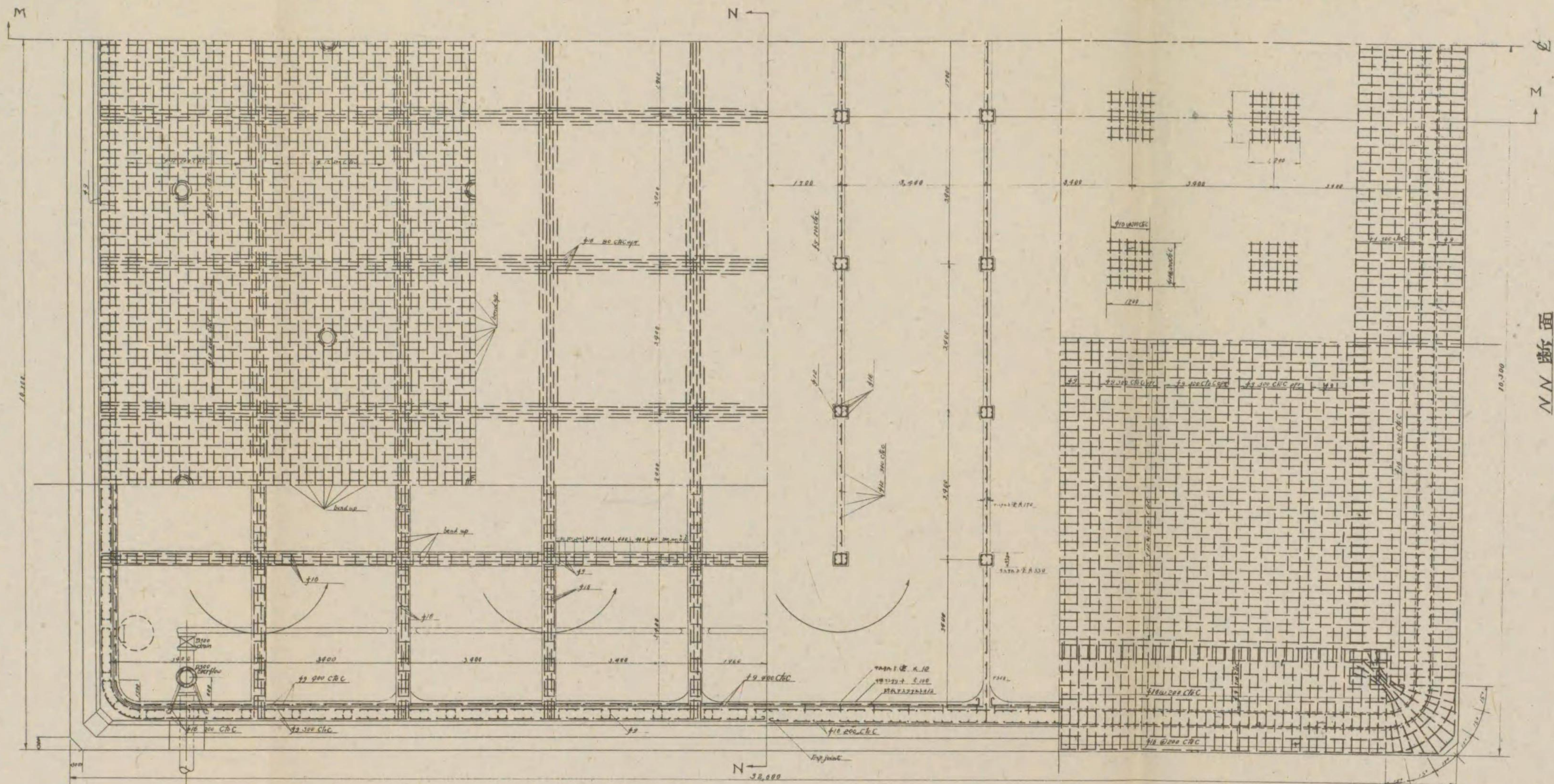
淨水池構造圖 其二

上部床版

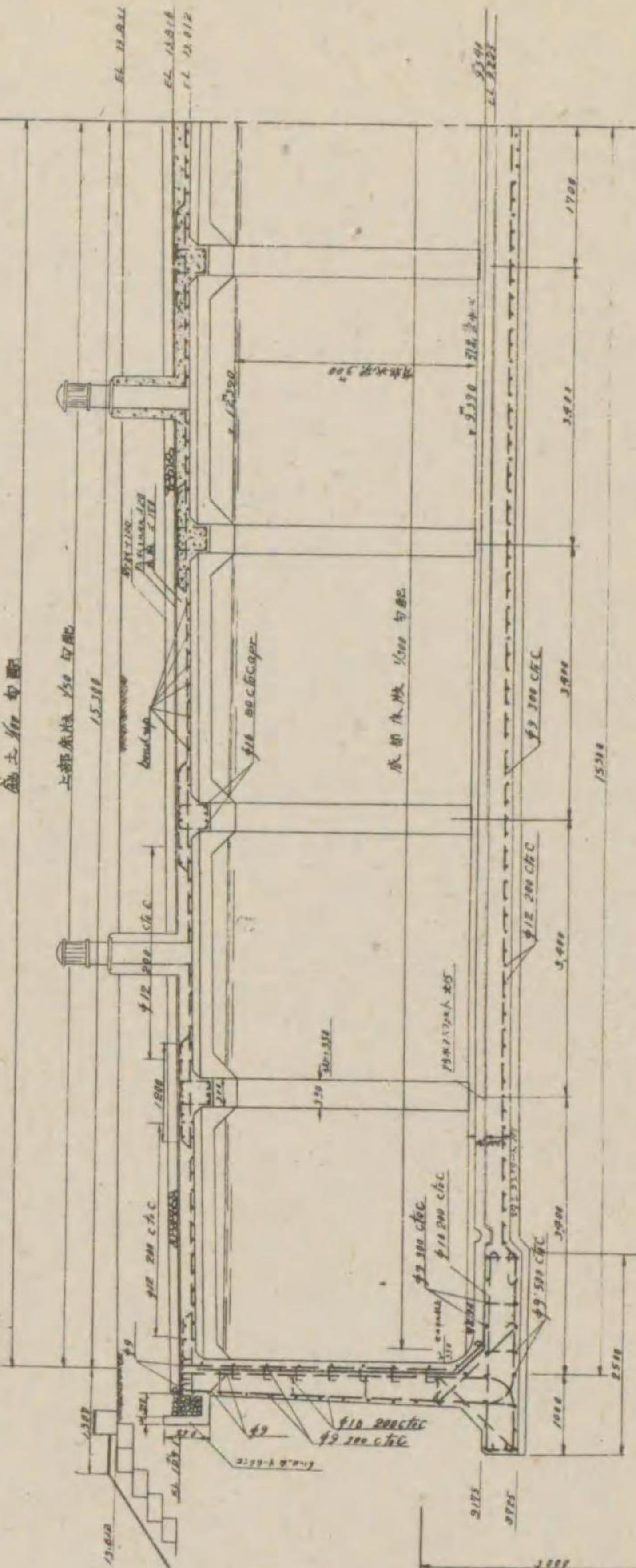
桁

支柱及導流壁

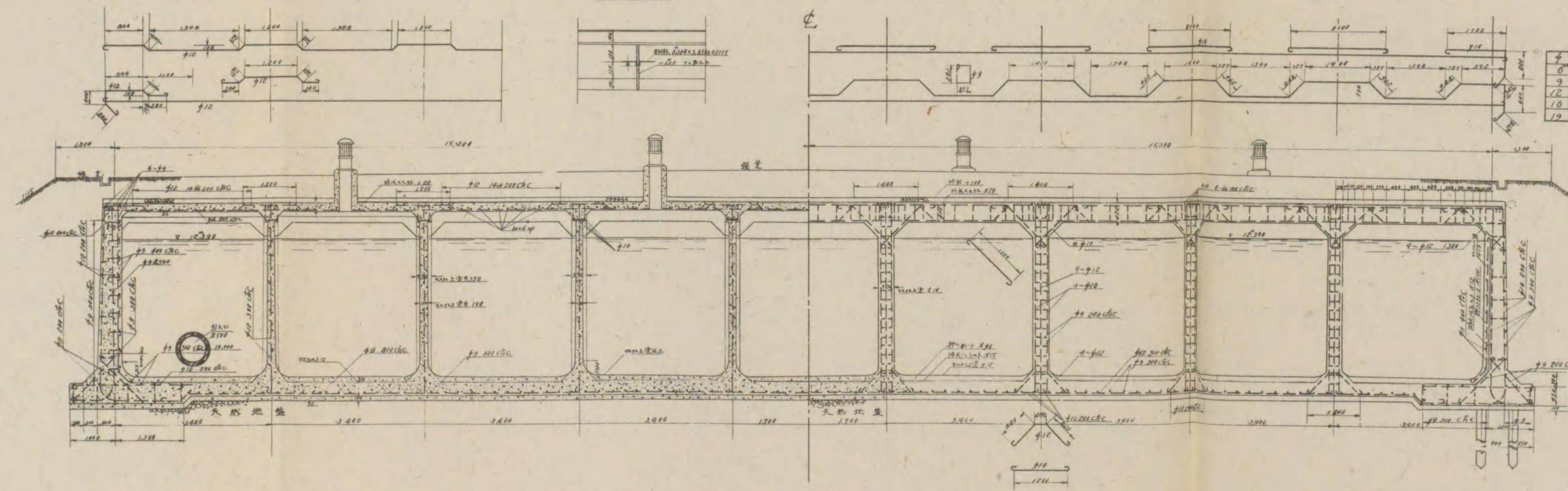
下部床版及支柱側壁基礎



N-N 剖面

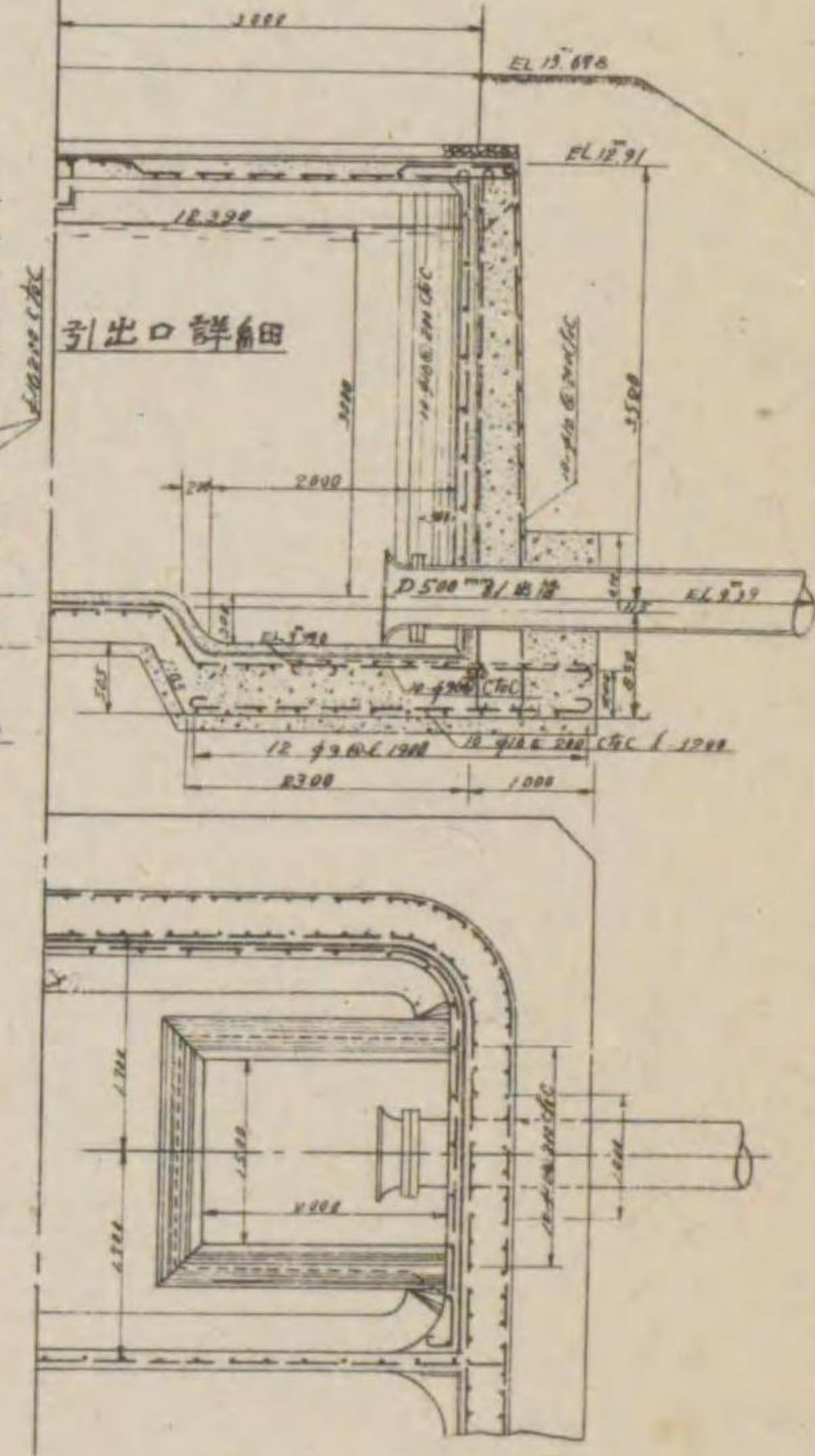


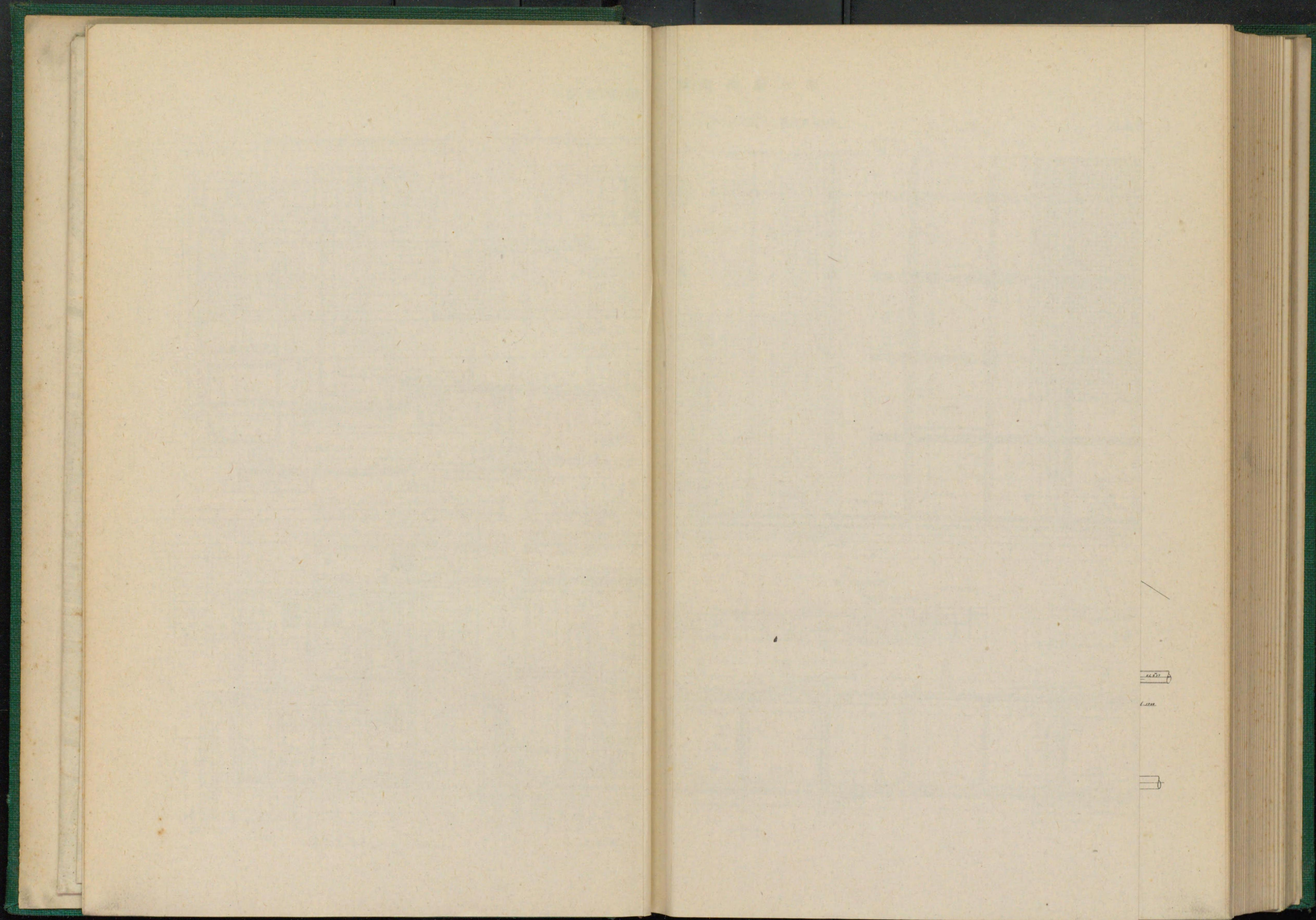
M-M 剖面



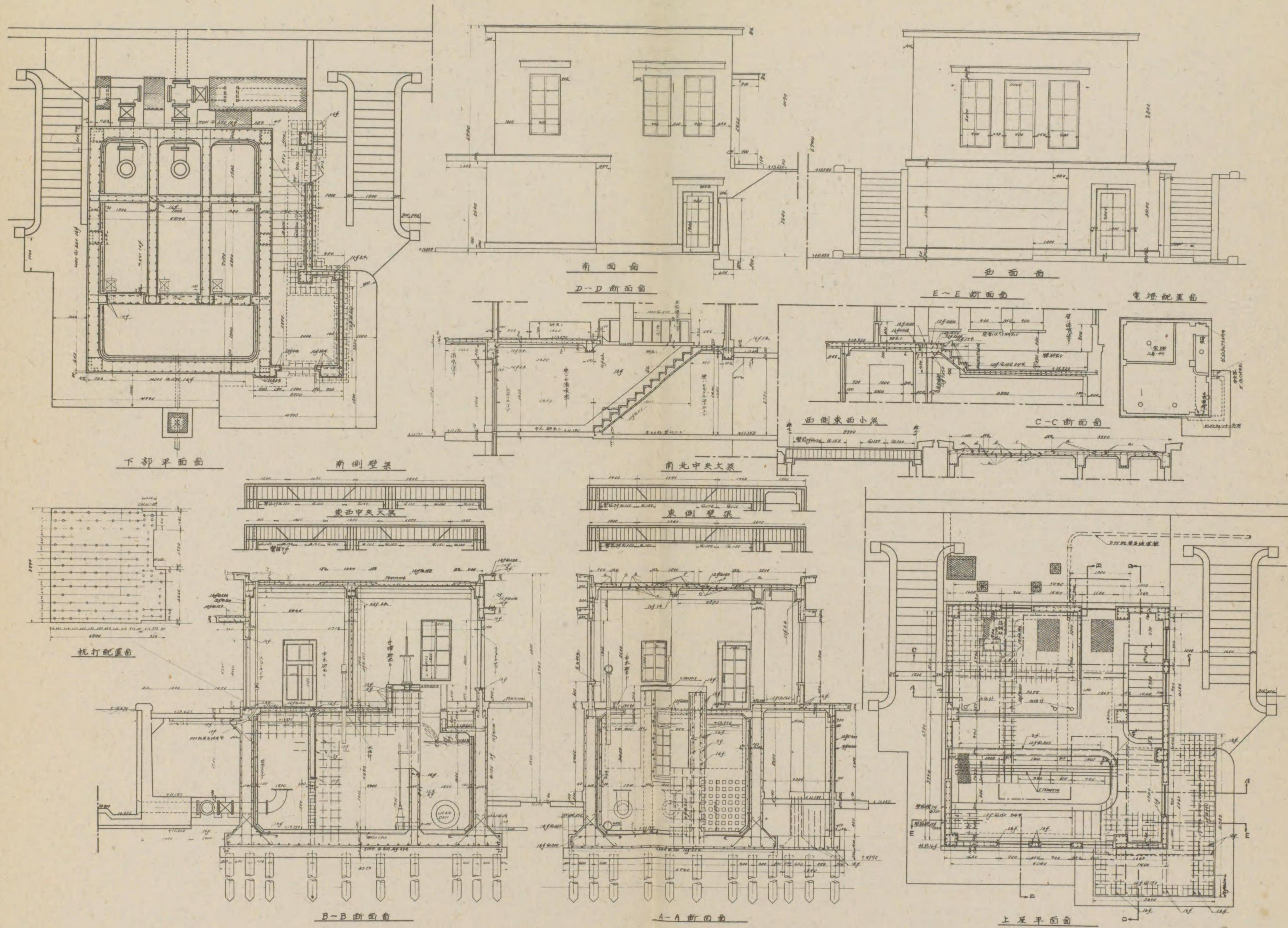
号	Y	X	L	规格	数量	備註
0	12	12	25	7.1	10	鋼筋
1	12	12	25	10.1	10	鋼筋
2	12	12	25	10.1	10	鋼筋
3	12	12	25	10.1	10	鋼筋
4	12	12	25	10.1	10	鋼筋
5	12	12	25	10.1	10	鋼筋
6	12	12	25	10.1	10	鋼筋
7	12	12	25	10.1	10	鋼筋
8	12	12	25	10.1	10	鋼筋
9	12	12	25	10.1	10	鋼筋
10	12	12	25	10.1	10	鋼筋

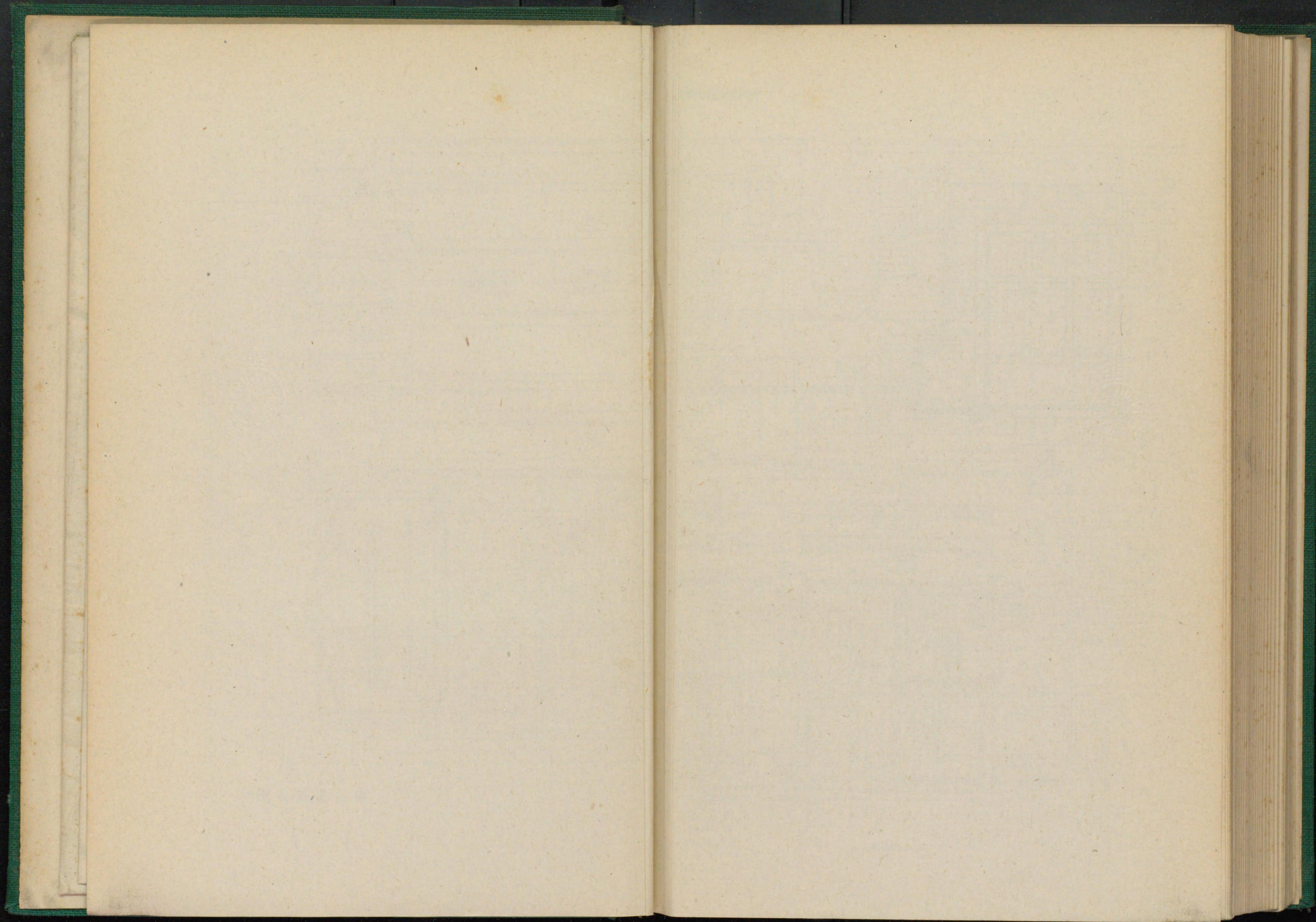
引出口詳細

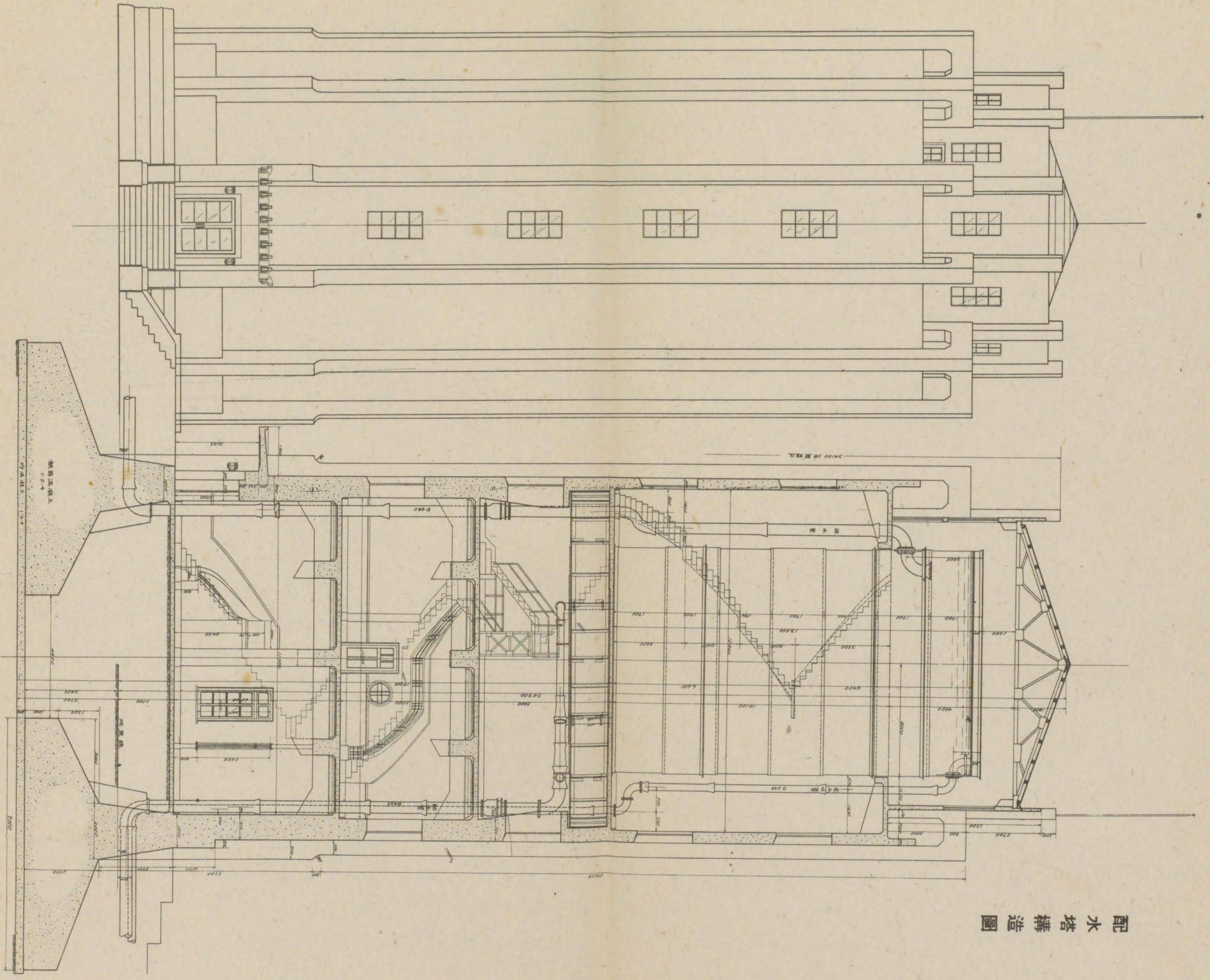




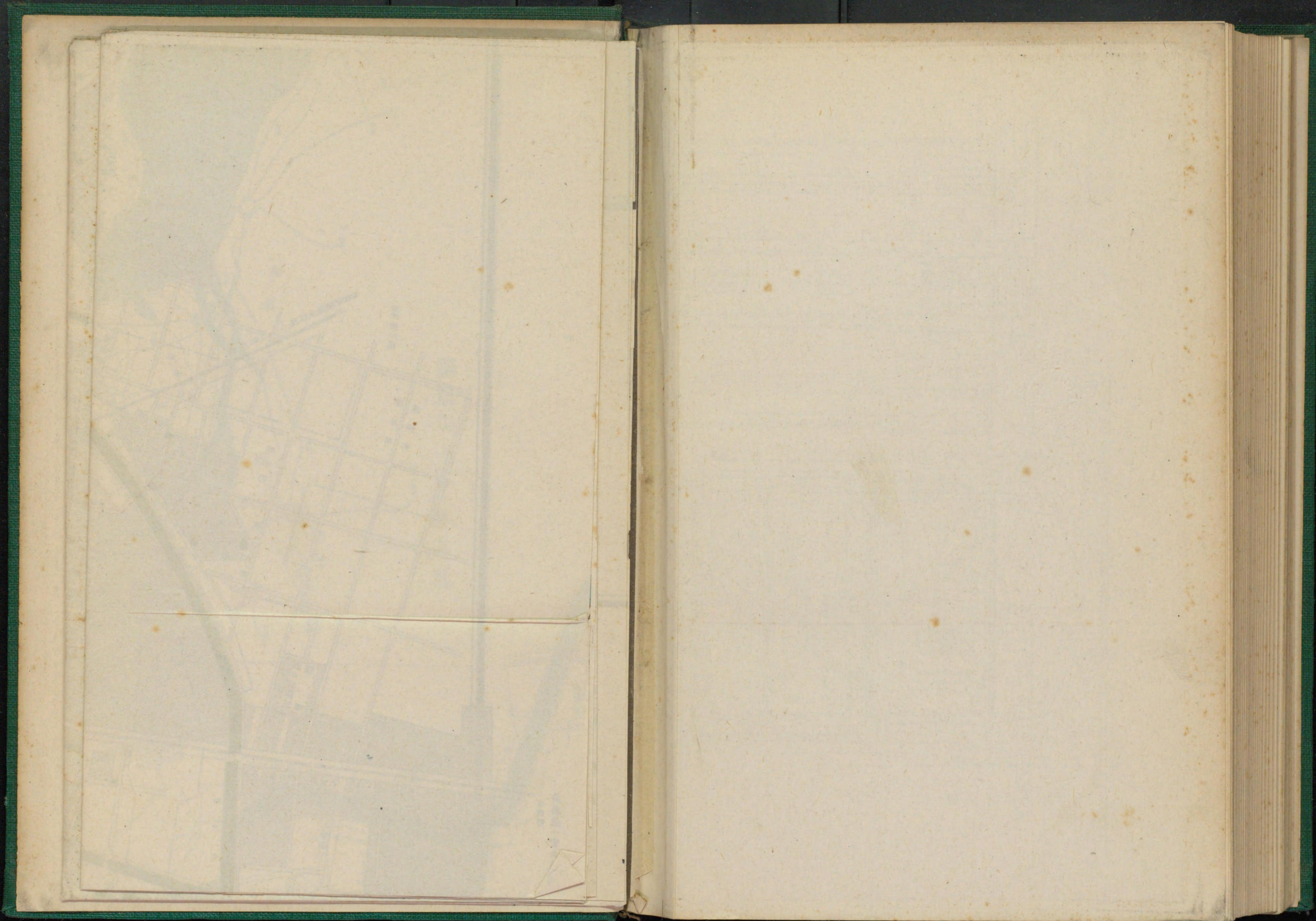
淨水場量水井構造圖







配水塔構造圖



折り込み部分

未撮影

昭和十五年三月十日印刷
昭和十五年四月十日發行

(非賣品)

編輯者兼

一宮市役所

印刷者

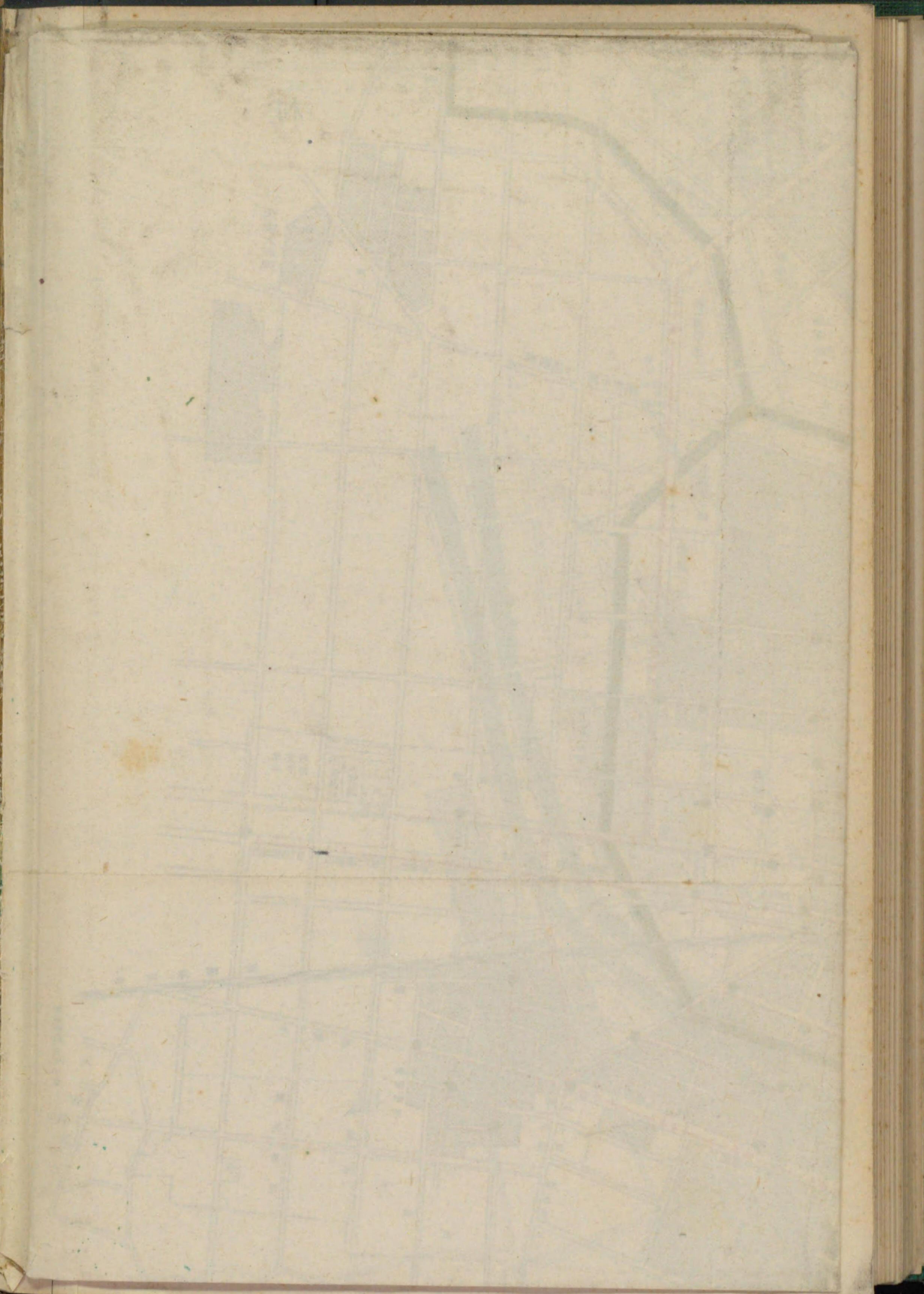
東京市下谷區二長町一
井上源之丞

印刷所

東京市下谷區二長町一
凸版印刷株式會社

發行所

一宮市役所





正誤表

頁	行	正	誤
目次二	一五	水源ノ選定	水源ノ選定
同 四	二三	市内ノ地質	市内ノ地質
同 一〇	二	水道用 水 水弁	水道用制水弁
本文三	七	逐ふて	逐ふて
同 一八一	三段目七	三、〇〇〇・〇〇	三、〇〇〇・〇〇
同 三〇三	四	鐵管類ノ購入	鐵鋼類ノ購入
同 三〇六	二	第二十 六 條 以下順次一條 宛線下ゲ	第二十五條
同 三九	五	水道布設事業	水通布設事業

774
45

